

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人 九州大学
総長 石橋 達朗

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒819-0395 福岡市西区元岡777
氏名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
電話(092) 641 - 1151 (代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科				有		
内科と組み合わせた診療科名等						
	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科	4腎臓内科
○	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科	8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			11リウマチ科
診療実績						
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。 ・循環器内科は循環器科で診療を行っている。						

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科	3	形成外科	4	心療内科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60				1182	1242

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	699	5	703.0	看護補助者	17	診療エックス線技師	0
歯科医師	158	45	194.0	理学療法士	24	臨床検査技師	115
薬剤師	102	0	102	作業療法士	9	衛生検査技師	2
保健師	2	0	2	視能訓練士	10	その他	0
助産師	41	0	41	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	1231	14	1241.8	臨床工学士	27	医療社会事業従事者	13
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	27
歯科衛生士	21	0	21	歯科技工士	5	事務職員	345
管理栄養士	16	0	16	診療放射線技師	66	その他の職員	172

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	98	眼科専門医	6
外科専門医	61	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	9	放射線科専門医	20
小児科専門医	33	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	25
泌尿器科専門医	14	麻酔科専門医	18
産婦人科専門医	6	救急科専門医	17
		合計	337

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中村 雅史) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成30年度より令和3年度末まで九州大学病院医療安全管理責任者を務めた。また、平成27年度より令和3年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1035.3 人	37.1 人	1072.5 人
1日当たり平均外来患者数	2352.7 人	733.3 人	3086 人
1日当たり平均調剤数	2071.4		剤
必要医師数	247.04750		人
必要歯科医師数	41.30		人
必要薬剤師数	35.75		人
必要(准)看護師数	641.47		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	442.93 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	12 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	1,226.28 m ²	病床数	46 床	
	[移動式の場合]	台数	4 台			
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積	84.74 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	1,116 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置		
細菌検査室	552 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置		
病理検査室	527 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	バーチャルスライドスキャナー、自動免疫染色装置		
病理解剖室	65 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ラミナフローユニットハイオハザード解剖台		
研究室	15,430 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	クリーンベンチ、遠心分離機、冷蔵庫・冷凍庫		
講義室	485 m ²	鉄筋コンクリート	室数 3 室	収容定員	2室157人 1室256人 人	
図書室	4,033 m ²	鉄筋コンクリート	室数 5 室	蔵書数	304425	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	79.8 %	逆紹介率	96 %
算出 根拠	A: 紹介患者の数		21,115 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		27,582 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,803 人
	D: 初診の患者の数		28,720 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
栗原 慎太郎	長崎大学	○	安全管理の識見者	無	1
手島 康德	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1
樋口 恭子	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
浜内 和也	福岡大学		安全管理の識見者	無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO法人がんサポーター		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本院ウェブサイトに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	57人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	57人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	2
扱い患者数の合計(人)	114人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法	1人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法	0人
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	0人
シクロホスファミド静脈内投与療法	0人
反復経頭蓋磁気刺激療法	0人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	7
取扱い患者数の合計(人)	1人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
該当無し			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	61	下垂体性TSH分泌亢進症	5
2	筋萎縮性側索硬化症	44	62	下垂体性PRL分泌亢進症	22
3	脊髄性筋萎縮症	4	63	クッシング病	10
4	原発性側索硬化症	2	64	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	59
5	進行性核上性麻痺	11	65	下垂体前葉機能低下症	177
6	パーキンソン病	97	66	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
7	大脳皮質基底核変性症	4	67	先天性副腎皮質酵素欠損症	12
8	ハンチントン病	1	68	アジソン病	2
9	シャルコー・マリー・トウス病	5	69	サルコイドーシス	93
10	重症筋無力症	110	70	特発性間質性肺炎	71
11	多発性硬化症／視神経脊髄炎	305	71	肺動脈性肺高血圧症	75
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	50	72	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	103
13	封入体筋炎	4	73	リンパ脈管筋腫症	9
14	クローウ・深瀬症候群	2	74	網膜色素変性症	99
15	多系統萎縮症	34	75	バッド・キアリ症候群	5
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	58	76	特発性門脈圧亢進症	2
17	ライソゾーム病	16	77	原発性胆汁性胆管炎旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	80
18	ミトコンドリア病	15	78	原発性硬化性胆管炎	13
19	もやもや病	68	79	自己免疫性肝炎	31
20	HTLV-1関連脊髄症	6	80	クローン病	413
21	特発性基底核石灰化症	2	81	潰瘍性大腸炎	453
22	全身性アミロイドーシス	88	82	好酸球性消化管疾患	7
23	遠位型ミオパチー	2	83	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
24	神経線維腫症	42	84	腸管神経節細胞僅少症	1
25	天疱瘡	21	85	クリオピリン関連周期熱症候群	1
26	膿疱性乾癬(汎発型)	15	86	若年性特発性関節炎旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	13
27	中毒性表皮壊死症	1	87	TNF受容体関連周期性症候群	1
28	高安動脈炎	44	88	非典型溶血性尿毒症症候群	2
29	巨細胞性動脈炎	14	89	先天性ミオパチー	2
30	結節性多発動脈炎	7	90	筋ジストロフィー	12
31	顕微鏡的多発血管炎	26	91	遺伝性周期性四肢麻痺	1
32	多発血管炎性肉芽腫症	17	92	アトピー性脊髄炎	1
33	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28	93	脊髄空洞症	2
34	悪性関節リウマチ	3	94	アイザックス症候群	3
35	パージャール病	6	95	遺伝性ジストニア	1
36	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	96	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	2
37	全身性エリテマトーデス	443	97	前頭側頭葉変性症	4
38	皮膚筋炎／多発性筋炎	124	98	ピッカースタッフ脳幹脳炎	1
39	全身性強皮症	151	99	メビウス症候群	1
40	混合性結合組織病	51	100	限局性皮質異形成	1
41	シェーグレン症候群	69	101	神経細胞移動異常症	1
42	成人スチル病	27	102	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1
43	再発性多発軟骨炎	10	103	ラスムッセン脳炎	1
44	ベーチェット病	146	104	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1
45	特発性拡張型心筋症	131	105	結節性硬化症	12
46	肥大型心筋症	33	106	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
47	拘束型心筋症	1	107	特発性後天性全身性無汗症	6
48	再生不良性貧血	25	108	肥厚性皮膚骨膜症	2
49	自己免疫性溶血性貧血	5	109	弾性線維性仮性黄色腫	7
50	発作性夜間ヘモグロビン尿症	8	110	マルファン症候群	10
51	特発性血小板減少性紫斑病	31	111	エーラス・ダンロス症候群	1
52	血栓性血小板減少性紫斑病	4	112	オクシピタル・ホーン症候群	1
53	原発性免疫不全症候群	49	113	ウィルソン病	8
54	IgA 腎症	46	114	ウィリアムズ症候群	2
55	多発性嚢胞腎	53	115	ロスマンド・トムソン症候群	1
56	黄色靱帯骨化症	7	116	無脾症候群	3
57	後縦靱帯骨化症	24	117	鰓耳腎症候群	1
58	広範脊柱管狭窄症	3	118	ウェルナー症候群	1
59	特発性大腿骨頭壊死症	255	119	ヌーナン症候群	1
60	下垂体性ADH分泌異常症	24	120	総動脈幹遺残症	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
121	修正大血管転位症	7	151	軟骨無形成症	3
122	完全大血管転位症	12	152	リンパ管腫症/ゴーハム病	5
123	単心室症	19	153	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
124	左心低形成症候群	4	154	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
125	三尖弁閉鎖症	7	155	後天性赤芽球癆	4
126	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2	156	クローンカイト・カナダ症候群	2
127	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	11	157	非特異性多発性小腸潰瘍症	5
128	ファロー四徴症	41	158	総排泄腔遺残	5
129	両大血管右室起始症	9	159	先天性横隔膜ヘルニア	2
130	エプスタイン病	2	160	胆道閉鎖症	10
131	アルポート症候群	2	161	遺伝性腓炎	1
132	急速進行性糸球体腎炎	1	162	IgG4関連疾患	26
133	抗糸球体基底膜腎炎	1	163	黄斑ジストロフィー	1
134	一次性ネフローゼ症候群	45	164	遅発性内リンパ水腫	1
135	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	165	好酸球性副鼻腔炎	111
136	紫斑病性腎炎	4	166	カルニチン回路異常症	1
137	オスラー病	8	167	シトリン欠損症	2
138	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	168	遺伝性自己炎症疾患	2
139	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	1	169	大理石骨病	1
140	副甲状腺機能低下症	2	170	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
141	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	10	171	無虹彩症	1
142	フェニルケトン尿症	1	172	特発性多中心性キャスルマン病	13
143	プロピオン酸血症	1	173	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	1
144	リジン尿性蛋白不耐症	1	174	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	1
145	肝型糖原病	3			
146	脂肪萎縮症	2			
147	家族性地中海熱	20			
148	慢性再発性多発性骨髄炎	3			
149	強直性脊椎炎	36			
150	骨形成不全症	3			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	174
合計患者数(人)	5205

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療	・精神科リエゾンチーム加算
・医療DX推進体制整備加算 6	・摂食障害入院医療管理加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・栄養サポートチーム加算
・歯科外来診療医療安全対策加算 2	・歯科医師連携加算
・歯科外来診療感染対策加算 4	・医療安全対策加算 1
・歯科診療特別対応連携加算	・感染対策向上加算 1
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・指導強化加算
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・抗菌薬適正使用体制加算
・入院栄養管理体制加算	・患者サポート体制充実加算
・救急医療管理加算 1・2	・重症患者初期支援充実加算
・超急性期脳卒中加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・診療録管理体制加算 1	・ハイリスク妊娠管理加算
・医師事務作業補助体制加算 2(20対1)	・ハイリスク分娩等管理加算(ハイリスク分娩管理加算)
・急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)	・術後疼痛管理チーム加算
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・後発医薬品使用体制加算 1
・夜間看護体制加算(夜間100対1急性期看護補助体制加算に対する加算)	・病棟薬剤業務実施加算 1
・看護補助体制充実加算 2	・病棟薬剤業務実施加算 2
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・データ提出加算 2のイ
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・入退院支援加算 1
・療養環境加算	・入退院支援加算 3
・重症者等療養環境特別加算	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算1の加算)
・無菌治療室管理加算 2	・入院時支援加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素)	・総合機能評価加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・緩和ケア診療加算	・精神疾患診療体制加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科急性期医師配置加算

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・地域医療体制確保加算	
・地域歯科診療支援病院入院加算	
・救命救急入院料 1(CCU病棟)	
・救命救急入院料 3(ハイケア病棟)	
・救命救急入院料 4(救命ICU)	
・精神疾患診断治療初回加算	
・救急体制充実加算 2	
・小児加算(救命救急入院料の加算)	
・早期栄養介入管理加算	
・特定集中治療室管理料 1	
・小児加算(特定集中治療室管理料の加算)	
・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児集中治療室管理料)	
・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児集中治療室管理料)	
・新生児治療回復室入院医療管理料	
・小児入院医療管理料 1	
・小児入院医療管理料の注2に規定する加算(保育士1名の場合)	
・無菌治療管理加算	
・養育支援体制加算	
・短期滞在手術等基本料1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料1 注3	・ハイリスク妊産婦連携指導料 1
・遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理料)	・ハイリスク妊産婦連携指導料 2
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・糖尿病合併症管理料	・薬剤管理指導料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・地域連携診療計画加算(診療情報提供料 I の加算)
・難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・医療機器安全管理料 1
・がん患者指導管理料 イ	・医療機器安全管理料 2
・がん患者指導管理料 ロ	・歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料 ハ	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料 ニ	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
・小児運動器疾患指導管理料	・遺伝学的検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料 1・2	・骨髄微小残存病変量測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・BRCA1/2遺伝子検査
・腎代替療法指導管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・一般不妊治療管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・生殖補助医療管理料 2	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来腫瘍化学療法診療料 1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の加算)	・HPV核酸検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・がん薬物療法体制充実加算	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)
・ニコチン依存症管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)
・療養・就労両立支援指導料	・検体検査管理加算(IV)
・相談支援加算	・国際標準検査管理加算
・がん治療連携計画策定料	・遺伝カウンセリング加算

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・遺伝子腫瘍カウンセリング加算	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影若しくはポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影若しくはポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・胎児心エコー法	
・ヘッドアップティルト試験	・CT撮影及びMRI撮影
・長期継続頭蓋内脳波検査	・冠動脈CT撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査 1	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	・外傷全身CT加算
・単線維筋電図	・心臓MRI撮影加算
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・乳房MRI撮影加算
・脳磁図(その他のもの)	・小児鎮静下MRI撮影加算
・安全精度管理下で行うもの(終夜睡眠ポリグラフィー)	・頭部MRI撮影加算
・脳波検査判断料 1	・全身MRI撮影加算
・神経学的検査	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・補聴器適合検査	・外来化学療法加算 1
・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図	・無菌製剤処理料
・ロービジョン検査判断料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・内服・点滴誘発試験	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・センチネルリンパ節生検(片側)	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・経頸静脈的肝生検	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・がん患者リハビリテーション料
・経気管支凍結生検法	・各リハビリテーション料の初期加算
・口腔細菌定量検査	・歯科口腔リハビリテーション料 2
・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査	・経頭蓋磁気刺激療法
・精密触覚機能検査	・療養生活継続支援加算
・画像診断管理加算 4	・認知療法・認知行動療法 1
・歯科画像診断管理加算 1	・精神科作業療法
・歯科画像診断管理加算 2	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・遠隔画像診断	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・医療保護入院等診療料	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・内皮移植加算
・多血小板血漿処置	・羊膜移植術
・硬膜外自家血注入	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・人工腎臓・慢性維持透析を行った場合 1	・緑内障手術(流出路再建術(眼内法))
・導入期加算 3	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)
・ストーマ合併症加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・手術用顕微鏡加算	・網膜再建術
・口腔粘膜処置	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・う蝕歯無痛の窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・人工中耳植込術
・光学印象	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術))の場合に限る。)	
・処理骨再建加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	
・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科診療に係るものに限る。)
・椎間板内酵素注入療法	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・緊急穿頭血腫除去術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・同種心移植術
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・骨格筋由来細胞シート心表面移植術
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び陰腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)	
・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・経皮的僧帽弁クリップ術	
・胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)	
・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカーの場合)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下肝切除術
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(経静脈リード又は皮下植込み型リードを用いる場合)	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いる場合)	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・生体部分肝移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・同種死体肝移植術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・小児補助人工心臓	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・腹腔鏡下臍中央切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・同種死体臍移植術、同種死体臍腎移植術	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・生体部分小腸移植術	・乳房切除術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・同種死体小腸移植術	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・輸血管理料Ⅰ
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・歯周組織再生誘導手術
・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・レーザー機器加算
・同種死体腎移植術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・生体腎移植術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・膀胱水压拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・高エネルギー放射線治療
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・1回線量増加加算
・精巣温存術	・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・画像誘導密封小線源治療加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・胎児輸血術及び臍帯穿刺	・病理診断管理加算 2
・体外式膜型人工肺管理料	・悪性腫瘍病理組織標本加算

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
・口腔病理診断管理加算 2	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科矯正診断料	
・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	
・看護職員処遇改善評価料 48	
・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	
・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	
・入院ベースアップ評価料 66	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・LDLアフェレシス療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年17回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	15
	剖検率(%)	6.5

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
1	末梢性T細胞リンパ腫非特定型のゲノム変異が微小環境に及ぼす影響と新規治療開発	加藤 光次	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
2	腸管GVHDの治療反応性を規定する局所免疫プロファイルの解明と腸内細菌叢の影響	森 康雄	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
3	BCL2阻害剤を用いた新規AML治療法の開発	山内 拓司	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
4	inv(16)AMLにおけるスプライシング異常機構解明と新規治療法の開発	島 隆宏	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
5	白血病幹細胞の薬剤耐性機構の解明	小田原 淳	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
6	寛解期残存急性骨髄白血病幹細胞におけるCRHBPの機能の解明	迫田 哲平	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	273 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
7	急性リンパ性白血病の新規診断法開発	佐々木 謙介	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
8	アグレッシブ成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした全国一元化レジストリ・バイオレポジトリ研究	加藤 光次	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	26 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
9	CAR-T細胞療法抵抗性・耐性におけるリンパ腫組織内細胞間クロストークの時空間的解明と新規治療開発	加藤 光次	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	65 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
10	再発・難治性悪性リンパ腫に対するpiggyBacトランスポゾン法によるCD19キメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞の安全性及び有効性に関する第1/2相医師主導治験	加藤 光次	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
11	再発又は難治性のCD19陽性B細胞性急性リンパ芽球性白血病に対するpiggyBacトランスポゾン法によるキメラ抗原受容体遺伝子改変自己T細胞JPCAR019の第I/II相医師主導治験	加藤 光次	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
12	消化器癌患者末梢血とTLSにおける腫瘍特異的CD8+T細胞の疲弊ステージの解析	馬場 英司	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
13	クローン性造血を鑑みた老化細胞除去薬による新規消化器がん治療の開発基盤の構築	磯部 大地	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
14	閉経後乳がんに対するアロマターゼ分解による新規治療の開発	磯部 大地	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	215 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED） 日本橋渡し研究ネットワーク橋渡し研究プログラム シーズA
15	HER2陽性胃癌のゲノム異常と微小環境に基づく抗HER2抗体薬物複合体の耐性機序の探索	山口 亨子	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
16	消化器癌微小環境のマクロファージ-線維芽細胞分化転換を阻害する新規治療標的の探索	伊東 守	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
17	メチル化ctDNAによる大腸がん根治術後再発早期診断の実証的モニタリング法の開発	大村 洋文	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：17件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
18	高齢者サルコペニア患者における高強度インターバル運動の運動耐容能改善効果について	稗田 道成	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
19	ビックデータを用いた免疫チェックポイント阻害薬の心血管疾患への有害事象とその危険因子の解明	稗田 道成	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	87 万円	補	新日本先進医療研究財団
20	高齢慢性心不全患者の大規模データベースの構築と人工知能を用いた心不全病態の解明	稗田 道成	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	100 万円	補	大和証券財団
21	急性前骨髄球性白血病の白血球幹細胞の同定ならびにゲノム切断点相違による白血病発症機構の解明	南 満理子	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	100 万円	補	新日本先進医療研究財団
22	寛解期膠原病患者に残存する倦怠感の要因解明と治療戦略の確立	綾野 雅宏	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
23	自己免疫疾患におけるCD11c+ B細胞サブセットの役割	新納 宏昭	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	208 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
24	脳卒中疾病負荷軽減のためのデータ駆動型最適化医療の構築	鴨打 正浩	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	286 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
25	脳梗塞機能回復治療への挑戦 - ペリサイトをいかに再動員させるか？	吾郷 哲朗	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	468 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
26	加齢が脳梗塞後のペリサイトを介した組織修復・内因性機能回復機構に与える影響の解明	脇坂 義信	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
27	医療と介護レセプト連結データを用いた脳卒中の疾病負荷に関する研究	松尾 龍	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	533 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
28	脳卒中後の日常生活動作の障害に関連する予後規定因子の解明	入江 芙美	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
29	SGLT2を標的とした脳梗塞後のペリサイト機能維持機構の探索	中村 晋之	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
30	脳梗塞後に動員されるペリサイトの起源およびその後の運命決定機構の解明	芝原 友也	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
31	NOX4を標的とした脳梗塞後のペリサイト誘導治療の探索	山中 圭	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
32	ペリサイトにおけるSGLT2に着目した脳血管性認知症に対する新規治療法の開発	高島 正光	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
33	抗加齢因子スperlミジンが腎臓、そして全身を守る	鳥巢 久美子	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
34	腹膜透析による腹膜線維化と石灰化の病態解明〜リンの関与とマグネシウムの競合作用	山田 俊輔	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
35	移植腎病理に新規尿中バイオマーカーを組み合わせた予後予測モデルの開発	松隈 祐太	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
36	ビックデータを活用した降圧薬服薬アドヒアランスのエビデンス構築と保健指導への展開	後藤 健一	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：19件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
37	若年・中年男性における、睡眠負債と睡眠時無呼吸症候群が血圧と臓器障害に及ぼす影響	井上 美奈子	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	39 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
38	高血圧発症予防に向けた先制保健介入モデルの開発	後藤 健一	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	98 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
39	腸管における青黛のAhRを介した作用に関する検討	松野 雄一	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
40	加齢や慢性ストレスにより変容する副腎組織の分子基盤と破綻病態の統合的理解	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	3,471 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究S）
41	浸透率の低い遺伝性がんはどのようにして発生するのか？	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	325 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
42	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	20 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
43	加齢による副腎由来ホルモンの不均衡に基づいたフレイル診療戦略の構築	馬越 真希	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
44	ヒト副腎皮質リモデリングの分子機構とコルチゾール産生腫瘍の発生機構の解明	福元 多鶴	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費）
45	副腎皮質網状層に着目した老化機構の解明	松田 やよい	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
46	CD8+T細胞の分化における転写因子FoxO1の制御メカニズムの解明を目指して	宮地 康高	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
47	アルドステロン産生腺腫のコルチゾール合成機構および発生母地の解明	緒方 大聖	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
48	機械学習を用いた原発性アルドステロン症における個別化医療基盤の確立	馬越 洋宜	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤C）
49	マルチオミクス解析によるヒト副腎皮質のホルモン分泌調節機構解明	岩橋 徳英	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	90 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費）
50	炎症性マクロファージの形質転換におけるミトコンドリアダイナミクス制御機構の解明	武市 幸奈	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
51	ヒト副腎皮質のリモデリング機構と腫瘍病変の初期発生機構の解明	福元 多鶴	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
52	骨格筋のプリン体代謝への介入による内因性AMPK活性化物質の役割の解明	中村 慎太郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
53	腫瘍微小環境に着目した原発性アルドステロン症の分子病態の理解	藤田 政道	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
54	ステロイドによる副腎皮質萎縮から回復までの副腎皮質リモデリング分子機構の解明	河村 菜実子	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
55	遺伝性褐色細胞腫の発生機構解明に向けた分子遺伝学的解析	小笠原 樹	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・脾臓・胆道内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励費）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
56	ステロイドホルモン産生の多様性に着目したアルドステロン産生腺腫の新規診断法の開発	兼子 大輝	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
57	原発性アルドステロン症における新規病型診断法の開発	馬越 洋宜	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	50 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
58	副腎由来ホルモンの多様性に基づいた糖尿病および慢性合併症進展機構の解明	馬越 真希	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	45 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
59	ヒト副腎皮質腫瘍の発生機構と副腎皮質リモデリング機構の解明	福元 多鶴	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	40 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
60	肝臓の脂肪滴形成におけるミトコンドリアダイナミクスの機能的意義の解明	武市 幸奈	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	45 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
61	骨格筋代謝障害に対する内因性 AMPK 活性化物質 AICAR の役割 の解明	中村 慎太郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	45 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
62	腫瘍微小環境に着目したアルドステロン産生副腎腫瘍の分子病態解明	藤田 政道	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	20 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
63	多発性骨髄腫の不均一性を考慮した経時的一細胞RNA解析による薬剤耐性遺伝子の同定	土師 正二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
64	多発性骨髄腫と腫瘍微小環境における治療抵抗性・再発機構の解明	土師 正二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	40 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
65	単一細胞・空間オミクス解析を用いた多発性骨髄腫細胞・微小環境における治療耐性機構の包括的な解明と治療標的の同定	土師 正二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	200 万円	補	公益財団法人 武田科学振興財団
66	一細胞遺伝子発現解析を用いた閉経後NASH発症機序の解明	田中 正剛	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
67	Extracellular Trapsに着目した肝障害の炎症プロセスの解明	合谷 孟	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
68	フォンタン関連肝疾患における肝線維化の病態解明	井本 効志	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
69	急性肝障害における肝再生機構の多様性の解明	井本 効志	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
70	網羅的遺伝子発現解析を用いた喫煙のNAFLDに及ぼす影響の検討	井本 効志	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	50 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
71	NASH病態進展における肝臓非実質細胞の関与	国府島 庸之	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
72	AI及びシングルセル解析を用いた膵神経内分泌腫瘍の不均一性の解明	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
73	膵癌オルガノイドを用いた形態学的サブタイプ分類の試みと臨床応用	植田 圭二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
74	ヒト由来膵癌オルガノイドを用いたPDXマウス実験による肝転移機序の解明	寺松 克人	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
75	シングルセル解析とオルガノイド技術から切り開く 膵神経内分泌腫瘍の病態解明	藤森 尚	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	30 万円	補	公益財団法人 山口内分泌疾患研究振興財団
76	膵癌患者由来オルガノイドを用いたサブタイプ分類における喫煙の影響と臨床応用	植田 圭二郎	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	200 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
77	患者由来オルガノイドを用いた膵癌新規治療戦略の開発	松本 一秀	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	100 万円	補	公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構
78	拡張障害に起因するニュータイプの食道運動機能障害の疾患概念の確立と病態解明	伊原 栄吉	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
79	直腸環境の特殊性に着眼した潰瘍性大腸炎再燃機序の解明	荻野 治栄	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
80	慢性便秘症に対する新規治療開発を目指した排便機構の解明	田中 義将	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
81	マルチセンシングネットワークの統合的理解と制御機構の解明による革新的医療技術開発	田中 義将	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	960 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
82	抗原受容体的人為的改変によって挑む難治性炎症性疾患治療	知念 孝敏	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	585 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
83	腸管運動の成熟・維持に果たす腸内細菌の役割と分子機構	白 暁鵬	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
84	昼夜環境因子に注目した消化管粘膜バリア機能の概日リズムと分子機構の解明	蓑田 洋介	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
85	ストレス関連疾患における腸内細菌由来ヒスタミンの役割：新しい病態機序の提唱	須藤 信行	心療内科	299 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
86	トラウマ治療の疼痛関連アウトカムへの効果：PTSD症状を有す線維筋痛症群での検討	安野 広三	心療内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
87	慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	細井 昌子	心療内科	1,500 万円	補	厚生労働省関連補助金
88	神経性やせ症の長期予後に関連する安静時脳ネットワークの特徴の解明	権藤 元治	心療内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
89	重症神経性やせ症に対する入院認知行動療法のエビデンスと治療バイオマーカーの確立	高倉 修	心療内科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
90	神経性やせ症の病態形成に尿毒症毒素が及ぼす影響の解明	波多 伴和	心療内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
91	中枢神経系自己免疫性疾患における炎症調節機構の解明	磯部 紀子	脳神経内科	598 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
92	α -Synuclein伝播に着目した多系統萎縮症早期バイオマーカーと新規治療法の研究	松瀬 大	脳神経内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
93	ヘミチャネル阻害薬を用いた α シヌクレイン伝播阻止による多系統萎縮症の治療法開発	眞崎 勝久	脳神経内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
						小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
94	中枢神経炎症性疾患の治療を遺伝・免疫・血清学的指標を用いて最適化する方法の確立	渡邊 充	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
95	免疫学的視点からみた中枢性神経障害性疼痛の病態解明ならびに新規治療法開発	藤井 敬之	脳神経内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
96	CD20陽性T細胞とB細胞に注目した多発性硬化症病態の解明	篠田 紘司	脳神経内科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
97	ミクログリアから神経細胞への直接分化転換による慢性期脳梗塞の機能回復	入江 剛史	脳神経内科	208 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
98	ALSの臨床的多様性を評価する新尺度を活用した病態解明と新規治療ターゲットの同定	小早川 優子	脳神経内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
99	「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群」(ME/CFS)の実態調査および客観的診断法の確立に関する研究	磯部 紀子	脳神経内科	80 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
100	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	磯部 紀子	脳神経内科	20 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
101	プリオン病のサーベイランスと感染症予防に関する調査	磯部 紀子	脳神経内科	150 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
102	神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	磯部 紀子	脳神経内科	55 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
103	神経免疫疾患領域における難病の医療水準と患者のQOL向上に資する研究	磯部 紀子	脳神経内科	40 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
104	スモンに関する研究調査	松瀬 大	脳神経内科	70 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
105	経口セマグルチドのパーキンソン病に対する有効性検証および用量探索試験	磯部 紀子	脳神経内科	351 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
106	抗plexin D1抗体及び新規発見抗neuropil抗体陽性アトピー性脊髄炎・自己免疫性神経障害性疼痛の新診療ガイドライン作成のためのエビデンスとレジストリ構築	磯部 紀子	脳神経内科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
107	生殖細胞・体細胞変異とウイルス配列の多層シーケンス解析による自己免疫性神経疾患のシーズ開発	磯部 紀子	脳神経内科	1,300 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
108	ヒト末梢血誘導型ミクログリア細胞(iMG)技術を用いた認知症の病態機序解析ならびに臨床症状と細胞機能との相互解析による新規治療標的の探索	山崎 亮	脳神経内科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
109	Plexin経路制御による神経障害性疼痛治療開発	藤井 敬之	脳神経内科	884 万円	補	国立研究開発法人 科学技術振興機構
110	肺高血圧症における炎症の新規分子機序解明	阿部 弘太郎	循環器内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
111	心血管の炎症における酸化ステロールの分子生物学的役割と治療標的の解明	的場 哲哉	循環器内科	364 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）

小計：18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
112	Fontan術後患者におけるSGLT2阻害薬の心保護メカニズムの解明	坂本 一郎	循環器内科	39 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
113	心房細動において非不整脈時の生体情報から至適心筋焼灼部位を詮索する機械学習の開発	坂本 和生	循環器内科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
114	慢性腎臓病による血管石灰化における単球/マクロファージの役割の解明	香月 俊輔	循環器内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
115	HFpEFにおけるカルシウム・カルモジュリン依存性PDE1の機能解明と治療応用	橋本 亨	循環器内科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
116	HFpEFの病態機序における腎-脳-心の神経性ネットワークの役割	篠原 啓介	循環器内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
117	抗心筋自己抗体から解き明かす心臓－骨格筋双方向性連関に基づく心不全悪循環の仕組み	池田 昌隆	循環器内科	559 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
118	肺動脈性肺高血圧症の肺血管閉塞病変に対するSGLT2阻害薬の効果の解明	吉田 賢明	循環器内科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
119	局所頻回興奮を示す心房内分裂電位記録部位への心筋焼灼による心房細動抑制効果の検証	高瀬 進	循環器内科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
120	非小細胞肺癌に対する抗HER2抗体薬物複合体の作用機序解明と治療への応用	岩間 映二	呼吸器内科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
121	腫瘍間質相互作用による EGFR 遺伝子変異陽性肺癌の耐性誘導機構の解明と新規治療開発	指宿 立	呼吸器内科	200 万円	補	新日本先進医療研究財団研究助成金
122	マルチオミクス解析によるEGFR遺伝子変異陽性肺癌の耐性機構の解明と新規治療法開発	指宿 立	呼吸器内科	240 万円	補	柿原科学技術研究財団研究助成金
123	EGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるDrug tolerant persister細胞の新規遺伝子の同定	柴原 大典	呼吸器内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
124	特発性肺線維症（IPF）合併非小細胞肺癌におけるSPARCの機能解析	大坪 孝平	呼吸器内科	100 万円	補	日本肺癌学会 2024年度肺癌研究助成金
125	特発性肺線維症および合併肺高血圧症における血管内皮細胞の細胞老化の役割の解明	坪内 和哉	呼吸器内科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
126	マスコサイトメトリーを用いた線維化を伴う間質性肺炎におけるマクロファージ集団の検討	高野 智嗣	呼吸器内科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
127	特発性肺線維症における基底細胞上のSignal Regulatory Protein αの機能解明	高野 智嗣	呼吸器内科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
128	特発性肺線維症におけるApelin-APJシグナルの機能解析と新規治療開発	大坪 孝平	呼吸器内科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
129	SARS-CoV-2新規変異株を予測同定するmutagenesis screening	池亀 聡	呼吸器内科	250 万円	補	公益財団法人武田科学振興財団 2023年度ハイリスク新興感染症研究助成
130	新型コロナウイルスが感染の標的とする宿主因子検索のためのスクリーニング系の開発	池亀 聡	呼吸器内科	240 万円	補	公益財団法人 柿原科学技術研究財団 科学技術研究助成

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
131	大規模日本人慢性閉塞性肺疾患コホートをを用いた吸入療法の生命予後改善効果の検討	緒方 大聡	呼吸器内科	50 万円	補	公益財団法人臨床研究奨励基金
132	子宮体癌がん幹細胞の多様性・可塑性に関与する分子機構解明と多角的新規治療法の開発	加藤 聖子	産科婦人科	468 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
133	卵巣癌におけるセンチネルリンパ節同定法の新規開発と縮小手術に向けた新たな取り組み	矢幡 秀昭	産科婦人科	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
134	卵巣癌におけるゲノムワイドな5hmC解析と臨床病理学的因子に関する研究	小野山 一郎	産科婦人科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
135	子宮頸癌におけるセンチネルリンパ節同定のための新規トレーサの開発	小玉 敬亮	産科婦人科	208 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
136	体外培養卵子誘導系/ChIL-seqを用いたヒト原始卵胞のFOXO1Aの機能解析	濱田 律雄	産科婦人科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
137	周産期疾患の新たなモデル動物の創出に関する研究	清木場 亮	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
138	地域において安心して妊娠・子育てが可能となる安全な周産期医療体制の構築のための政策研究	加藤 聖子	総合周産期母子医療センター(母性胎児)	76 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
139	小児期に発症する心筋炎の病因と心筋障害機構の解析	大賀 正一	小児科	507 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
140	不均一かつ多様なミクログリア構成にもとづく脱髄性疾患の新規治療点の解明	酒井 康成	小児科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
141	極低出生体重児が患う合併症に影響する血栓性素因の探索	落合 正行	小児科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
142	マルチモダリティを用いた右心不全によるうっ血性肝線維化のメカニズムと可逆性の解明	山村 健一郎	小児科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
143	難治性EBウイルス関連疾患の新規感染細胞解析法による病態解明	石村 匡崇	小児科	221 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
144	ダウン症候群のTAMに合併する肝不全の発症と重症化の病態解明	井上 普介	小児科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
145	重症新生児単純ヘルペスウイルス感染症の遺伝的素因探索と病態解析モデルの確立	園田 素史	小児科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
146	国内に分布する病原性エルシニアのゲノム解析による遺伝的特性と潜在的病原性の解明	安岡 和昭	小児科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
147	発達段階の神経細胞内でGNAO1遺伝子が関わる機能的極性調節機構の解析	赤峰 哲	小児科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
148	切除可能膀胱癌に対する低侵襲膀胱体尾部切除術のランダム化第III相試験	中村 雅史	第一外科	1,755 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
149	膀胱癌に対する抗腫瘍免疫抑制性環境の改変を目指したCAR-T療法の開発	中村 雅史	第一外科	1,235 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A）

小計：19件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
150	TIME誘導能に応じた膵癌サブタイプ分類と個別TIME変化を目指した新規治療戦略	大内田 研 宙	第一外科	598 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
151	オートファジー依存性がん抗原放出機構の解明および免疫提示システムの強化改変	仲田 興平	第一外科	598 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
152	マイクロバイオームと腫瘍関連好中球から見た膵がんミニエコシステム	池永 直樹	第一外科	572 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
153	scRNAseqによる血液循環腫瘍細胞検出と腫瘍内空間的トランスクリプトミクス	進藤 幸治	第一外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
154	腸内細菌叢による大腸癌subtypingとその免疫微小環境のscRNAseq解析	永吉 絹子	第一外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
155	大腸癌発癌過程における粘膜特異的免疫エコシステムの解明	水内 祐介	第一外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
156	胃癌のIFN γ 応答パターンからみる腫瘍関連好中球とTIL-Bのクロストークの解明	藤本 崇聡	第一外科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
157	膵癌DDR関連遺伝子バリエーションにおける癌間質相互作用を標的とした個別化医療の実現	阿部 俊也	第一外科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
158	移植免疫における腸内細菌叢の役割の解明	岡部 安博	第一外科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
159	膵移植グラフト予後予測ツールの開発	加来 啓三	第一外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
160	独創的方法により作成したiPS肝細胞を用いた新規肝不全治療法の開発	吉住 朋晴	第二外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
161	機械学習（AI）を用いた画像診断で固定困難な大腸癌微小肝転移の高精度固定法の開発	中西 良太	第二外科	175 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
162	Cas9発現iPS細胞を用いた機能特化型肝再生による、革新的肝不全治療の開発	森田 和豊	第二外科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
163	肝癌微小環境における薬物療法耐性機序解明と新規治療法の開発	伊藤 心二	第二外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
164	肺扁平上皮癌に対する新規グルタミントランスポーター阻害療法の確立	竹中 朋祐	第二外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
165	BRCA1/2遺伝子変異陽性乳癌におけるPARP阻害剤耐性獲得機序の解明と耐性克服法の探索	茂地 智子	第二外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
166	新規抗炎症サイトカインIL38が腹部大動脈瘤形成に及ぼす影響と機序の解明	森崎 浩一	第二外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
167	肝細胞癌術後再発における転移・悪性度獲得の機序解明と革新的治療戦略の構築	吉屋 匠平	第二外科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
168	治療抵抗性を獲得した食道癌への局所免疫を応用した革新的治療法の開発	中ノ子 智 徳	第二外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
169	生体肝移植後長期予後を目指した革新的なグラフト質的評価法の樹立	萱島 寛人	第二外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
170	制御性T細胞が虚血肢の新生血管成熟において果たすメカニズムの解明	松原 裕	第二外科	208 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
171	マクロファージ免疫チェックポイント阻害による新規食道癌治療法の基礎研究	胡 慶江	第二外科	39 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
172	肝癌免疫微小環境におけるTA-HEV発現の意義と新規バイオマーカーとしての可能性の探求	利田 賢哉	第二外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
173	癌微小環境と免疫の関連をターゲットとした革新的な肺癌治療法の探索	間野 洋平	第二外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
174	食道扁平上皮癌における炎症関連シグナル活性化の分子機序とその制御	川副 徹郎	第二外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
175	NK様活性をもつ細胞療法による大腸癌に対する画期的な周術期治療法の開発	沖 英次	第二外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
176	M2マクロファージ阻害による特発性肺線維症合併肺癌の術後急性増悪・癌悪性度の克服	河野 幹寛	第二外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
177	低酸素応答機構におけるエピジェネティクスをターゲットとした血管新生創薬研究	井上健太郎	第二外科	299 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
178	肝線維化マーカーM2BPGiによる肝癌微小環境形成の機序解明と革新的治療の開発	別城 悠樹	第二外科	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
179	Interleukin(IL)-36 Familyの肺癌微小環境における意義の解明と新規免疫療法の開発	木下 郁彦	第二外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
180	新規エピジェネティック制御ヒストンラクトシル化の肝細胞癌治療応用の検討	伊勢田 憲史	第二外科	351 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
181	慢性肝疾患の病態・免疫動態に影響を及ぼす筋肉-肝臓関連の機序の解明	筒井 由梨子	第二外科	221 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
182	血管新生阻害剤の臨床効果を予測する革新的コンパニオン診断薬の開発	安藤 幸滋	第二外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
183	免疫チェックポイント阻害薬と整腸剤を併用した新規複合療法の開発	高田 和樹	第二外科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
184	腫瘍微小環境の空間的解析による免疫チェックポイント阻害薬の新規バイオマーカー開発	松原 太一	第二外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
185	加齢免疫評価を基盤とするグラフト機能診断方法の開発	富山 貴央	第二外科	312.0 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
186	老化に伴う肝質の変化に着目した生体肝移植成績の革新的向上戦略	三浦 奈央子	第二外科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
187	B型肝炎再活性化に対する、費用対効果に優れた予防および治療法の開発	吉住 朋晴	第二外科	1,370 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
188	オールジャパンでの脳死移植における恒温機械灌流の臨床実装	吉住 朋晴	第二外科	470 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
189	空間的シングルセル解析による大腸腺腫から発がん過程に於ける免疫寛容獲得機構の解明	久松 雄一	第二外科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
190	遺伝子多型による発がんハイリスク者を対象にした体液生検がん早期診断システムの構築	松本 佳大	第二外科	189.0 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
191	高精度動態・力学解析による股関節疾患病態の解明	中島 康晴	整形外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
192	特発性大腿骨頭壊死症の確定診断と重症度判定の向上に資する大規模多施設研究	中島 康晴	整形外科	10 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
193	骨組成連通多孔性人工骨に関する研究開発	中島 康晴	整形外科	390 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
194	変形性膝関節症の個別化治療実現のための下肢筋骨格シミュレータの開発	中島 康晴	整形外科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
195	神経成長因子が骨壊死修復過程で果たす役割の解明と骨頭圧潰メカニズムの検討	本村 悟朗	整形外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
196	骨軟部腫瘍に対する免疫療法とゲノム医療を組み合わせた精密個別化医療の研究	遠藤 誠	整形外科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
197	限局性高悪性度軟部肉腫の標準的治療法確立のための臨床研究	遠藤 誠	整形外科	39 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
198	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	遠藤 誠	整形外科	304 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
199	実臨床に即した変形性関節症の病期特異的治療ターゲットの探索	赤崎 幸穂	整形外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
200	金属結合蛋白メタロチオネインの破骨細胞分化と機能解明と骨粗鬆症治療への応用	藤原 稔史	整形外科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
201	脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	藤原 稔史	整形外科	25 万円	委	厚生労働科学研究費補助金
202	膝関節動作解析と有限要素解析による人工膝関節単顆置換術の最適な手術手技の検討	川原 慎也	整形外科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
203	骨壊死修復におけるリパラティブフロントの前進と骨端軟骨の支援機構	山口 亮介	整形外科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
204	脊髄の幼若化による脊髄損傷の新規治療法開発	小早川 和	整形外科	1,004 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
205	グリア瘢痕形成メカニズムの包括的理解	小早川 和	整形外科	1,004 万円	委	国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）創発的研究支援事業
206	進行軟部肉腫における腫瘍免疫逃避機序の解明および新規治療法の開発	鍋島 央	整形外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
207	神経幹細胞移植による脊髄再生のメカニズム	横田 和也	整形外科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
208	特発性大腿骨頭壊死症の骨硬化性修復反応に関わる網羅的遺伝子解析	宇都宮 健	整形外科	299 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
209	ミトコンドリアを標的にした膠芽腫治療確立に向けた分子メカニズムの解明	吉本 幸司	脳神経外科	611 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
210	初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第II相試験（医師主導治験）	吉本 幸司	脳神経外科	20 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
211	造影病変全切除可能な初発膠芽腫に対する標準的手術法確立に関する研究	吉本 幸司	脳神経外科	20 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
212	深部で巧みな手技を実現するKeyhole Brain Surgeryロボットの実証システム構築	吉本 幸司	脳神経外科	30 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
213	膠芽腫の増殖抑制を目的にmicroRNA含有ナノ粒子によるセリン合成経路の新規抑制療法	中溝 玲	脳神経外科	110 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
214	血小板由来増殖因子修飾ナノ粒子を用いた脳血管障害の新規治療に関する研究	有村 公一	脳神経外科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
215	計算モデルにガイドされた急成長を伴う時空間モデルの開発	有村 公一	脳神経外科	13 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
216	MRI右房strain解析が肺動脈弁置換術後の右室reverse remodelingの予測因子になるか？	安東 勇介	心臓血管外科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
217	片側脳分離体外循環の安全性の検討ー両側・片側脳分離体外循環の脳循環への影響の比較	木村 聡	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
218	ブタ体外循環モデルを用いた脳過灌流障害とそのモニタリングの検討	松永 章吾	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
219	日本で生まれたリドカイン添加小児心筋保護液の新たな可能性を探索	篠原 玄	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
220	新規バイオマーカーによる体外式機械灌流時における心停止下ドナー心機能評価の確立	塩瀬 明	心臓血管外科	676 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
221	虚脱肺への肺保存液投与は低侵襲心臓手術後の片側性肺水腫の予防となりうるか？	満尾 博	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
222	循環停止後ドナー心臓の右室機能温存：過膨張予防介入がもたらす効果	内山 光	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
223	重症二次性三尖弁逆流に対するスパイラル・サスペンション法の有効性に関する臨床研究	塩瀬 明	心臓血管外科	6 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
224	一酸化窒素ガスは低侵襲心臓手術後の片側性肺水腫の予防に寄与しうるか	牛島 智基	心臓血管外科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
225	虚血心筋再灌流モデルを用いた、cMyBP-Cとその結合蛋白FHOD3の機能の解明	神尾 明君	心臓血管外科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
226	ALL JAPANで挑む革新的植込型小児用補助人工心臓の開発	塩瀬 明	心臓血管外科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
227	難治性神経芽腫根絶を目的とした効率的な低侵襲養子免疫治療の開発	田尻 達郎	小児外科・成育外科・小腸移植外科	442 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)
228	腸管不全関連肝障害(IFALD)における新規細胞死フェロトーシス機序の解明	松浦 俊治	小児外科・成育外科・小腸移植外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
229	動態撮影と人工知能を用いた先天性横隔膜ヘルニアにおける呼吸機能予測モデルの開発	永田 公二	小児外科・成育外科・小腸移植外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
230	神経芽腫根絶を目的とした自然退縮機序の解明と新規スクリーニングシステムの開発	川久保 尚徳	小児外科・成育外科・小腸移植外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
231	ヒルシュスプリング病類縁疾患モデルゼブラフィッシュを用いた新規治療法開発	近藤 琢也	小児外科・成育外科・小腸移植外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
232	Alagille症候群における胆管再生技術開発による新規治療法の確立	前田 翔平	小児外科・成育外科・小腸移植外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(研究活動スタート支援)
233	神経芽腫克服を目的とした高活性NK細胞製剤と抗PD-1抗体併用療法の開発	石本 健太	小児外科・成育外科・小腸移植外科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
234	大型自己細胞パッチによる新規先天性横隔膜ヘルニア根治術の開発	張 秀英	小児外科・成育外科・小腸移植外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
235	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	中原 剛士	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	19,395 万円	補	厚生労働行政推進調査事業費
236	アトピー性皮膚炎における細胞外ATPを介した細胞間相互作用の解析と治療応用	中原 剛士	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
237	がん幹細胞に着目した皮膚希少がんの解析と新規治療法の開発	伊東 孝通	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
238	AHR agonistによるSLE皮疹の新たな治療薬の開発	冬野 洋子	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
239	皮膚悪性腫瘍に対する抗体薬物複合体作製法の確立と検証	田中 由香	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
240	アトピー性皮膚炎における新規そう痒惹起物質の同定とその感知機構の解明	山村 和彦	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(若手研究)
241	乳児湿疹の病態の解析とアトピー性皮膚炎への移行を予測するバイオマーカーの探索	中原 真希子	皮膚科、油症ダイオキシン研究診療センター	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究C)
242	MSI-H/dMMR切除可能尿路上皮癌に対する抗PD-1/PD-L1阻害剤に関する研究開発	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,176 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
243	進行腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験	松元 崇	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,300 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
244	尿路上皮がんに対する超高感度バイオセンサーの開発とその臨床的有効性の検討	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	390 万円	補	文部科学省(日本学術振興会) 科学研究補助金(基盤研究B)

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
245	膀胱癌におけるFBXW7の治療抵抗性獲得の解明およびctDNAによる予後予測	松元 崇	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	65 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
246	腎癌診療におけるハイブリッドAI画像支援技術の開発研究	小林 聡	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
247	腎細胞がんにおけるMHCクラスIIを介した免疫抑制メカニズムの解明と新規治療法の開発	種子島 時祥	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
248	膀胱PDGFR α +細胞は膀胱繊維化を惹起するのか？モデルマウスの作成と病態の解明	李 賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
249	新型コロナウイルス感染に起因すると考えられる精神症状に関する疫学的検討と支援策の検討に資する研究	中尾 智博	精神科神経科	6,075 万円	委	厚生労働科学研究費補助金
250	FreeSurferを用いたためこみ症の脳皮質gyrification異常の同定とその実行機能への関与	中尾 智博	精神科神経科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
251	ひきこもりの生物心理社会的病態理解に基づく多元的な支援法開発	加藤 隆弘	精神科神経科	1,027 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究A）
252	チック関連強迫性障害におけるendophenotypeの同定	村山 桂太郎	精神科神経科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
253	注意欠如/多動性障害の反応抑制障害の基盤となる安静時の大域的脳ネットワークの検索	豊見山 泰史	精神科神経科	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
254	Vogt-小柳-原田病予後予測リスクスコア確立と重症化病態解明	園田 康平	眼科	1,196 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
255	“真の視機能形成”を実現する急性期網膜再生医療の確立	園田 康平	眼科	650 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
256	網膜変性を促進する末梢血免疫細胞サブセットの同定とこれらを標的とした治療開発	村上 祐介	眼科	273 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
257	Solid-in-Oil製剤技術を用いた増殖性硝子体網膜症治療薬開発	石川 桂二郎	眼科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
258	IgG4関連眼疾患と眼窩悪性リンパ腫の識別を目的とした涙液タンパク質の網羅的解析	山名 佳奈子	眼科	221 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
259	MAIT細胞活性化による慢性炎症性眼疾患治療の確立	長谷川 英一	眼科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
260	病的近視発症リスク予測モデルの開発に向けた前向きコホート研究	安田 美穂	眼科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
261	涙液を用いた眼表面悪性腫瘍のリキッドバイオプシー	秋山 雅人	眼科	351 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
262	新しい網膜血管定量解析を用いた脳萎縮予測のための網膜パラメータ意義の検証	上田 瑛美	眼科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
263	前向きコホート研究に基づいたOCT緑内障発症リスク予測モデルの開発	藤原 康太	眼科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
						小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
264	網膜虚血性疾患における線維性増殖に対するペリサイトとペリオスチンの関与	久保 夕樹	眼科	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
265	MAIT細胞による自己免疫性ぶどう膜炎の病態制御機構の解明	山名 智志	眼科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
266	TNFRSF10制御によるAMD線維性瘢痕の治療法開発	森 賢一郎	眼科	208 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
267	サイトメガロウイルス前部ぶどう膜炎の病態と予後関連因子の解明	白根 茉莉子	眼科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
268	炎症性単球を標的とした網膜変性治療薬のグローバル開発	村上 祐介	眼科	5,980 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）国際共同研究加速基金（国際共同研究強化B）
269	側頭骨扁平上皮癌の網羅的組織解析に基づく新規統合的治療戦略の開発	中川 尚志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	559 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
270	ナビゲーション用基準座標の重心位置を自動制御する新規レジストレーション法の開発	松本 希	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
271	スギ花粉症に対する新規経鼻免疫療法の確立と免疫寛容機序の解明	村上 大輔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	247 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
272	側頭骨扁平上皮癌におけるNLRP3インフラマゾーム機構を介した転移制御機構の解明	小宗 徳孝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
273	ctDNAによる頭頸部癌化学放射線療法耐性因子の同定	古後 龍之介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
274	成人吃音者に併発する社交不安症を日米で比較する国際共同研究	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	98 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）国際共同研究加速基金（国際共同研究強化A）
275	合理的配慮と仮想現実VR技術による吃音支援法の確立	菊池 良和	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	702 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
276	小児の効果的で安全な補聴器装用に関する研究	野田 哲平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	810 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
277	脾の硬度測定による病態解析の試み	石神 康生	放射線科	221 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
278	メチオニンPETとAPTイメージングの統合による新たな脳腫瘍診断方法の開発	楠 正興	放射線科	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
279	Variable-TR法を用いた4D-ASLによる脳循環パラメータの定量的評価法の開発	梅尾 理	放射線科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
280	左心補助人工心臓装着に伴う感染症に対するFDG-PET/CTを用いた新たな診断方法の確立	北村 宜之	放射線科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
281	胸部X線動態撮影と人工知能を組み合わせた全自動式肺塞栓症診断システムの開発	山崎 誘三	放射線科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
282	セルフフリーDNAのマルチオミクス解析による食道がんの放射線治療効果判定法の確立	久野 修	放射線科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
						小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
283	急性期脳梗塞と無症候性脳血管障害の病態解明に向けた高速MR灌流画像撮像法の開発	山下 孝二	放射線科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
284	APTイメージングを用いた膵臓嚢胞性病変の診断の有用性の確立	石松 慶祐	放射線科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
285	成人T細胞白血病/リンパ腫の治療を目指したHTLV-1ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立薬事承認を目的とした第II相医師主導治験	牛島 泰宏	放射線科	182 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
286	多核種イメージングによる脳腫瘍（グリオーマ）の悪性度判定と治療効果判定	菊地 一史	放射線科	100 万円	補	公益財団法人 新日本先進医療研究財団研究助成金
287	空間的画像特徴量解析を用いた精密放射線治療計画法の開発	廣瀬 貴章	放射線部	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
288	CRPSの発症および症状の増悪に対するデクスメデトミジンの効果	山浦 健	麻酔科蘇生科、手術部	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
289	全身麻酔補助薬としてのデクスメデトミジンによる術後高次脳機能低下の予防効果	東 みどり子	麻酔科蘇生科、手術部	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
290	急性肝不全に対する硫化水素キノン酸化還元酵素(SQOR)の効果の検討	白水 和宏	麻酔科蘇生科、手術部	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
291	脂肪由来間葉系幹細胞を用いた神経障害性疼痛に対する効果的な治療法の開発	前田 愛子	麻酔科蘇生科、手術部	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
292	CRPSの病態解明および治療法の検討	中川 拓	麻酔科蘇生科、手術部	195 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
293	レドックス評価による劇症化予測を目的とした心筋炎の非侵襲的診断法の開発研究	水田 幸恵	麻酔科蘇生科、手術部	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
294	肺動脈性肺高血圧症における肺血管リモデリングに対する新規治療戦略の開発研究	石川 真理子	麻酔科蘇生科、手術部	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
295	コホート・生体試料支援プラットフォーム（コホートによるバイオリソースによる支援活動）	村田 昌之	総合診療科	1,469 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（学術変革領域研究（学術研究支援基盤形成））
296	全自動LCMS分析システムによる先天性代謝異常症の精密検査法の構築	植柳 泰	検査部	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
297	ヒト化VWF-GPIb α マウスを用いた血栓形成機序の解明と新規抗血小板薬の開発	金地 佐千子	検査部	3,718 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）国際共同研究加速基金（帰国発展研究）
298	ホスファチジルセリンナノキャリアを用いた急性呼吸促拍症候群に対する治療法の開発	赤星 朋比古	救命救急センター、集中治療部	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
299	敗血症における急性腎障害の発症と慢性腎臓病への進展に関わるメカニズムの解明	牧 盾	救命救急センター、集中治療部	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
300	小児ECMO症例の救命のための教育・搬送・集約モデルの開発	賀来 典之	救命救急センター、集中治療部	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
301	慢性腎臓病を併存する敗血症における高酸素血症が中枢性交感神経系と予後へ与える影響	西原 正章	救命救急センター、集中治療部	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
302	ARDSの病態解明 血管内皮と肺胞上皮が形成する肺胞隔壁が破綻するメカニズムについて	水口 壮一	救命救急センター、集中治療部	13 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
303	口腔腫瘍実質がもたらす間質転換による顎骨破壊機序の解明と治療標的分子の探索	藤井 慎介	病理診断科、病理部	910 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
304	超早期癌発見戦略に向けた変異細胞-隣接正常細胞-間質細胞における不安定性出現解明	清島 保	病理診断科、病理部	572 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
305	空間的マルチオミクス解析による軟部肉腫の腫瘍微小環境の解明と代謝標的治療法の探索	小田 義直	病理診断科、病理部	416 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
306	口腔細胞診における遺伝子検査法（GSC）の創出とその臨床応用	山口 知彦	病理診断科、病理部	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
307	シングルセル時空間マルチオミクス解析によるメルケル細胞癌の病態解明	岩崎 健	病理診断科、病理部	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
308	治療戦略を見据えた非淡明細胞型腎細胞癌再分類へのアプローチ	清澤 大裕	病理診断科、病理部	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
309	空間的メチローム・プロテオーム解析による間質性肺炎合併肺癌の腫瘍微小環境の解明	橋迫 美貴子	病理診断科、病理部	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
310	腫瘍微小環境に基づく術前化学療法後膀胱癌の層別化と予後予測因子および治療戦略の解明	山本 猛雄	病理診断科、病理部	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
311	スーパーエンハンサー標的抗癌治療に対する耐性獲得機構の解明とそれに基づく新規戦略	清島 保	病理診断科、病理部	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
312	シングルセル解析を用いた口腔腫瘍間質由来破骨細胞形成因子（SODF）の同定	藤井 慎介	病理診断科、病理部	551 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（A））
313	神経ストレスシグナル因子による唾液腺悪性腫瘍の癌進展機構の解明	藤井 慎介	病理診断科、病理部	180 万円	委	公益財団法人柿原科学技術研究財団
314	口腔癌をモデルとした新規YAPシグナル標的因子による癌進展機序の解明	長谷川 佳那	病理診断科、病理部	100 万円	委	公益財団法人新日本先進医療研究財団
315	白血病幹細胞特異的ミトコンドリア活性化機構の解明および新規治療モデルの確立	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	416 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
316	医療施設における標準コードの効率的なマッピング手法に関する調査および実証研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,808 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
317	ヘルスクエアとセルフケアのプロセス統合DXを目指す戦略的国際標準化	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	3,326 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
318	クリニカルパスと診療記録を用いたLHSの実践と臨床応用評価	山下 貴範	メディカル・インフォメーションセンター	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
319	生活習慣情報と病院医療情報を融合した外来診療プラットフォームの開発とLHSの実践	佐藤 直市	メディカル・インフォメーションセンター	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
320	膵癌に対する抗線維化療法を併用した新規腫瘍溶解性ウイルス免疫療法の開発	緒方 久修	臨床教育研修センター	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
321	膵癌に対する抗線維化ペプチドと腫瘍溶解性ウイルスを用いた多剤併用免疫療法の開発	緒方 久修	臨床教育研修センター	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
322	副腎皮質腫瘍の発生機構と副腎皮質リモデリング機構の解明	福元 多鶴	臨床教育研修センター	200 万円	補	上原記念生命科学財団 研究奨励金
323	医療技術実用化総合促進事業「支援体制の強化・効率化による革新的医療開発の迅速化」	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	18,508 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
324	臨床研究総合促進事業	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	1,863 万円	補	厚生労働省
325	医薬品等規制調和・評価研究事業「患者報告アウトカムの取得率及び信頼性向上のためのガイドライン案策定」	小早川 優子	ARO次世代医療センター	260 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
326	カイコ昆虫工場モダリティによる低価格な純国産組換えワクチンに関する研究開発	下野 信行	グローバル感染症センター	502 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）
327	尿を試料としたオミックス解析による腎移植後拒絶反応に対する早期診断法の開発	田島 壮一郎	薬剤部	153 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
328	機械学習技術を用いた臨床検査値に基づく医薬品用量チェックシステムの確立と臨床応用	永田 健一郎	薬剤部	65 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
329	肝移植後慢性腎障害の早期診断に資する高精度なバイオマーカーの探索	福田 未音	薬剤部	203 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
330	肝移植後の免疫寛容における鍵分子の特定と機能解明に関する研究	山本 奈々絵	薬剤部	119 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
331	血中microRNAを指標とした抗がん剤耐性の検出と克服への応用研究	荻野 敬史	薬剤部	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
332	がん悪液質に伴う骨格筋萎縮の複合的要因の精査及び、薬学的予防戦略の探索	松金 良祐	薬剤部	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
333	新たな薬剤管理指導を指向した医薬品－経口細菌間相互作用解析	土谷 祐一	薬剤部	221 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
334	モンゴル国での消化器疾患の人材育成とチーム医療の導入	森山 智彦	国際医療部	930 万円	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
335	アジアにおける大腸癌死亡率低下を目指した持続可能な国際遠隔医療教育	森山 智彦	国際医療部	9 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
336	アジアにおける遠隔医療教育のためのeラーニング技術研修プログラムの開発と実証	工藤 孔梨子	国際医療部	494 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
337	医療とデザインを融合した創造的教育プログラムの開発と実証	工藤 孔梨子	国際医療部	182 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
338	拡大内視鏡を用いた精緻な早期胃癌診断を世界に普及するための画像品質基準策定	上田 真太郎	国際医療部	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）

小計：19件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
339	2024年度 国別研修「早期胃癌の内視鏡診断と治療」	森山 智彦	国際医療部	213 万円	委	独立行政法人国際協力機構 (JICA)
340	2024年度 日系社会研修「早期胃癌の内視鏡診断と治療」	森山 智彦	国際医療部	71 万円	委	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 日系社会研修員受入事業
341	全天球カメラを用いた医療コンテンツのオンデマンド配信に関する研究	久田 由紀子	国際医療部	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
342	希少疾患先天性無歯症患者の欠損歯を再生する新規抗体医薬品の開発	高橋 一郎	矯正歯科	234 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
343	上皮-間葉ネットワークにおける器官運命決定機構の解明とその応用	吉崎 恵悟	矯正歯科	325 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
344	炭酸アパタイトの組成制御による破骨細胞の分化・活性化制御と骨形成促進機序の解明	出口 佳愛	矯正歯科	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
345	NF-κBシグナルによる骨形成抑制機構の解明と骨再生への応用	日浦 史隆	矯正歯科	299 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
346	酸化ストレスを標的とした象牙質/歯髄複合体の加齢変化の機序の解明	前田 英史	歯内治療科	416 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
347	歯根膜幹細胞転換を応用した革新的歯周組織再生法の創出	長谷川 大学	歯内治療科	182 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
348	ナノハイドロキシアパタイト含有レジンを用いた歯周組織再生誘導型歯質接着材の開発	杉井 英樹	歯内治療科	169 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)
349	老化細胞が歯髄創傷治癒を促進する分子機構の解明	吉田 晋一郎	歯内治療科	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
350	PAI-1に着目した、歯髄細胞の老化とそれに伴う石灰化の促進の機序の解明	糸山 知宏	歯内治療科	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
351	TAK1阻害剤を用いた新規歯周組織再生療法の開発	兼子 大志	歯内治療科	234 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (若手研究)
352	老化細胞により誘導されたマクロファージ由来因子を用いた修復象牙質形成促進材の開発	門脇 正敬	歯内治療科	117 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
353	象牙質形成におけるYAP/TAZの時期特異的な機能の解明	長野 良子	歯内治療科	143 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (研究活動スタート支援)
354	日本人型軽度肥満モデルの歯周病と健康寿命	西村 英紀	歯周病科	1,079 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
355	アメロジェニン・CRP78複合体を基軸とした歯周組織再生と難治性免疫疾患への挑戦	讃井 彰一	歯周病科	455 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
356	歯肉幹細胞由来エクソソームによる歯周組織再生機構の空間トランスクリプトーム解析	福田 隆男	歯周病科	377 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究B)
357	miRNAを標的とした薬剤性歯肉増殖症新規治療薬の開発	山下 明子	歯周病科	156 万円	補	文部科学省 (日本学術振興会) 科学研究補助金 (基盤研究C)

小計：19件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
358	PGD2シグナリング経路に着目した歯周炎が糖尿病性腎症を増悪する分子機序の解明	新城 尊徳	歯周病科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
359	膵β細胞保護と糖尿病性歯周炎予防に対する歯肉幹細胞由来エクソソームの効能検証	西村 優輝	歯周病科	273 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
360	小胞体ストレスを介した歯周病-2型糖尿病連関に対するmiRNA治療法の開発	林 千華子	歯周病科	247 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
361	インスリン感受性改善薬を用いた糖尿病関連歯周炎の新規治療促進法の開発	瀬々 起朗	歯周病科	169 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
362	低出力レーザーを用いた新規歯周炎治療戦略への展開	青木 司	歯周病科	247 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
363	SPOCK1が骨代謝に与える影響`疾患モデルマウスを用いた検討	今川 澤	歯周病科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
364	歯髄炎惹起に寄与する歯髄細胞特異的なストレス顆粒形成因子の探索	川上 賢太郎	歯周病科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
365	歯周炎症は糖尿病性腎症における尿細管障害にも関与するか	佐藤 晃平	歯周病科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
366	剣山式バイオ3Dプリンターを活用した歯肉由来幹細胞による新規骨補填材の開発	豊田 真顕	歯周病科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
367	間葉系幹細胞関連疾患の概念構築と病因、治療法の解明	鮎川 保則	義歯補綴科	364 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
368	光触媒活性に優れた紫外線応答チタンの創製とインプラント治療への応用	坂本 安繁	義歯補綴科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
369	AIを用いた即時負荷・早期負荷のための歯科インプラント術前診断支援システムの構築	神野 洋平	義歯補綴科	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
370	光学印象を用いた多数歯欠損症例の最終補綴装置作製における新規手法の検討	三田 公麿	義歯補綴科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
371	インプラント周囲炎による骨欠損の完全回復を目指した新規抗菌性骨補填材の開発	竹村 陽子	義歯補綴科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
372	偏咀嚼の持続は直接的な歯の喪失原因となりうるのか？	木下 康平	義歯補綴科	234 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
373	骨補填材が硬・軟組織治癒に及ぼす影響と間葉系幹細胞に着目したメカニズムの解明	成松 生枝	義歯補綴科	195 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
374	高血圧症治療薬ベニジピンを用いた薬剤関連顎骨壊死に対する治療メカニズムの解明	今井 実喜生	義歯補綴科	247 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
375	腫瘍微小環境におけるPAR1を介した口腔癌の高度悪性形質獲得機構の解明	川野 真太郎	顎口腔外科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
376	IgG4関連疾患の異所性胚中心オルガノイドから病因解明と新規モデル動物の樹立	前原 隆	顎口腔外科	286 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）

小計：19件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
377	Expansion of CD4+ cytotoxic T lymphocytes and IgD-CD27- double negative B cells in COVID-19 and autoimmune diseases including IgG4-related disease	金子 直樹	顎口腔外科	65 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）国際共同研究加速基金（国際共同研究強化B）
378	IgG4関連疾患、木村氏病およびCOVID-19におけるクラススイッチ機構の解明	金子 直樹	顎口腔外科	468 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
379	疾患特異的環境下における自己抗体産生B細胞とその抗原の同定	金子 直樹	顎口腔外科	468 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
380	口腔扁平上皮癌におけるDkk1とDkk3の機能-Wnt5a/Ror2との関連-	坂本 泰基	顎口腔外科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
381	癌の悪性度に関与する扁平上皮-腺扁平上皮分化転換機構の解明	三上 友理恵	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
382	Epas1依存的なIL-31産生に注目した口腔扁平苔癬の新規治療薬の開発	上加世田 泰久	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
383	患者レジストリを用いたIgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断における顎下腺超音波の有用性	坂本 瑞樹	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
384	IRAK4/NFkBシグナルに着目したIgG4関連疾患の新規治療戦略	鎮守 晃	顎口腔外科	91 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
385	IgG4関連疾患の異所性胚中心におけるT/B細胞の免疫ネットワーク破綻の解明	青柳 龍一	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
386	難治性自己免疫疾患における病因関連T・B細胞の同定と創薬ターゲットの探索	古賀 理紗子	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
387	Great mimickerから紐解くIgG4関連疾患におけるIgG4へのクラススイッチ機構	宮原 佑佳	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（研究活動スタート支援）
388	Toll様受容体8に着目したシェーグレン症候群の新たな診断・治療戦略	森山 雅文	顔面口腔外科	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
389	IgG4関連疾患の疾患特異的自己抗原の同定-新たな診断方法と治療薬の開発-	森山 雅文	顔面口腔外科	624 万円	補	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化B）
390	オールジャパン体制によるIgG4 関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	森山 雅文	顔面口腔外科	50 万円	補	厚生労働科学研究費
391	自己免疫疾患に関する調査研究	森山 雅文	顔面口腔外科	20 万円	補	厚生労働科学研究費
392	口腔内微生物叢の改善を目指す光遺伝学を駆使した唾液分泌制御手法開発への挑戦	森山 雅文	顔面口腔外科	260 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（挑戦的萌芽研究）
393	NMT1結合分によるミリスチル化を介した骨免疫機能調節機構の解明	杉山 悟郎	顔面口腔外科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
394	神経賦活化による唾液腺悪性腫瘍（腺様嚢胞癌）の新規癌治療への展開	藤本 龍史	顔面口腔外科	90 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（特別研究員奨励賞）

小計：18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
395	誤飲・誤嚥時X線検査における検出精度向上検討とX線画像データベースの構築	岡村 和俊	口腔画像診断科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
396	Compressed sensingを用いた正確な口腔癌深達度の三次元的取得	加美 由紀子	口腔画像診断科	78 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
397	放射線治療と歯根形成障害の関連性についての幹細胞学的研究	山内 恵利佳	口腔画像診断科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
398	歯乳頭に発現するSPARC関連因子による分化制御機構の解明と歯の再生の試み	和田 裕子	口腔総合診療科	156 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
399	ICU患者におけるせん妄発症に関連した口腔状態の危険因子の解明	神野 哲平	口腔総合診療科	143 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
400	細胞成長因子デリバリー格子状シートを用いた新規歯周再生治療法の開発	祐田 明香	口腔総合診療科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
401	根尖病巣複合Biofilmの性状解明と天然成分エッセンシャルオイルの有用性	原口 晃	口腔総合診療科	117 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
402	舌苔細菌叢による難治性悪性腫瘍早期発見の可能性についての研究	稲井 裕子	口腔総合診療科	130 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
403	ワーク・エンゲイジメントと研修活動との関連 ―アウトカム評価を指標とした検証―	寶田 貫	口腔総合診療科	52 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
404	歯小囊に発現するlncRNAを介したIGFシグナル応用新規歯周組織再生療法の樹立	御手洗 裕美	口腔総合診療科	39 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
405	データ駆動型解析を用いた口腔からアプローチするフレイル・生活習慣病予防法の開発	柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	663 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
406	造血細胞移植患者における味覚センサを活用した新しい食支援法の確立	奥 菜央理	高齢者歯科・全身管理歯科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（若手研究）
407	慢性腎臓病患者の健康生活支援を目指した口腔機能管理・食支援プログラムの開発	山添 淳一	高齢者歯科・全身管理歯科	104 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究B）
408	遠隔通信システムを活用した非歯科医療職種向け口腔ケアシミュレーション教育法の開発	井上 良介	高齢者歯科・全身管理歯科	65 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金（基盤研究C）
409	食欲増進につながる口腔リハビリテーション法の検討	山添 淳一	高齢者歯科・全身管理歯科	221 万円	補	文部科学省（日本学術振興会）科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
410	介護保険施設等における口腔衛生の管理体制の在り方に関する調査研究事業	水谷 慎介	高齢者歯科・全身管理歯科	1,720 万円	委	厚生労働省（令和6年度老人保健健康増進等事業）

小計：16件

合計：410件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	Sho Fujimoto, Yoshihiro Eriguchi, Rinto Nakamura, et al.	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Streptococcal toxic shock syndrome due to Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis from retroperitoneal panniculitis during the treatment with anti-IL-6 receptor antibody: A case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2024 Jul 8;8(2):255-258.	Case report
2	Naoki Tani 1 , Hideyuki Ikematsu 2 , Haruka Watanabe, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Reduction of adverse reactions and correlation between post-vaccination fever and specific antibody response across successive SARS-CoV-2 mRNA vaccinations	Vaccine: X. 2024 Apr;18: 100489.	Original Article
3	Kenichiro Shiraishi, Yong Chong, Takeyuki Goto, et al.	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Correlation of patient symptoms with SARS-CoV-2 Omicron variant viral loads in nasopharyngeal and saliva samples and their influence on the performance of rapid antigen testing	Microbiol Spectr. 2024 Nov 5;12(11):e0093224.	Original Article
4	Takeyuki Goto, Naoki Kawai, Takuma Bando, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	In vitro neuraminidase inhibitory concentrations (IC50) of four neuraminidase inhibitors in the Japanese 2023-24 season: Comparison with the 2010-11 to 2022-23 seasons	J Infect Chemother. 2025 Mar;31(3):102602.	Original Article
5	Takeyuki Goto, Naoki Kawai, Takuma Bando, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Virological and Clinical Outcomes of Influenza Outpatients Treated With Baloxavir, Oseltamivir, or Laninamivir in the 2023-2024 Season	Influenza Other Respir Viruses. 2024 Nov;18(11):e70042.	Original Article
6	Teppei Sakoda, Yoshikane Kikushige, Hidetoshi Irifune, et al.	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	TIM-3 marks measurable residual leukemic stem cells responsible for relapse after allogeneic stem cell transplantation	Cancer Sci. 2025 Mar;116(3):698-709.	Original Article
7	Takeshi Sugio, Naoyuki Uchida, Kohta Miyawaki, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Prognostic impact of HLA supertype mismatch in single- unit cord blood transplantation	Bone Marrow Transplant. 2024 Apr;59(4):466-472.	Original Article
8	Koji Kato, Koji Izutsu, Momoko Nishikori, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	End-of-treatment 18[F]-FDG PET can predict early progression in patients receiving bendamustine-rituximab for follicular lymphoma in first relapse: a prospective West Japan hematology Study Group (W-JHS) NHL01 trial	Int J Hematol. 2024 Jun;119(6):677-685.	Original Article
9	Koji Kato, Sosuke Nakamura, Akira Wakana, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Pembrolizumab in Japanese patients with primary mediastinal large B-cell lymphoma: results from the KEYNOTE-A33 study	Int J Clin Oncol. 2024 Dec;29(12):1977-1983.	Original Article
10	Kyoko Yamaguchi, Mamoru Ito, Taichi Isobe , et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Impact of Genomic Alterations on Efficacy of Trastuzumab Deruxtecan Against Human Epidermal Growth Factor Receptor-2-Positive Advanced Gastric Cancer	JCO Precis Oncol. 2024 May;8:e2300681.	Original Article
11	Kenro Tanoue, Hirofumi Ohmura, Koki Uehara, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Spatial dynamics of CD39+CD8+ exhausted T cell reveal tertiary lymphoid structures-mediated response to PD-1 blockade in esophageal cancer	Nat Commun. 2024 Oct 19;15(1):9033	Original Article
12	Takashi Matsumura, Kenji Tsuchihashi, Takeo Yamamoto, et al	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Lymphoproliferative Disorder in an Esophageal Cancer Patient Treated with Pembrolizumab	Intern Med.2024 Oct 18. (オンライン)	Case report

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
13	Kyoko Yamaguchi, Kenji Tsuchihashi, Shohei Ueno, et al.	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Efficacy of pembrolizumab in microsatellite-stable, tumor mutational burden-high metastatic colorectal cancer: genomic signatures and clinical outcomes	ESMO Open. 2025 Jan;10(1):104108	Original Article
14	Hirofumi Ohmura, Fumiyasu Hanamura, Yuta Okumura, et al.	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Liquid biopsy for breast cancer and other solid tumors: a review of recent advances	Breast Cancer. 2025 Jan;32(1):33-42.	Review
15	Shohei Moriyama, Moe Kondo, Ryuichi Awamura, et al.	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Role of Cardio-Oncology Rehabilitation in Hematopoietic Stem Cell Transplantation and Chimeric Antigen Receptor T-Cell (CAR-T) Therapy	Circ Rep. 2025 Jan 29;7(2):59-65.	Case report
16	Keiji Nakamura, Takeyuki Goto, Kenichiro Shiraishi, et al	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Clinical and virological features of SARS-CoV-2 Omicron variant-infected immunocompromised patients receiving immunosuppressive medications	BMC Infect Dis. 2024 Jul 25;24(1):736	Original Article
17	M Ayano, K Tsubouchi, K Suzuki, et al	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Comparing the safety and efficacy of nintedanib starting dose in patients with connective tissue disease-associated interstitial lung diseases	Scand J Rheumatol. 2024 Jul;53(4):255-262.	Original Article
18	Masahiro Ayano, Akie Hirata, Shoji Tokunaga, et al	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	No clear influence of treatment escalation on flare prevention in serologically active clinically quiescent patients with systemic lupus erythematosus: a retrospective cohort study	Rheumatol Int. 2024 Nov;44(11):2411-2419.	Original Article
19	Masahiro Ayano, Naoyasu Ueda, Koji Mishima, et al	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Treatment selection in the clinical practice of systemic lupus erythematosus: Results from the Kyushu Collagen Disease Network for Systemic Lupus Erythematosus (KCDN-SLE) registry	Mod Rheumatol. 2024 Dec 25;35(1):102-109.	Original Article
20	Koichi Kimura, Masahiro Ayano, Shun-Ichiro Ota, et al	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Comparative efficacy and safety of belimumab and hydroxychloroquine in the maintenance phase in patients with systemic lupus erythematosus: a retrospective cohort study	Front Lupus. 2024 Sep (オンライン)	Original Article
21	Masahiro Ayano , Naoyasu Ueda, Koji Mishima, et al	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Comparative efficacy and safety of anifrolumab for belimumab-experienced and biologic-naïve patients with systemic lupus erythematosus: Results from the Kyushu Collagen Disease Network for Systemic Lupus Erythematosus (KCDN-SLE) registry	Joint Bone Spine. 2025 Mar 14;92(4):105882.	Original Article
22	Hisanobu Ogata, Akira Imaizumi, Yutaka Fujioka, et al.	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	A Novel Oncolytic Viral Therapy Using Coxsackievirus B3 (CVB3) for Human Pancreatic Cancer Including Cancer-associated Fibroblasts	Anticancer Res. 2024 Dec;44(12):5215-5218.	Original Article
23	Ryosuke Tsurui, Hisakata Yamada, Takahiro Natori, et al.	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Homeostatic signals, including IL-7 and self-MHC recognition, induce the development of peripheral helper T cells, which are enriched in the joints of rheumatoid arthritis	J Transl Autoimmun. 2024 Oct 30:9:100258.	Original Article
24	Akira Maeyama, Masakazu Kondo, Hiroshi Harada, et al.	血液・腫瘍・心血管内科、免疫・膠原病・感染症内科	Efficacy and safety of baricitinib in rheumatoid arthritis patients with moderate renal impairment: a multicenter propensity score matching study	BMC Rheumatol. 2024 Dec 18;8(1):69.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
25	Atsushi Naito, Sachiko Kamakura, Junya Hayase, et al.	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	The Protein Kinase aPKC as Well as the Small GTPases RhoA and Cdc42 Regulates Neutrophil Chemotaxis Partly by Recruiting the ROCK Kinase to the Leading Edge	Genes Cells. 2025 Mar;30(2):e70002.	Original Article
26	Nobuyuki Ono, Motoki Yoshimura, Toshiya Nishida, et al.	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	Successful control of recurrent MAS by canakinumab in a Sjogren syndrome patient with homozygous MEFV P369S variants, and review of literatures	Mod Rheumatol Case Rep. 2025 Mar 6:rxaf016.	Case report
27	Minako Inoue, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, et al	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Sleep-related breathing disorder in a Japanese occupational population and its association with exercise-induced blood pressure elevation	Hypertens Res. 2025 Feb;48(2):754-762.	Original Article
28	Ikumi Yamato, Yasuo Kansui, Kiyoshi Matsumura, et al	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Impact of smoking status on incident hypertension in a Japanese occupational population	Hypertens Res. 2025 Jan;48(1):180-188.	Original Article
29	Minako Inoue, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, et al	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Sleep-related breathing disorder in a Japanese occupational population and its association with hypertension-stratified analysis by obesity status	Hypertens Res. 2024 Jun;47(6):1470-1478.	Original Article
30	Kumi Sagara, Kenichi Goto, Megumi Maeda, et al	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Medication adherence and associated factors in newly diagnosed hypertensive patients in Japan: the LIFE study	J Hypertens. 2024 Apr 1;42(4):718-726	Original Article
31	Kondo M, Torisu T, Nagasue T, et al.	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Duodenal microbiome in chronic kidney disease	Clin Exp Nephrol. 2024 Apr;28(4):263-272.	Original Article
32	Kondo M, Nagasue T, Torisu T, et al.	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Use of endoscopic hand-suturing to treat refractory bleeding from a gastric ulcer in a patient with a left ventricular assist device	DEN Open. 2024 Apr 17;4(1):e369.	Case report
33	Imazu N, Torisu T, Yokote A, et al.	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Arginase 2 attenuates ulcerative colitis by antioxidant effects of spermidine	J Gastroenterol. 2024 Aug;59(8):682-698.	Original Article
34	Kawasaki K, Taniguchi Y, Torisu T.	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Condyloma acuminatum of the anorectum observed by texture and color enhancement imaging endoscopy and treated by underwater endoscopic mucosal resection	Dig Liver Dis. 2024 Oct;56(10):1784-1786.	Case report
35	Kawasaki K, Torisu T, Umeno J, et al.	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Endoscopic features of solitary colorectal hamartomatous polyps: Solitary juvenile polyp and Peutz-Jeghers polyp	Endosc Int Open. 2025 Jan 13;13:a24679140.	Original Article
36	Ota K, Nagasue T, Tsurumaru D, et al.	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	Duodenal Duplication Diagnosed by Computed Tomography-Duodenography and Treated by Endoscopy	ACG Case Rep J. 2025 Feb 14;12(2):e01617.	Case report

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
37	Nakano T, Kitamura H, Hata J, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Association between Vascular Calcification and Intraplaque Hemorrhage in Coronary Atherosclerosis from Autopsy: The Hisayama Study	J Atheroscler Thromb. 2024 Aug 1;31(8):1225-1237.	Original Article
38	Nakano T, Kitamura H, Tsuneyoshi S, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Predictors of encapsulated peritoneal sclerosis in patients undergoing peritoneal dialysis using neutral-pH dialysate	Clin Exp Nephrol. 2025 Feb;29(2):212-220.	Original Article
39	Yamada S, Arase H, Taniguchi M, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	A simple score for malnutrition-inflammation complex syndrome (MICS) is associated with the risk of mortality in Japanese patients undergoing maintenance hemodialysis	Ther Apher Dial. 2024 Apr;28(2):206-217.	Original Article
40	Matsukuma Y, Tsuchimoto A, Masutani K, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Association between Hemoglobin A1c and Renal Arteriolar Sclerosis in Subjects Presenting without any Apparent Kidney Dysfunction	J Atheroscler Thromb. 2024 Aug 1;31(8):1215-1224.	Original Article
41	Ueki K, Tsuchimoto A, Matsukuma Y, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Combined evaluation of glomerular phospholipase A2 receptor and immunoglobulin G subclass in membranous nephropathy	Clin Kidney J. 2024 Apr 17;17(6):sfae104.	Original Article
42	Seki M, Nakano T, Tanaka S, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Associations between the Serum Triglyceride Level and Kidney Outcome in Patients with Chronic Kidney Disease: The Fukuoka Kidney disease Registry Study	J Atheroscler Thromb. 2024 Nov 1;31(11):1556-1570.	Original Article
43	Hirashima Y, Nakano T, Torisu K, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	SGLT2 inhibition mitigates transition from acute kidney injury to chronic kidney disease by suppressing ferroptosis	Sci Rep. 2024 Sep 2;14(1):20386.	Original Article
44	Okamura K, Tanaka S, Kitamura H, et al	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Relationships of Weight Change from 20 Years of Age with the Risks of All-Cause and Cardiovascular Mortality in Patients with Chronic Kidney Disease	J Atheroscler Thromb. 2024 Jul 1;31(7):1072-1086.	Original Article
45	Irie F, Matsuo R, Mezuki S, et al.	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Effect of smoking status on clinical outcomes after reperfusion therapy for acute ischemic stroke	Sci Rep. 2024 Apr 23;14(1):9290.	Original Article
46	Ohya Y, Irie F, Nakamura K, et al.	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Association between pulse pressure and risk of acute kidney injury after intracerebral hemorrhage	Hypertens Res. 2025 Mar;48(3):939-949.	Original Article
47	Kiyohara T, Matsuo R, Irie F, et al.	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Functional Outcome Prediction in Japanese Patients with Nonsurgical Intracerebral Hemorrhage: The FSR ICH Score	Cerebrovasc Dis. 2025 Jan 8:1-8.	Original Article
48	Sato N, Kiyuna F, Wakisaka K, et al.	消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科	Clinical Outcomes following Acute Ischaemic Stroke in Patients with Comorbid Cancer	Cerebrovasc Dis. 2025 Mar 19:1-9.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
49	Iwahashi N, Umakoshi H, Fujita M, et al	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Single-cell and spatial transcriptomics analysis of human adrenal aging	Mol Metab. 2024 Jun;84:101954.	Original Article
50	Nakano Y, Yokomoto-Umakoshi M, Nakatani K, et al	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Plasma Steroid Profiling Between Patients With and Without Diabetes Mellitus in Nonfunctioning Adrenal Incidentalomas	J Endocr Soc. 2024 Jul;8(9):bvae140.	Original Article
51	Fukumoto T, Umakoshi H, Iwahashi N, et al	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Steroids-producing nodules: a two-layered adrenocortical nodular structure as a precursor lesion of cortisol-producing adenoma	EBioMedicine. 2024 May;103:105087.	Original Article
52	Kajitani N, Umakoshi H, Kajitani Y, et al	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Relationship between extracellular water to total body water ratio and severe diabetic retinopathy in type 2 diabetes	J Clin Endocrinol Metab. 2024 Nov:dgae768.	Original Article
53	Manaka K, Kato S, Sakamoto R, et al	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Impact of coronavirus disease 2019 on medical practice in endocrine and metabolic diseases in Japan: a nationwide surveillance study conducted by the Japan Endocrine Society	Endocr J. 2024 May 23;71(5):499-514.	Original Article
54	Yokomoto-Umakoshi M, Fujita M, Umakoshi H, et al	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Multimomics analysis unveils the cellular ecosystem with clinical relevance in aldosterone-producing adenomas with KCNJ5 mutations	Proc Natl Acad Sci U S A. 2025 Mar 4;122(9):e2421489122.	Original Article
55	Kurokawa M, Goya T, Kohjima M, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Microcirculatory disturbance in acute liver injury is triggered by IFN γ -CD40 axis	J Inflamm (Lond). 2024 Jun 21;21(1):23.	Original Article
56	Yoshimura R, Tanaka M, Kurokawa M, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Stratifying and predicting progression to acute liver failure during the early phase of acute liver injury	PNAS Nexus. 2025 Feb 6;4(2):pgaf004.	Original Article
57	Fujimori N, Fujita N, Murakami M, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Usefulness of Semiautomated 3D Volumetric Assessment of Liver Tumor Burden for Patients With Unresectable Pancreatic Neuroendocrine Tumor: A Pilot Study	Pancreas. 2025 Feb;54(2):e122-e129.	Original Article
58	Ohno A, Fujimori N, Kaku T, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Feasibility of Endoscopic Ultrasound-Guided Hepaticogastrostomy for Malignant Hilar Biliary Obstruction	Dig Dis Sci. 2025 Jan; 70(1):419-428.	Original Article
59	Ohno A, Fujimori N, Kaku T, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Puncture angle on an endoscopic ultrasound image is independently associated with unsuccessful guidewire manipulation of endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy: a retrospective study in Japan	Clin Endosc. 2024 Sep; 57(5):656-665.	Original Article
60	Matsumoto K, Fujimori N, Ichihara K, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科・肝臓・膵臓・胆道内科	Patient-derived organoids of pancreatic ductal adenocarcinoma for subtype determination and clinical outcome prediction	J Gastroenterol. 2024 Jul; 59(7):629-640.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
61	Murakami M, Fujimori N, Takamatsu Y, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Efficacy and safety of streptozocin-based chemotherapy for gastroenteropancreatic neuroendocrine tumors in Japanese clinical practice	Jpn J Clin Oncol. 2024 Jun; 54(6):647-657.	Original Article
62	Ikeda H, Ihara E, Takeya K, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	The interplay between alterations in esophageal microbiota associated with Th17 immune response and impaired LC20 phosphorylation in achalasia	J Gastroenterol. 2024 May;59(5):361-375.	Original Article
63	Wada M, Minoda Y, Ihara E, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Development of a new endoscopy system to visualize bilirubin for the diagnosis of duodenogastroesophageal reflux	Dig Endosc. 2024 Aug;36(8):904-914.	Original Article
64	Murakami M, Fujimori N, Suenaga A, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Peroral pancreatoscopy-guided lithotripsy via an endoscopic ultrasonography-guided pancreatogastrostomy	Endoscopy. 2024 Dec;56(S 01):E990-E991.	Case report
65	Gerodias AR, Ohno A, Komori Y, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Pancreatic duct occlusion after endoscopic ultrasound-guided transmural pancreatic duct drainage: a pitfall and its rescue technique	Endoscopy. 2024 Dec;56(S 01):E544-E545.	Case report
66	Suenaga A, Ohno A, Fujimori N.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Very rare case of pancreatic stent migration into the biliary stent	Dig Endosc. 2024 Sep;36(9):1054-1055.	Case report
67	Fujimori N, Ohno A, Ueda K.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Rescue technique for basket impaction with a plastic stent, a rare complication of biliary inside stenting	Dig Endosc. 2024 Jun;36(6):738-739.	Case report
68	Teramatsu K, Fujimori N, Murakami M, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Pathological complete response with FOLFIRINOX therapy for recurrence of pancreatic acinar cell carcinoma	Clin J Gastroenterol. 2024 Aug; 17(4):776-781.	Case report
69	Murakami M, Hirahata K, Fujimori N, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科	Two cases of pancreatic neuroendocrine tumors with ectopic ACTH syndrome during their disease course	Clin J Gastroenterol. 2024 Apr;17(2):363-370.	Case report
70	Izuno S, Hosoi M, Anno K, et al.	心療内科	Association of high complement and low immunoglobulins with the clinical symptoms of patients with fibromyalgia	Biopsychosoc Med, 2025 Jan, 19(1):1.	Original Article
71	Adachi Y, Hosoi M, Nishihara T, et al.	心療内科	Case Report: Nonverbal approaches in the treatment of a patient with fibromyalgia with anger rooted in adverse childhood experiences	Front Pain Res (Lausanne), 2024 May, 5:1374324.	Case report
72	Shibata M, Hosoi M, Anno K, et al.	心療内科	The prevalence of chronic pain and its impact on activities of daily living disability and depressive symptoms according to multiple definitions in a Japanese population: the Hisayama study	Pain Rep, 2025 Feb, 10(2): e1250.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
73	Watanabe M, Isobe N, Niino M,et al.	脳神経内科	Prevalence of, and Disability Due to, Multiple Sclerosis and Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder in Japan by the Fifth Nationwide Survey	Neurology. 2024 Nov 26;103(10):e209992.	Original Article
74	Tanaka E, Yamasaki R, Saitoh B, et al.	脳神経内科	Postnatal Allergic Inhalation Induces Glial Inflammation in the Olfactory Bulb and Leads to Autism-Like Traits in Mice	Int J Mol Sci: 2024 Sep 28;25(19):10464	Original Article
75	Takase EO, Yamasaki R, Nagata S, et al.	脳神経内科	Astroglial connexin 43 is a novel therapeutic target for chronic multiple sclerosis model	Sci Rep:2024 May 13;14(1):10877	Original Article
76	Ko S, Yamasaki R, Okui T, et al.	脳神経内科	A nationwide survey of facial onset sensory and motor neuronopathy in Japan	J Neurol Sci;2024 Apr 15;459:122957	Original Article
77	Hayashida H, Masaki K, Ogata H, et al.	脳神経内科	Focal 18F-fluorodeoxyglucose uptake in spinal dural arteriovenous fistula: A report of two cases	Neurol Clin Neurosci:2024 May;12:201-204	Case report
78	Watanabe M, Masaki K, Tanaka E, et al.	脳神経内科	The Efficacy of Eculizumab in the Acute Phase of Neuromyelitis Optica Spectrum Disorder: A Case Series Study	Cureus:2024 Nov 7;16(11):e73205.	Case report
79	Iwao K, Masaki K, Tanaka E, et al.	脳神経内科	Three-dimensional magnetic resonance imaging of Baló-like concentric lesion in multiple sclerosis	Neurol Clin Neurosci:2025 Jan;13:88-89	Case report
80	Nagata S,Yamasaki R	脳神経内科	The Involvement of Glial Cells in Blood-Brain Barrier Damage in Neuroimmune Diseases	Int J Mol Sci; 2024 Nov 17;25(22):12323	Review
81	Yagita K, Honda H, Ohara T, et al.	脳神経内科	Association between hypothalamic Alzheimer’s disease pathology and body mass index: The Hisayama study	Neuropathology 2024 Oct; 44(5):388-400.	Original Article
82	Hashimoto T, Ikuta K, Yamamoto S, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Right Ventricular to Pulmonary Artery Uncoupling Is Associated With Impaired Exercise Capacity in Patients With Transthyretin Cardiac Amyloidosis	Circ J2024 Dec 25;89(1):31-40	Original Article
83	Hashimoto T, Yoshitake T, Suenaga T, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Effectiveness of Vericiguat on right ventricle to pulmonary artery uncoupling associated with heart failure with reduced ejection fraction	Int J Cardiol2024 Nov 15;415:132441	Original Article
84	Ishikita A, Karur G. R, Hanneman K, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Myocardial Extracellular Volume Fraction Varies With Hemodynamic Load and After Pulmonary Valve Replacement in TOF	JACC Cardiovasc Imaging2024 Jul;17(7):830-832	Original Article
					小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
85	Izumi R, Hashimoto T, Kisanuki H, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Clinical and pathological characteristics of immune checkpoint inhibitor-related fulminant myocarditis	Cardiooncology2024 Nov 21;10(1):82	Case report
86	Kimura M, Matoba T, Nakano Y, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Impact of the Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Pandemic on the Severity and the Mortality of Acute Myocardial Infarction in Japan – Analysis From the JROAD-DPC Database	Circ Rep2024 May 9;6(6):191-200	Original Article
87	Nakashima H, Shinohara K, Matsumoto S, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Establishment of a HFpEF model using female Dahl salt-sensitive rats: a valuable tool for elucidating the pathophysiology of HFpEF in women	Hypertens Res2025 Feb;48(2):672-680	Original Article
88	Nakashima R, Ikeda S, Shinohara K, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Triglyceride/high density lipoprotein cholesterol index and future cardiovascular events in diabetic patients without known cardiovascular disease	Sci Rep2025 Mar 17;15(1):9217	Original Article
89	Nishizaki A, Ishikita A, Kakino T, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Perforation of the chest wall from bioprosthetic pulmonary valve endocarditis	J Echocardiogr2025 Mar;23(1):53-54	Case report
90	Noda E, Matsushima S, Hashimoto T, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Prognostic impact of moderate to severe anemia associated with renal dysfunction in patients with heart failure	Sci Rep2025 Jan 31;15(1):3918	Original Article
91	Sakamoto I, Yamamura K, Ishikita A, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Oxygen inhalation decreases the central venous pressure in adult patients late after Fontan operations	J Cardiol2024 Sep;84(3):195-200	Original Article
92	Shinohara K.	循環器内科、冠動脈疾患治療部	The brain and hypertension: how the brain regulates and suffers from blood pressure	Hypertens Res2025 Feb;48(2):862-866	Review
93	Shinohara K.	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Renal denervation: a key approach to hypertension and cardiovascular disease	Hypertens Res2024 Oct;47(10):2671-2677	Review
94	Shinohara K.	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Beneficial effects of renal denervation on heart, kidneys, and adipose tissue beyond antihypertensive effect: is it independent of systemic sympathetic activity?	Hypertens Res2024 Oct;47(10):2776-2777	Review
95	Shinohara K.	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Renal denervation for hypertensive heart disease and atrial fibrillation	Hypertens Res2024 Oct;47(10):2665-2670	Review
96	Shinohara K.	循環器内科、冠動脈疾患治療部	The coming era of neuromodulation therapies: expectations for baroreceptor stimulation	Hypertens Res2024 Sep;47(9):2604-2606	Review

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
97	Shinohara K.	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Renal denervation in patients with chronic kidney disease: an approach using CO2 angiography	Hypertens Res2024 May;47(5):1431-1433	Review
98	Suenaga T, Fujino T, Hashimoto T, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Hemoglobin Level Can Predict Heart Failure Hospitalization in Patients with Advanced Heart Failure Awaiting Heart Transplantation without Inotropes or Mechanical Circulatory Support	Int Heart J July 31, 2024;65(4):667-675	Original Article
99	Yoshida D, Ikeda S, Shinohara K, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Triglyceride-Glucose Index Associated with Future Renal Function Decline in the General Population	J Gen Intern Med2024 Dec;39(16):3225-3233	Original Article
100	Yoshida K, van Wezenbeek. J, Wessels J. N, et al	循環器内科、冠動脈疾患治療部	Tricuspid regurgitation in pulmonary arterial hypertension: a right ventricular volumetric and functional analysis	Eur Respir J2024 Jun 20;63(6):2301696	Original Article
101	Tanaka K, Sugisaka J, Shiraishi Y他	呼吸器内科	Serum VEGF-A as a biomarker for the addition of bevacizumab to chemo-immunotherapy in metastatic NSCLC	Nat Commun. 2025 Mar 22;16(1):2825.	Original Article
102	Shiraishi Y, Nomura S, Sugawara S他	呼吸器内科	Comparison of platinum combination chemotherapy plus pembrolizumab versus platinum combination chemotherapy plus nivolumab-ipilimumab for treatment-naïve advanced non-small-cell lung cancer in Japan (JCOG2007): an open-label, multicentre, randomised, phase 3 trial	Lancet Respir Med. 2024 Nov;12(11):877-887.	Original Article
103	Shibahara D, Tanaka K, Togao O 他	呼吸器内科	Bevacizumab for Brain Radiation Necrosis in Patients With Nonsquamous Nonsmall Cell Lung Cancer	Clin Lung Cancer. 2024 Sep;25(6):581-586.e3.	Original Article
104	Yamamoto Y, Shibahara D, Mori T他	呼吸器内科	Tracheomediastinal fistula induced by concurrent chemoradiotherapy in small cell lung cancer: A case report and literature review	Thorac Cancer. 2024 May;15(13):1106-1111.	Case report
105	Ando H, Tsubouchi K, Yanagihara T, et al.	呼吸器内科	Involvement of naïve T cells in the pathogenesis of osimertinib-induced pneumonitis	Sci Rep. 2025 Mar 27;15(1):10545.	Original Article
106	Yanagihara T, Hata K, Matsubara K, et al.	呼吸器内科	Immunophenotyping of T Cells in Lung Malignancies and Cryptogenic Organizing Pneumonia	J Clin Med. 2025 Jan 7;14(2):316.	Original Article
107	Takano T, Tsubouchi K, Hamada N, et al.	呼吸器内科	Update of prognosis and characteristics of chronic obstructive pulmonary disease in a real-world setting: a 5-year follow-up analysis of a multi-institutional registry	BMC Pulm Med. 2024 Nov 6;24(1):556.	Original Article
108	Nakahara S, Ishii Y, Egashira R, et al.	呼吸器内科	Lemborexant-induced interstitial lung disease: A case report	Respirol Case Rep. 2024 Apr 25;12(5):e01334.	Case report

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
109	Yanagihara T, Hata K, Matsubara K, et al.	呼吸器内科	Exploratory mass cytometry analysis reveals immunophenotypes of cancer treatment-related pneumonitis	Elife. 2024 Apr 12;12:RP87288.	Original Article
110	Nakamura S, Takano T, Nakatsuru K, et al.	呼吸器内科	Interstitial Pneumonia Associated with Nodal T-follicular Helper Cell Lymphoma	Intern Med. 2024 Dec 1;63(23):3227-3231.	Case report
111	Ogo N, Ikegame S, Hotta T, et al.	呼吸器内科	The Utility and Limitations of Universal Polymerase Chain Reaction Screening for SARS-CoV-2 During Hospital Admission	Cureus. 2024 May 31;16(5):e61470.	Original Article
112	Kan-o K.	呼吸器内科	Asthma-related death trends and biologics use for severe asthma in the super-aged society of Japan	Respirology. 2024 Jun;29(6):455-457.	Letter
113	Inoue S, Nagao J, Kawamoto K, et al.	呼吸器内科	Overstretching alveolar epithelial type II cells decreases surfactant secretion via actin polymerization and intracellular trafficking alteration	Heliyon. 2024 Jun 22;10(13):e33499.	Original Article
114	Kawatoko K, Washio Y, Ohara T, et al.	呼吸器内科	Risks of Dementia in a General Japanese Older Population With Preserved Ratio Impaired Spirometry: The Hisayama Study	J Epidemiol. 2024 Jul 5;34(7):331-339.	Original Article
115	Ogata H, Nakano H, Yanagihara T, et al.	呼吸器内科	Preserved ratio impaired spirometry and severity of obstructive sleep apnea: An observational cross-sectional study	Respir Med. 2024 Nov-Dec;234:107806.	Original Article
116	Tomoaki Takao, Ako Matsui, Chie Kikutake, et al.	呼吸器内科	Maternal asthma imprints fetal lung ILC2s via glucocorticoid signaling leading to worsened allergic airway inflammation in murine adult offspring	Nat Commun. 2025 Jan 13;16(1):631.	Original Article
117	Ishii Y, Shiota A, Takao T, et al.	呼吸器内科	Claudin-3 deficiency inhibits allergic responses in an ovalbumin-induced asthma mouse model	Allergol Int. 2025 Jan 13;S1323-8930(24)00158-8.	Letter
118	Inoue S, Ogata H, Dotake Y, et al.	呼吸器内科	Tezepelumab achieves improvement of severe uncontrolled asthma and rhinosinusitis: Case series	J Allergy Clin Immunol Glob. 2025 Mar 8;4(2):100448.	Case report
119	Kawamura K, Matsumura Y, Kawamura T ,et al	産科婦人科	Endometrial senescence is mediated by interleukin 17 receptor B signaling	Cell Commun Signal. 2024 Jul 15;22(1):363.	Original Article
120	Fukuhara R, Yokoyama Y, Kakogawa J,et al	産科婦人科	Sexual reproductive health and rights awareness among members of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Sep;50(9):1697-1702.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
121	Kuramoto K, Hamada N, Kawamura K,et al	産科婦人科	Endometrial pattern predicts pregnancy outcome in single-blastocyst frozen-embryo transfer: An analysis of 1383 cycles	Reprod Med Biol. 2024 Sep 9;23(1):e12599.	Original Article
122	Kikuchi K, Michikawa T, Morokuma S,et al	産科婦人科	Infants’ early recovery from sleep disturbance is associated with a lower risk of developmental delay in the Japan Environment and Children’s Study	Sci Rep. 2024 Aug 1;14(1):17773.	Original Article
123	Kinjo Y, Shibata E, Askew DJ,et al	産科婦人科	Association of placental weight at birth with maternal whole blood concentration of heavy metals (cadmium, lead, mercury, selenium, and manganese): The Japan Environment and Children’s Study (JECS)	Environ Int. 2024 Jun;188:108725.	Original Article
124	Ando H, Katoh Y, Kobayashi O, et al	産科婦人科	Low CD86 expression is a predictive biomarker for clinical response to the therapeutic human papillomavirus vaccine IGMKK16E7: results of a post hoc analysis	JNCI Cancer Spectr. 2024 Nov 1;8(6):pkae091.	Original Article
125	Kenzo Sonoda, et al	産科婦人科	First-Line Lenvatinib Plus Pembrolizumab Versus Chemotherapy for Advanced Endometrial Cancer: A Randomized, Open-Label, Phase III Trial	J Clin Oncol. 2025 Mar 20;43(9):1083-1100.	Original Article
126	Yoshiizumi E, Onuki M, Kukimoto I, et al	産科婦人科	Declining Prevalence of Human Papillomavirus Co-Infections Among Young Japanese Women With Cervical Cancer and Its Precursors	J Med Virol. 2024 Dec;96(12):e70096.	Original Article
127	Okazawa-Sakai Mika, Sakai A.S, Hyodo I,et al	産科婦人科	Gut microbiome associated with PARP inhibitor efficacy in patients with ovarian cancer	J Gynecol Oncol. 2024 Oct 21.	Original Article
128	Asanoma K, Yahata H, Kodama K,et al	産科婦人科	Sentinel Lymph Node Detection Using SPECT and Gamma Probe in Low-Risk Endometrial Cancer: Efficacy and Factors Associated With Detection Failure	Asian J Endosc Surg. 18: 1-12, 2025.01	Original Article
129	Okadome M, Sonoda K, Nagayama R, et al	産科婦人科	Treatment for low-grade and high-grade endometrial carcinoma after recurrence/relapse before the molecular targeted therapy era: A retrospective, propensity score-matched cohort study	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Jan;51(1):e16197.	Original Article
130	Nishio S, Ushijima K, Ishikawa M, et al	産科婦人科	Diagnostic accuracy and prognostic factors of uterine serous carcinoma in Japanese women: a multi-center study	J Gynecol Oncol. 2025 Mar 11.	Original Article
131	Higashi K, Sonoda Y, Kaku N, et al.	小児科	Rapid and long-lasting efficacy of high-dose ambroxol therapy for neuronopathic Gaucher disease: A case report and literature review	Mol Genet Genomic Med. 2024 Apr;12(4):e2427.(オンライン)	Review
132	Yoshizato R, Miura M, Shitaoka K, et al	小児科	Comprehensive method for producing high-affinity mouse monoclonal antibodies of various isotypes against (4-hydroxy-3-nitrophenyl)acetyl (NP) hapten	Heliyon. 2024 Nov 29;10(23):e40837.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
133	Sonoda M, Kinoshita K, Harada N, et al.	小児科	Monocyte STAT1 phosphorylation and treatment response of JAK inhibitors in chronic nonbacterial osteomyelitis	Pediatr Rheumatol Online J. 2025 Jan 23;23(1):6. (オンライン)	Original Article
134	Miyauchi Y, Egami N, Inoue H, et al.	小児科	Onset and Outcome of Ocular Lesions in Neonatal Severe Protein C Deficiency: Case Report and Literature Review	Pediatr Blood Cancer. 2025 Mar;72(3):e31518. (オンライン)	Review
135	Nakashima K, Imai T, Shiraishi A, et al.	小児科	The immunoreactive signature of monocyte-derived dendritic cells from patients with Down syndrome	Clin Exp Immunol. 2024 Aug 9;217(3):291-299.	Original Article
136	Ishimura M, Eguchi K, Sonoda M, et al.	小児科	Early hematopoietic cell transplantation for familial hemophagocytic lymphohistiocytosis in a regional treatment network in Japan	Int J Hematol. 2024 May;119(5):592-602.	Original Article
137	Matsuoka R, Kitajima K, Nii T, et al.	小児科	Hyperglycaemia induces diet-dependent defects of the left-right axis by lowering intracellular pH	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis. 2025 Jan;1871(1):167550.	Original Article
138	Park S, Sonoda M, Eguchi K, et al.	小児科	Epstein-Barr virus monitoring for preemptive re-hematopoietic cell transplantation in CD3 δ -deficient siblings	Pediatr Blood Cancer. 2024 Aug;71(8):e31119. (オンライン)	Case report
139	Terashi E, Suzuki T, Yoshida Y. et al.	小児科	Catheter Ablation of Tachycardia Involving Twin/Single Atrioventricular Node in Patients With Right Isomerism	Pacing Clin Electrophysiol. 2024 Dec;47(12):1660-1669.	Original Article
140	Imai T, Lin J, Kaya GG,	小児科	The RIPK1 death domain restrains ZBP1- and TRIF-mediated cell death and inflammation	Immunity. 2024 Jul;57(7):1497-1513.e6.	Original Article
141	Naoki Ikenaga, Kohei Nakata, Toshiya Abe et al	第一外科	Clinical efficacy of pancreas-preserving distal pancreatectomy for the treatment of pancreatic ductal adenocarcinoma	Surgery. 2025 Feb;178:108958.	Original Article
142	Jinghui Zhang, Yusuke Mizuuchi, Kenoki Ohuchida et al	第一外科	Exploring the tumor microenvironment of colorectal cancer patients post renal transplantation by single-cell analysis	Cancer Sci. 2025 Feb;116(2):500-512.	Original Article
143	Takaaki Fujimoto, Koji Tamura, Kinuko Nagayoshi et al	第一外科	Osteosarcopenia: the coexistence of sarcopenia and osteopenia is predictive of prognosis and postoperative complications after curative resection for colorectal cancer	Surg Today. 2025 Jan;55(1):78-89.	Original Article
144	Naoki Katayama, Kenoki Ohuchida, Kiwa Son et al	第一外科	Tumor infiltration of inactive CD8 + T cells was associated with poor prognosis in Gastric Cancer	Gastric Cancer. 2025 Mar;28(2):211-227.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
145	Hiroshi Noguchi, Kyoko Miyamoto, Yuta Matsukuma et al	第一外科	A Single-Center Retrospective Study of Re-Transplantation After Allograft Failure in Kidney Transplant Recipients	Transplant Proc. 2024 Apr;56(3):488-493.	Original Article
146	PingShan Zhong, Kohei Nakata, Koki Oyama et al	第一外科	Blockade of histamine receptor H1 augments immune checkpoint therapy by enhancing MHC-I expression in pancreatic cancer cells	J Exp Clin Cancer Res. 2024 May 8;43(1):138.	Original Article
147	Koji Tamura, Takaaki Fujimoto, Toru Shimizu et al	第一外科	Clinical features, surgical treatment strategy, and feasibility of minimally invasive surgery for synchronous and metachronous multiple colorectal cancers: A 14-year single-center experience	Surg Endosc. 2024 Dec;38(12):7139-7151.	Original Article
148	Koki Oyama, Kohei Nakata, Chikanori Tsutsumi et al	第一外科	Combined Autophagy Inhibition and Dendritic Cell Recruitment Induces Antitumor Immunity and Enhances Immune Checkpoint Blockade Sensitivity in Pancreatic Cancer	Cancer Res. 2024 Dec 16;84(24):4214-4232.	Original Article
149	Bo Zhang, Kenoki Ohuchida, Chikanori Tsutsumi et al	第一外科	Dynamic glycolytic reprogramming effects on dendritic cells in pancreatic ductal adenocarcinoma	J Exp Clin Cancer Res. 2024 Sep 30;43(1):271.	Original Article
150	Kyoko Hisano, Yusuke Mizuuchi, Kenoki Ohuchida et al	第一外科	Microenvironmental changes in familial adenomatous polyposis during colorectal cancer carcinogenesis	Cancer Lett. 2024 May 1;589:216822.	Original Article
151	Yu Sato, Hiroshi Noguchi, Shinsuke Kubo et al	第一外科	Modulation of allograft immune responses by Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide administration in a rat model of kidney transplantation	Sci Rep. 2024 Jun 17;14(1):13969.	Original Article
152	Hiroshi Noguchi, Kodai Shingaki, Yu Sato et al	第一外科	Outcomes and Cost Comparison of 3 Different Laparoscopic Approach for Living Donor Nephrectomy: A Retrospective, Single-Center, Inverse Probability of Treatment Weighting Analysis of 551 Cases	Transplant Proc. 2024 Apr;56(3):482-487.	Original Article
153	Hiroshi Noguchi, Yuta Matsukuma, Kenji Ueki et al	第一外科	Persistent Chronic Active T-Cell-Mediated Rejection After Kidney Transplantation Is Associated With Poor Allograft Survival	Clin Transplant. 2024 Nov;38(11):e70011.	Original Article
154	Kohei Nakata, Takao Ohtsuka, Yuichi Nagakawa et al	第一外科	Practice guidelines on endoscopic surgery for qualified surgeons by the Endoscopic Surgical Skill Qualification System: Pancreas	Asian J Endosc Surg. 2024 Oct;17(4):e13370.	Letter
155	Masafumi Nakamura, Masahiko Watanabe	第一外科	Practice guidelines on endoscopic surgery for qualified surgeons by the endoscopic surgical skill qualification system: Introduction	Asian J Endosc Surg. 2024 Jul;17(3):e13339.	Letter
156	Yu Hisadome, Daniel L. Eisenson, Michelle R. Santillan et al	第一外科	Pretransplant Screening for Prevention of Hyperacute Graft Loss in Pig-to-primate Kidney Xenotransplantation	Transplantation. 2024 Aug 1;108(8):1749-1759.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
157	Takaaki Fujimoto, Shigetaka Inoue, Taketo Matsunaga et al	第一外科	Renal Failure Without Hemodialysis Is a Risk Factor for Postoperative Complications in Colorectal Cancer Surgery	Cancer Diagn Progn. 2024 May 3;4(3):295–300.	Original Article
158	Takafumi Morisaki, Makoto Kubo, Shinji Morisak et al	第一外科	Retrospective Analysis of HLA Class II-Restricted Neoantigen Peptide-Pulsed Dendritic Cell Vaccine for Breast Cancer	Cancers (Basel). 2024 Dec 17;16(24):4204.	Original Article
159	Fumika Goto, Yu Sato, Hiroshi Noguchi et al	第一外科	Safety and graft outcome of right retroperitoneal laparoscopic donor nephrectomy for living donor kidney transplantation: A comparison with left retroperitoneal laparoscopic donor nephrectomy	Asian J Endosc Surg. 2024 Jul;17(3):e13355.	Original Article
160	Takaaki Fujimoto, Koji Tamura, Kinuko Nagayoshi et al	第一外科	Simple pelvimetry predicts the pelvic manipulation time in robot-assisted low and ultra-low anterior resection for rectal cancer	Surg Today. 2024 Oct;54(10):1184–1192.	Original Article
161	Nan Sheng, Koji Shindo, Kenoki Ohuchida et al	第一外科	TAK1 Promotes an Immunosuppressive Tumor Microenvironment through Cancer-Associated Fibroblast Phenotypic Conversion in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Clin Cancer Res. 2024 Nov 15;30(22):5138–5153.	Original Article
162	Chikanori Tsutsumi, Kenoki Ohuchida, Hirono Tsutsum et al	第一外科	TIM3 on natural killer cells regulates antibody-dependent cellular cytotoxicity in HER2-positive gastric cancer	Cancer Lett. 2024 Dec 24;611:217412.	Original Article
163	Haizhen Luo, Naoki Ikenaga, Kohei Nakata et al	第一外科	Tumor-associated neutrophils upregulate Nectin2 expression, creating the immunosuppressive microenvironment in pancreatic ductal adenocarcinoma	J Exp Clin Cancer Res. 2024 Sep 11;43(1):258.	Original Article
164	Koji Tamura, Motoi Uchino, Shinsuke Nomura et al	第一外科	Updated evidence of the effectiveness and safety of transanal drainage tube for the prevention of anastomotic leakage after rectal low anterior resection: a systematic review and meta-analysis	Tech Coloproctol. 2024 Jun 25;28(1):71.	Original Article
165	Takahito Matsuyoshi, Naoki Ikenaga, Kohei Nakata et al	第一外科	A case of preoperative embolization for a giant hypervascular pancreatic serous cystic neoplasm in pancreaticoduodenectomy	Surg Case Rep. 2024 Sep 6;10(1):208.	Case report
166	Koji Tamura, Takaaki Fujimoto, Kinuko Nagayoshi et al	第一外科	Fluorescence navigation surgery for sigmoid colon diverticulitis with adjacent organ fistula: ureteral navigation using a fluorescent ureteral catheter and blood flow evaluation by indocyanine green – a video vignette	Colorectal Dis. 2024 May;26(5):1072–1074.	Case report
167	Yoshiyuki Nakanishi, Takaki Akamine, Fumihiko Kinoshita et al	第一外科	Resected intramuscular hemangioma in the chest wall: a case report	Surg Case Rep;2024Sep;10(1):225	Case report
168	Sanshiro Hatai, Shuntaro Nagai, Taiki Yoshida et al	第一外科	Transvaginal resection of a gastrointestinal stromal tumor of the rectum: a case report	Surg Case Rep. 2024 Jun 18;10(1):150.	Case report

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
169	Ninomiya M,Ito S,Takeishi K,et al.	第二外科	Proposal of "borderline resectable" colorectal liver metastases based on analysis of risk factors for early surgical failure	Surg Today. 2025 Mar;55(3):425-433.	Original Article
170	Toshima T,Harada N,Ito S,et al.	第二外科	What Are Risk Factors for Graft Loss in Patients Who Underwent Simultaneous Splenectomy During Living-donor Liver Transplantation?	Transplantation. 2024 Jul 1;108(7):1593-1604.	Original Article
171	Yoshiya S,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Is preoperative weight reduction of living-donor liver transplant recipients and donors harmful to postoperative outcomes?	J Gastrointest Surg. 2024 Jul;28(7):1033- 1038	Original Article
172	Bekki Y,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Validation of Japanese indication criteria for deceased donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma: Analysis of US national registry data	Hepatol Res. 2024 Jul;54(7):695-705.	Original Article
173	Tomino T,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Venous reconstruction using a round ligament-covered prosthetic vascular graft in right-lobe living-donor liver transplantation: a technical report	Surg Today. 2024 Jul;54(7):795-800.	Original Article
174	Izumi T,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Novel protocol for prevention from hepatitis B reactivation following living-donor liver transplantation	Hepatol Res. 2024 Sep 14.	Original Article
175	Tsutsui Y,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Impact of electrical muscle stimulation on serum myostatin level and maintenance of skeletal muscle mass in patients undergoing living-donor liver transplantation: Single-center controlled trial	Hepatol Res. 2024 Sep;54(9):827-837.	Original Article
176	Toshida K,Ytoh S,Iseida N,et al.	第二外科	Impact of ACSL4 on the prognosis of hepatocellular carcinoma: Association with cancer-associated fibroblasts and the tumour immune microenvironment	Liver Int. 2024 Apr;44(4):1011-1023.	Original Article
177	Toshida K,Ytoh S,Iseida N,et al.	第二外科	The Association of Transferrin Receptor with Prognosis and Biologic Role in Intrahepatic Cholangiocarcinoma	Ann Surg Oncol. 2024 Dec;31(13):8627-8637.	Original Article
178	Toshida K,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Association of serum lactate dehydrogenase with prognosis and tumor metabolism in patients with hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab therapy	Surg Today. 2025 Mar;55(3):370-379.	Original Article
179	Ishikawa T,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Robot-assisted laparoscopic hepatectomy for hepatocellular carcinoma with Fontan-associated liver disease: a world-first case report	Surg Case Rep. 2024 Sep 9;10(1):210.	Case report
180	Iwasaki H,Toshima T,Ito S,et al.	第二外科	Robot-assisted laparoscopic hepatectomy for liver metastasis from clitoral malignant melanoma: a case report	Surg Case Rep. 2024 Nov 11;10(1):258.	Case report

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
181	Kudou K, Aoyama R,Ishihara K,et al.	第二外科	Validity of laparoscopic surgery for lower gastrointestinal perforations	Asian J Endosc Surg. 2024 Oct;17(4):e13373.	Original Article
182	Hu Q,Kudo K,Yukawa T,et al.	第二外科	Clinical Impact of Skeletal Muscle Mass and Nutritional Status in Patients with Recurrent or Advanced Gastric Cancer Treated with Nivolumab	Oncology. 2024 Sep 12:1-9	Original Article
183	Kawazoe T,Toyota S,Nakanishi R,et al.	第二外科	Impact of surgical proximal and distal margins on the recurrence of resectable colon cancer: a single-center observational cohort study	Surg Today. 2024 Oct;54(10):1248-1254.	Original Article
184	Tanaka Y,Kawazoe T,Tajiri H,et al.	第二外科	The clinical significance of signal regulatory protein alpha expression in the immune environment of gastric cancer	Int J Clin Oncol. 2025 Feb;30(2):330-339.	Original Article
185	Tanaka Y,Nakanishi R,Sato S,et al.	第二外科	RAS mutant transverse colon cancer with multiple liver metastases achieving long-term disease-free survival with postoperative maintenance therapy with aflibercept + FOLFIRI and four repeated radical resections: a case report	Surg Case Rep. 2024 Oct 8;10(1):231.	Case report
186	Sato S,Kawazoe T,tanaka Y,et al.	第二外科	Duodenal Brunner's gland hamartoma resected using laparoscopic and endoscopic cooperative surgery: A case report	Int J Surg Case Rep. 2024 Dec:125:110617.	Case report
187	Kawaguchi K,Ijichi H,Ueo H,et al.	第二外科	Breast mucoepidermoid carcinoma with a rare CRTC3-MAML2 fusion	Int Cancer Conf J. 2024 Aug 12;13(4):481-487.	Original Article
188	Omori S,Ijichi H,Wakasugi A,et al.	第二外科	Association Between Preoperative Osteopenia and Prognosis in Breast Cancer Patients	Anticancer Res. 2024 Jun;44(6):2671-2679.	Original Article
189	Takamori S,Osoegawa A,Hashinokuchi A,et al.	第二外科	Role of Pathologic Single-Nodal and Multiple-Nodal Descriptors in Resected Non-Small Cell Lung Cancer	Chest. 2024 Nov;166(5):1218-1228.	Original Article
190	Takamori S,Takenaka T,Shimokawa M,et al,	第二外科	Maximum resistance pressure at the time of lung tissue rupture after porcine lung transection using automatic linear staplers with different reinforcement methods	Surg Today. 2024 Dec;54(12):1514-1519.	Original Article
191	Akamine T,Takenaka T,Yano T,et al,	第二外科	Impact of timing and initial recurrence site on post-recurrence survival in resected non-small cell lung cancer	Eur J Surg Oncol. 2024 Sep;50(9):108374.	Original Article
192	Nagano T,Takada K,Narutomi F,et al.	第二外科	Clinical Significance of SIRP α Expression on Tumor-Associated Macrophages in Patients with Lung Squamous Cell Carcinoma	Ann Surg Oncol. 2024 Sep;31(9):6309-6319.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
193	Matsudo K,Takamori S,Takenaka T,et al.	第二外科	Assessment of the Therapeutic Potential of Enhancer of Zeste Homolog 2 Inhibition in a Murine Model of Bronchiolitis Obliterans Syndrome	Transpl Int. 2024 Oct 25;37:13227.	Original Article
194	Matsudo K,Takada K,Kinoshita F,et al.	第二外科	CD155 Expression in Early-Stage Lung Adenocarcinoma	Ann Thorac Surg. 2024 Dec;118(6):1197-1205.	Original Article
195	Hashinokuchi A,matsubara T,Ono Y,et al.	第二外科	Clinical and Prognostic Significance of Glutathione Peroxidase 2 in Lung Adenocarcinoma	Ann Surg Oncol. 2024 Jul;31(7):4822-4829.	Original Article
196	Hashinokuchi A,Takamori S,Yamaguchi M,et al.	第二外科	Prognostic Impact of Primary Tumor Size in Thymic Epithelial Tumor: An NCDB-Based Study	Ann Surg Oncol. 2025 Mar;32(3):1662-1669.	Original Article
197	Hashinokuchi A,Takamori S,Junjia Z,et al.	第二外科	Prognostic significance of preoperative creatine kinase in resected thymic epithelial tumors	J Thorac Dis. 2024 Jul 30;16(7):4186-4194	Original Article
198	Hashinokuchi A,Akamine T,Toyokawa G,et al.	第二外科	Impact of the distance of spread through air spaces in non-small cell lung cancer	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2024 Dec 25;40(1):ivae181.	Original Article
199	Nakamura Sakamine T,Ikegame S,et al.	第二外科	Resected Pulmonary Achromobacter xylosoxidans Mimicking Aspergillosis Fungus Ball	Ann Thorac Surg Short Reports 2024 Sep 25;1-4	Case report
200	Morisaki K,Matsuda D,Guntani A,et al.	第二外科	Validation of JCLIMB, SPINACH, and VQI Calculators for Prediction of Two Year Survival in Patients With Chronic Limb Threatening Ischaemia After Infra-Inguinal Surgical or Endovascular Revascularisation	Eur J Vasc Endovasc Surg. 2024 May;67(5):777-783.	Original Article
201	Morisaki K,Matsuda D,Guntani A,et al.	第二外科	Infra-inguinal bypass surgery vs endovascular revascularization for chronic limb-threatening ischemia in average- and high-risk patients	J Vasc Surg. 2024 Jul;80(1):204-212.e3.	Original Article
202	Morisaki K,Matsuda D,Guntani A,et al.	第二外科	Influence of inframalleolar modifier P0/P1 on wound healing in bypass surgery vs endovascular therapy in patients with chronic limb-threatening ischemia	J Vasc Surg. 2024 Sep;80(3):792-799.e1.	Original Article
203	Morisaki K,Matsuda D,Guntani A,et al.	第二外科	Treatment Outcomes in Octogenarians with Chronic Limb-Threatening Ischemia after Infrainguinal Bypass Surgery or Endovascular Therapy.	Ann Vasc Surg. 2024 Sep;106:312-320.	Original Article
204	Inoue K,Kinoshita G,Yoshino S,et al.	第二外科	The Modified Albumin-Bilirubin (ALBI) Grade Reflect the Fate of Limb Prognosis in Patients with Chronic Limb-Threatening Ischemia	Ann Vasc Surg. 2024 Nov;108:171-178.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
205	Yoshino S,Morisaki L,Aoyama T,et al.	第二外科	Spontaneous Inferior Mesenteric Artery Occlusion after Endovascular Aneurysm Repair for Abdominal Aortic Aneurysm and its Impact on Clinical Outcomes	Eur J Vasc Endovasc Surg. 2025 Feb;69(2):250-258.	Original Article
206	Kawaguchi K, Kuwakado S, Otsuka H, et al	整形外科	Comparison Between Total Hip and Knee Arthroplasty on Short-Term Performance-Based Outcomes and Factors Associated with the Improvement of Gait Function During Post-Acute Inpatient Rehabilitation	J Clin Med. 2024 Oct 24;13(21):6381.	Original Article
207	Kitamura K, Fujii M, Motomura G, et al	整形外科	A Computer Modeling-Based Target Zone for Transposition Osteotomy of the Acetabulum in Patients with Hip Dysplasia	J Bone Joint Surg Am. 2024 Dec 18;106(24):2347-2355.	Original Article
208	Shiraishi S, Fujiwara T, Nabeshima A, et al	整形外科	Geriatric nutritional risk index as a predictor for surgical site infection in malignant musculoskeletal tumours of the trunk.	Jpn J Clin Oncol . 2024 Nov 2;54(11):1158-1164.	Original Article
209	Yokota K, Sakai H, Kawano O, et al	整形外科	Changing trends in traumatic spinal cord injury in an aging society: Epidemiology of 1152 cases over 15 years from a single center in Japan	PLoS One. 2024 May 16;19(5):e0298836.	Original Article
210	Yokota K, Kawano O, Sakai H, et al	整形外科	Predicting the Progression of Spasticity in the Early Phase of Spinal Cord Injury: A Prospective Cohort Study	J Neurotrauma. 2024 May;41(9-10):1122-1132.	Original Article
211	Hatae R, Kyewalabye K, Yamamichi A et al.	脳神経外科	Enhancing CAR-T cell metabolism to overcome hypoxic conditions in the brain tumor microenvironment	JCI Insight. 2024 Apr 8;9(7):e177141.	Original Article
212	Arimura K.	脳神経外科	Basic Setup and Coil Embolization Technique for Ruptured Cerebral Aneurysms	No Shinkei Geka. 2024 Sep;52(5):995-1002.	Review
213	Kuga D, Murakami D, Sangatsuda Y et al.	脳神経外科	Role of the endonasal endoscopic approach in intraorbital tumor surgery: insights from a single-center experience	J Neurosurg. 2024 Nov 15;142(4):1075-1084.	Original Article
214	Miki K, Yagi M, Kang D et al.	脳神経外科	Glucose starvation causes ferroptosis-mediated lysosomal dysfunction	iScience. 2024 Apr 12;27(5):109735.	Original Article
215	Miki K, Yagi M, Hatae R et l.	脳神経外科	Glutaminolysis is associated with mitochondrial pathway activation and can be therapeutically targeted in glioblastoma	Cancer Metab. 2024 Nov 19;12(1):35.	Original Article
216	Otsuji R, Hata N, Yamamoto H et al.	脳神経外科	Hemizygous deletion of cyclin-dependent kinase inhibitor 2A/B with p16 immuno-negative and methylthioadenosine phosphorylase retention predicts poor prognosis in IDH-mutant adult glioma	Neurooncol Adv. 2024 May 8;6(1):vdae069.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
217	Hayashida H, Masaki K, Ogata H et al.	脳神経外科	Multiple dural arteriovenous fistulas showing isolated subcortical white matter T2 hyperintensity with gadolinium enhancement	Rinsho Shinkeigaku. 2024 Aug 27;64(8):572-578.	Case report
218	Ishikura T, Sonoda Y, Kajiwarara K et al.	脳神経外科	Dural arteriovenous fistulae in a 6-year-old girl with trisomy 21 and congenital heart disease	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Nov;246:108540.	Case report
219	Akiyama T, Hitotsumatsu T, Arimura K et al.	脳神経外科	Anatomical features and clinical significance of the ascending pharyngeal artery in carotid endarterectomy	Neurosurg Rev. 2025 Mar 17;48(1):302.	Original Article
220	Miki K, Yagi M, Igami K et al.	脳神経外科	Live-cell metabolic analyzer protocol for measuring glucose and lactate metabolic changes in human cells	STAR Protoc. 2025 Mar 21;6(1):103518.	Original Article
221	Nishijima T, Oishi Y, Kimura S, et al	心臓血管外科	Efficacy of Sac Coil Embolization in Endovascular Aortic Repair for Sac Shrinkage in Patients at a High Risk of Type II Endoleak from Lumbar Arteries	Ann Vasc Surg. 2024 Jun;103:122-132.	Original Article
222	Matsuda K, Mitsuo H, Nishijima T, et al	心臓血管外科	Acute Dapagliflozin Administration Ameliorates Cardiac Surgery-Associated Acute Kidney Injury in a Rabbit Model	Circ J. 2024 Aug 23;88(9):1488-1498.	Original Article
223	Shiose A, Ushijima T	心臓血管外科	Single Additional Stitch During Rapid Deployment Aortic Valve Replacement to Reduce Postimplant Pacemaker Needs	Innovations (Phila). 2024 Jul-Aug;19(4):449-451.	Case report
224	Ushijima T, Fujino T, Komman H, et al	心臓血管外科	"Kyushu-style" collaboration between the implantable ventricular assist device implantation and management centers: a republication of the article published in Japanese journal of artificial organs	J Artif Organs. 2024 Sep;27(3):198-202.	Review
225	Ushijima T, Takemoto S, Sonoda H, et al	心臓血管外科	Simultaneous sternal-sparing durable left ventricular assist device implantation with aortic and mitral valve procedures	JTCVS Tech. 2024 Oct 9;29:70-74.	Case report
226	Maniwa J, Kawakubo N, Tamaki A et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Postoperative bile leaks did not affect the survival of hepatoblastoma but were associated with long-term complications: retrospective case-control study	International Journal of Surgery Oncology 10(1):p 1-5, March 2025., Published online,	Original Article
227	Hamada H, Kohashi K, Iwasaki T et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Adjunctive diagnostic tool for histopathological classification of congenital mesoblastic nephroma based in molecular genetic findings	J Cancer Res Clin Oncol. 2025 Feb 8;151(2):69.	Original Article
228	Toriigahara Y, Matsuura T, Takahashi Y et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	A retrospective study investigating the risk of graft loss in living donor liver transplant cases where size mismatching is predicted from graft-to-recipient weight ratio	Pediatr Surg Int. 2024 Aug 16;40(1):229.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
229	Miyata J, HamadaY, Hayashishita S et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Qualitative inductive analysis of the lives of women with persistent cloaca based on their narratives	Pediatr Surg Int. 2024 Aug 20;40(1):236.	Original Article
230	Fukuta A, Yamashita S, Maniwa J, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Correction: Artificial intelligence facilitates the potential of simulator training: An innovative laparoscopic surgical skill validation system using artificial intelligence technology	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2024 Dec 12.	Original Article
231	Kalim AS, Nagata K, Toriigahara Y et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	A lmod1a mutation causes megacystis microcolon intestinal hypoperistalsis in a CRISPR/Cas9-modified zebrafish model	Pediatr Surg Int. 2024 Aug 14;40(1):225. Published online	Original Article
232	Takahashi Y, Matsuura T Maeda S, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Factors predicting the need for liver transplantation in biliary atresia patients after 18 years of age	Pediatric Surgery International, Published online: 8 August 2024	Original Article
233	Kawakubo N, Maniwa J, Irie K et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	Successful endoscopic approach for peripheral neuroblastic tumors in children	Pediatr Int. 26 June 2024;66(1):e15754.	Original Article
234	Hino Y, Kohashi K, Tamaki A, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科	FOXM1 and CHD4 expression is associated with chemoresistance in hepatoblastoma	Pathol Res Pract. 2024 Jun;258:155348	Original Article
235	Tamaki A, Kohashi K, Yoshimaru K et al	成育外科、小腸	A Novel Objective Pathologic Criterion for Isolated Hypoganglionosis	The American Journal of Surgical Pathology 48(7):p 803–812, July 2024.	Original Article
236	NT, MH, MM, et al	皮膚科	Matching-Adjusted Indirect Comparison of the Efficacy and Safety of Difamilast 1% and Delgocitinib 0.5% in Patients with Moderate-to-Severe Atopic Dermatitis	Dermatol Ther (Heidelb). 2024 Oct;14(10):2905–2916.	Original Article
237	NT, NS, MM, et al	皮膚科	Cost-Effectiveness Study of Difamilast 1% for the Treatment of Atopic Dermatitis in Adult Japanese Patients	Dermatol Ther (Heidelb). 2024 Nov;14(11):3113–3132.	Original Article
238	K-NM, OD, IK et al	皮膚科	Exploring patient background and biomarkers associated with the development of dupilumab-associated conjunctivitis and blepharitis	Allergol Int. 2024 Apr;73(2):332–334.	Letter
239	K-NM, OD, IK et al	皮膚科	Biomarkers and patient-related factors associated with clinical outcomes in dupilumab-treated atopic dermatitis	J Allergy Clin Immunol Glob. 2024 Jul 31;3(4):100317.	Original Article
240	TG, YA, YK et al	皮膚科	Induction of Semaphorin 3A by Resveratrol and Pinostilbene via Activation of the AHR-NRF2 Axis in Human Keratinocytes	Antioxidants (Basel). 2024 Jun 17;13(6):732.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
241	TG, YA, KK et al	皮膚科	Difamilast, a Topical Phosphodiesterase 4 Inhibitor, Produces Soluble ST2 via the AHR-NRF2 Axis in Human Keratinocytes	Int J Mol Sci. 2024 Jul 19;25(14):7910.	Original Article
242	IT, TY, K-I Y et al	皮膚科	KS-cSCC-1 and KS-cSCC-2: two novel cutaneous squamous cell carcinoma cell lines established from Japanese patients	Front Med (Lausanne). 2024 Nov 7;11:1483450.	Original Article
243	IT, TY, OD et al	皮膚科	A multicenter study on TROP2 as a potential targeted therapy for extramammary Paget disease in Japan	Sci Rep. 2025 Jan 2;15(1):409.	Original Article
244	K-F Y, K-N M, T G et al	皮膚科	Proposal of a cutaneous lupus erythematosus-like keratinocyte model in vitro under local conditions using interferon- α and Poly I:C and its use in examining the therapeutic effects of tyrosine kinase 2 inhibitor	J Dermatol. 2024 Jul;51(7):1031-1033.	Original Article
245	SA, FT, OK et al	皮膚科	Effective and safe provocation test for wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis (WDEIA) in adults results of testing on 33 cases	J. Cutan. Immunol Allergy. 2024 April 18(7)	Original Article
246	YK, OF, YS et al	皮膚科	Extracellular ATP Contributes to Barrier Function and Inflammation in Atopic Dermatitis: Potential for Topical Treatment of Atopic Dermatitis by Targeting Extracellular ATP	Int J Mol Sci. 2024 Nov 15;25(22):12294.	Original Article
247	TK, TY, IT et al	皮膚科	TROP2 Expression and Therapeutic Implications in Cutaneous Squamous Cell Carcinoma: Insights From Immunohistochemical and Functional Analysis	Exp Dermatol. 2024 Oct;33(10):e15196.	Original Article
248	EM, M K-N, YF et al	皮膚科	Stratum Corneum Interleukin-2 in Facial Eczema at 1-Month-Old Predicts Later Atopic Dermatitis	Allergy. 2025 Jan 15.	Letter
249	IT, IT, SS et al	皮膚科	PRAME expression in fibrosarcomatous dermatofibrosarcoma protuberans	Sci Rep. 2024 Oct 3;14(1):22973.	Original Article
250	KK, K-N M, K-F Y et al	皮膚科	A case of xeroderma pigmentosum group C with rare compound heterozygous mutations	Eur J Dermatol. 2024 Apr 1;34(2):226-228.	Case report
251	TS, IY, TM et al	皮膚科	The first Japanese case of intractable tinea corporis caused by Trichophyton indotineae	J Dermatol. 2025 Mar;52(3):e240-e241.	Case report
252	ST, NY, SI et al	皮膚科	Case of allergic contact dermatitis caused by polyurethane elastic cannula	J Dermatol. 2025 Mar 5.	Case report

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
253	Nagakawa S, Shiota M, Takamatsu D, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Clinical features and oncological outcomes of bladder cancer microsatellite instability	Int J Urol. 2024 Apr;31(4):438-445.	Original Article
254	Shiota M, Matsubara N, Kato T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genomic profiling and clinical utility of circulating tumor DNA in metastatic prostate cancer: SCRUM-Japan MONSTAR SCREEN project	BJC Rep. 2024 Apr 3;2(1):28.	Original Article
255	Shiota M, Takamatsu D, Matsui Y, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognostication in Lymph Node-Positive Prostate Cancer with No PSA Persistence After Radical Prostatectomy	Ann Surg Oncol. 2024 Jun;31(6):3872-3879.	Original Article
256	Tanegashima T, Shiota M, Fujiyama N, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Effect of HLA Genotype on Anti-PD-1 Antibody Treatment for Advanced Renal Cell Carcinoma in the SNIIP-RCC Study	J Immunol. 2024 Jul 1;213(1):23-28.	Original Article
257	Shiota M, Ushijima M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Oxidative stress in peroxisomes induced by androgen receptor inhibition through peroxisome proliferator-activated receptor promotes enzalutamide resistance in prostate cancer	Free Radic Biol Med. 2024 Aug 20:221:81-88.	Original Article
258	Kobayashi S, Tsukino K, Mutaguchi J, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Functional outcomes in robot-assisted partial nephrectomy with three-dimensional images reconstructed from computed tomography: a propensity score-matched comparative analysis	J Robot Surg. 2024 Aug 7;18(1):314.	Original Article
259	Shiota M, Nagakawa S, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Independent validation of genetic risk model to progression after intravesical bacillus Calmette-Guérin therapy for non-muscle invasive bladder cancer	Int J Urol. 2024 Aug;31(8):945-947.	Original Article
260	Shiota M, Matsubara N, Kato T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prediction of undetectable circulating tumor DNA by comprehensive genomic profiling assay in metastatic prostate cancer: the SCRUM-Japan MONSTAR SCREEN project	World J Urol. 2024 Sep 18;42(1):526.	Original Article
261	Shiota M, Nemoto S, Ikegami R, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Predictive model of castration resistance in advanced prostate cancer by machine learning using genetic and clinical data: KYUCOG-1401-A study	BJC Rep. 2024 Sep 9;2(1):69.	Original Article
262	Tanegashima T, Shiota M, Kimura T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Prognosis based on postoperative PSA levels and treatment in prostate cancer with lymph node involvement	Int J Clin Oncol. 2024 Oct;29(10):1586-1593.	Original Article
263	Tanegashima T, Shiota M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Impact of proton pump inhibitors on the efficacy of androgen receptor signaling inhibitors in metastatic castration-resistant prostate cancer patients	Prostate. 2024 Oct;84(14):1329-1335.	Original Article
264	Shiota M, Shimbo M, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Optimization of Extended Pelvic Lymph Node Dissection Side for Prostate Cancer	Ann Surg Oncol. 2024 Dec;31(13):8986-8992.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
265	Shiota M, Endo S, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Importance of 3 β -hydroxysteroid dehydrogenases and their clinical use in prostate cancer	Endocr Relat Cancer. 2024 May 20;31(7):e240023.	Review
266	Shiota M, Matsubara N, Kato T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Genomic characterization of metastatic patterns in prostate cancer using circulating tumor DNA data from the SCRUM-Japan MONSTAR SCREEN project	J Liq Biopsy. 2024 Dec 20;7:100282.	Original Article
267	Shiota M.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Editorial Comment	J Urol. 2025 Mar;213(3):292-293.	Letter
268	Tanegashima T, Shiota M, Terada N, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Improved prognosis of de novo metastatic prostate cancer after an introduction of life-prolonging agents for castration-resistant prostate cancer	Int J Clin Oncol. 2025 Mar;30(3):551-558.	Original Article
269	Shiota M, Tanegashima T, Tatarano S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	The effect of human leukocyte antigen genotype on survival in advanced prostate cancer treated with primary androgen deprivation therapy: the KYUCOG-1401-A study	Prostate Cancer Prostatic Dis. 2025 Mar;28(1):193-201.	Case report
270	Shiota M, Tanegashima T, Tsukahara S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Laparoscopic Retroperitoneal Lymph Node Dissection After Chemotherapy for Nonseminomatous Testicular Germ-Cell Tumor at a Single Center	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec;18(1):e13416.	Original Article
271	Shiota M.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Editorial Comment to Loss of phosphatase and tensin homolog expression in castration-sensitive prostate cancer predicts outcomes in men after prostatectomy	Int J Urol. 2025 Jan;32(1):44.	Letter
272	Huang KL, Katsuki R, Kubo T, et al	精神科神経科	Unexpected risk factors of pathological hikikomori during the COVID-19 pandemic among working adults initially without social isolation: A longitudinal online survey	Psychiatry and Clinical Neurosciences:2024 May, 78(5): 332-334.	Letter
273	Kato TA*, Sartorius N, Shinfuku N, et al	精神科神経科	Shifting the paradigm of social withdrawal: a new era of coexisting pathological and non-pathological hikikomori	Current Opinion in Psychiatry:2024 May, 37(3): 177-184.	Review
274	Fujii F, Kanemasa H, Okuzono S, et al	精神科神経科	ATP1A3 regulates protein synthesis for mitochondrial stability under heat stress	Disease models & mechanisms:2024Jun,17(6): dmm050574.	Original Article
275	Taira R, Akamine S, Okuzono S,et al	精神科神経科	Gnao1 is a molecular switch that regulates the Rho signaling pathway in differentiating neurons	Scientific reports:2024 Jul, 14(1): 17097.	Original Article
276	Okuzono S, Fujii F, Setoyama D,et al	精神科神経科	An N-terminal and ankyrin repeat domain interactome of Shank3 identifies the protein complex with the splicing regulator Nono in mice	Genes to cells: devoted to molecular & cellular mechanisms:2024 Sep,29(9): 746-756.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
277	Kyuragi S, Inamine S, Ohgidani M, et al	精神科神経科	Engineering of Human Blood-Induced Microglia-like Cells for Reverse-Translational Brain Research	Journal of Visualized Experiments:2024 Sep 211.	Original Article
278	Kyuragi S, Inamine S, Ohgidani M, et al	精神科神経科	Human Monocyte Derived Microglia-like (iMG) Cells: A Tool to Explore Microglial Dynamics	Clinical and Experimental Neuroimmunology:2024 Sep 15(4): 222-227.	Review
279	Kato K, Tomiyama H, Murayama K,et al	精神科神経科	Reduced resting-state functional connectivity between insula and inferior frontal gyrus and superior temporal gyrus in hoarding disorder	Front Psychiatry. 2024 Jun 19;15:1399062.	Original Article
280	Tomiyama H, Murayama K, Nemoto K,et al	精神科神経科	No significant alteration in white matter microstructure in first-degree relatives of patients with obsessive-compulsive disorder	Psychiatry Res Neuroimaging. 2024 Oct;344:111884.	Original Article
281	Murayama K, Tomiyama H, Ohono A,et al	精神科神経科	Decision-making using the Iowa gambling test in unaffected first-degree relatives of obsessive-compulsive disorder: Comparison with healthy controls and patients with obsessive-compulsive disorder.	J Neuropsychol. 2024 Dec 17.	Original Article
282	Nakhnikian A, Oribe N, Hirano S,et al	精神科神経科	Spectral decomposition of resting state electroencephalogram reveals unique theta/alpha activity in schizophrenia	Eur J Neurosci. 2024 Apr;59(8):1946-1960.	Original Article
283	Fukuda Y, Notomi S, Shiose S et al	眼科	Three-month outcomes of treatment with faricimab or aflibercept for neovascular age-related macular degeneration: a propensity score matching study in a Japanese population	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2024 Dec;262(12):3971-3978.	Original Article
284	Akiyama M, Tamiya G, Fujiwara K et al	眼科	Genetic Risk Stratification of Primary Open-Angle Glaucoma in Japanese Individuals	Ophthalmology . 2024 Nov;131(11):1271-1280.	Original Article
285	Nakamura S, Fujiwara K, Fukushima M et al	眼科	Relationships between causative genes and epiretinal membrane formation in Japanese patients with retinitis pigmentosa	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2024 Nov;262(11):3553-3558.	Original Article
286	Fukui C, Takeda A, Hasegawa E et al	眼科	Factors at the initial visit associated with poor visual outcomes in patients with acute retinal necrosis	Eye (Lond) . 2024 Oct;38(15):2992-2998.	Original Article
287	Yamaguchi M, Nakao S, Arima M et al	眼科	Heterotypic macrophages/microglia differentially contribute to retinal ischaemia and neovascularisation	Diabetologia . 2024 Oct;67(10):2329-2345.	Original Article
288	Shiose S, Notomi S, Hashimoto S et al	眼科	The factors associated with retinal pigment epithelium tear development in the early phase after treatment initiation for age-related macular degeneration	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol . 2024 Oct;262(10):3171-3180.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
289	Xu Ziming, Notomi S, Wu Guannan et al	眼科	Altered fatty acid distribution in lysosome-associated membrane protein-2 deficient mice	Biochem Biophys Rep . 2024 Sep 5;40:101822.	Original Article
290	Fujiwara K, Ueda E, Hata J et al	眼科	Association between corneal hysteresis and glaucoma in a Japanese population: the Hisayama Study	Br J Ophthalmol. 2024 Aug 22;108(9):1204-1209.	Original Article
291	Notomi S, Kubo Y, Ishikawa K et al	眼科	A Recurrent Case of Full-Thickness Macular Hole After Successful Closure With Primary Vitrectomy and Epiretinal Proliferation Embedding	Cureus. 2024 Aug 5;16(8):e66232.	Case report
292	Tao Yan, Fukushima M, Shimokawa S et al	眼科	Ocular and Serum Profiles of Inflammatory Molecules Associated With Retinitis Pigmentosa	Transl Vis Sci Technol. 2024 Aug 1;13(8):18.	Original Article
293	Fukuda Y, Ishikawa K, Kiyohara K et al	眼科	Postoperative Proliferation Detection in Eyes Treated for Rhegmatogenous Retinal Detachment by WideField OCT Angiography	Transl Vis Sci Technol. 2024 Aug 1;13(8):13.	Original Article
294	Fukushima M, Tao Yan, Shimokawa S et al	眼科	Comparison of Microperimetry and Static Perimetry for Evaluating Macular Function and Progression in Retinitis Pigmentosa	Ophthalmol Sci. 2024 Jul 20;4(6):100582.	Original Article
295	Tanabe M, Funatsu N, Akiyama M et al	眼科	Clinical features and prognosis of conjunctival melanoma in Japanese patients	Jpn J Ophthalmol. 2024 Sep;68(5):463-471.	Original Article
296	Emi Ueda, Mitsuru Watanabe, Daisuke Nakamura et al	眼科	Distinct retinal reflectance spectra from retinal hyperspectral imaging in Parkinson’s disease	J Neurol Sci. 2024 Jun 15;461:123061.	Original Article
297	Nakamura S, Ueda E, Ohara T et al	眼科	Association between retinopathy and risk of dementia in a general Japanese population: the Hisayama Study	Sci Rep. 2024 May 26;14(1):12017.	Original Article
298	Wu Guannan, Notomi S, Xu Ziming et al	眼科	Lamp2 Deficiency Enhances Susceptibility to Oxidative Stress-Induced RPE Degeneration	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2025 Feb 3;66(2):2.	Original Article
299	M.M,H.K,K.R,et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Interval to Recurrence Affects Survival in Recurrent Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Cancer Diagn Progn. 2024 Sep 1;4(5):658-666.	Original Article
300	M.M,M.M,M.Y,et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Progression-Free Survival and Treatment-Free Interval in Head and Neck Cancer with Long-Term Response to Nivolumab: Timing of Active Discontinuation	Cancers (Basel). 2024 Jul 12;16(14):2527.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
301	Y.K,G.M,D.M,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Utility of the Liebowitz Social Anxiety Scale in Understanding Stuttering Issues	Medical Research Archives Vol 12 No 11 :2024 Nov	Original Article
302	Y.K,G.M,D.M,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Stuttering and Social Anxiety Disorder: New Insights and Treatment Possibilities	Medical Research Archives Vol 12 No 7 :2024 Jul	Original Article
303	N.K,S.M,O.A,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	The importance of the palatine bone for endoscopic endonasal skull base surgery	Clin Anat. 2025 Jan;38(1):10-19.	Original Article
304	M.S,T.E,T.F,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Induction chemotherapy with paclitaxel, carboplatin, and cetuximab (PCE) followed by chemoradiotherapy for unresectable locoregional recurrence after curative surgery in patients with squamous cell carcinoma of the head and neck	Front Oncol. 2024 Jul 1:14:1420860.	Original Article
305	S.M,H.O,N.I,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Inhibition of PTPN3 Expressed in Activated Lymphocytes Enhances the Antitumor Effects of Anti-PD-1 Therapy in Head and Neck Cancer, Especially in Hypoxic Environments	J Immunother. 2024 Apr 1;47(3):89-97.	Original Article
306	T.S,N.K,Y.M,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Endoscopic Management of a Case of Spontaneous Cerebrospinal Fluid Leaks in Anterior Skull Base	Cureus. 2024 Jun 10;16(6):e62042.	Case report
307	T.S,N.K,Y.M,et al	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	Preservation of nasal function in paramedian endoscopic endonasal approaches: patient series	J Neurosurg Case Lessons.2024 Jul 29;8(5):CASE24218.	Original Article
308	Yamashita K, Murayama R, Itoyama M, et al.	放射線科	The cortical high-flow sign in oligodendroglioma, IDH-mutant and 1p/19q-codeleted is correlated with histological cortical vascular density	Neuroradiology. 2025 Feb;67(2):291-298.	Original Article
309	Kikuchi K, Togao O, Kikuchi Y, et al.	放射線科	Artificial intelligence-assisted volume isotropic simultaneous interleaved bright- and black-blood examination for brain metastases	Neuroradiology. 2025 Feb;67(2):351-359.	Original Article
310	Fujita N, Ushijima Y, Itoyama M, et al.	放射線科	Value of gadoxetic acid-enhanced MR imaging for preoperative prediction of future liver regeneration after hemihepatectomy	Jpn J Radiol. 2024 Dec;42(12):1439-1447.	Original Article
311	Tsurumaru D, Nishimuta Y, Nanjo K, et al.	放射線科	CT colonography has advantages over colonoscopy for size measurement of colorectal polyps	Jpn J Radiol. 2024 Nov;42(11):1255-1261.	Original Article
312	Fujita N, Ushijima Y, Ishimatsu K, et al.	放射線科	Multiparametric assessment of microvascular invasion in hepatocellular carcinoma using gadoxetic acid-enhanced MRI	Abdom Radiol (NY). 2024 May;49(5):1467-1478.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
313	Yamasaki Y, Hosokawa K, Kamitani T, et al.	放射線科	Diagnostic accuracy and added value of dynamic chest radiography in detecting pulmonary embolism: A retrospective study	Eur J Radiol Open. 2024 Oct 5;13:100602.(オンライン)	Original Article
314	Otsuka T, Kikuchi K, Togao O, et al.	放射線科	Advantages of 3D High-Resolution Vessel Wall Imaging in a Patient With Blood Blister-Like Aneurysm: A Case Report and Literature Review	Cureus. 2024 Apr;16(4):e58376. (オンライン)	Case report
315	Okamoto D, Ushijima Y, Fujita N, et al.	放射線科	Safety and clinical contribution of computed tomography-guided biopsy for cervical spine lesion	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2024 Jun;33(3):171-175.	Original Article
316	Togao O, Obara M, Yamashita K, et al.	放射線科	Arterial Spin Labeling-Based MR Angiography for Cerebrovascular Diseases: Principles and Clinical Applications	J Magn Reson Imaging. 2024 Oct;60(4):1305-1324.	Review
317	Abe T, Yamashita K, Kikuchi K, et al.	放射線科	Diagnostic MR imaging features of hypomyelination of early myelinating structures: A case report	Neuroradiol J. 2024 Dec;37(6):758-760.	Case report
318	Takaaki Hirose, Masanori Takaki, Yusuke Shibayama,et al	放射線部	Evaluation of PTV margin in CBCT-based online adaptive radiation therapy for gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma	J Radiat Res. 2024 Jul 22;65(4):507-511.	Original Article
319	Chiaki Tokunaga, Tatsuhiko Wada, Osamu Togao,et al	放射線部	Amide proton transfer-weighted imaging with a short acquisition time based on a self B0 correction using the turbo spin echo-Dixon method: A phantom study	Magn Reson Imaging. 2024 Jul;110:69-77.	Original Article
320	Daisuke Nishigake, Yuzo Yamasaki, Tomoyuki Hida,et al	放射線部	Influence of cardiac cycle on myocardial extracellular volume fraction measurements with dual-layer computed tomography	Quant Imaging Med Surg. 2024 Jul 1;14(7):4714-4722.	Original Article
321	Tatsuhiko Wada, Kazufumi Kikuchi, Makoto Obara,et al	放射線部	Improvement of image quality for bright-blood image in VISIBLE (volume isotropic simultaneous interleaved bright- and black-blood examination) by using k-space reordering and startup echoes	Magn Reson Imaging. 2024 Oct;112:144-150.	Original Article
322	Yuki Sakai, Kazutoshi Okamura, Erina Kitamoto,et al	放射線部	Improvement of image quality of dentomaxillofacial region in ultra-high-resolution CT: a phantom study	Dentomaxillofac Radiol. 2025 Mar 1;54(3):203-209.	Original Article
323	Hiroshi Hamasaki, Hidetaka Arimura, Yuzo Yamasaki,et al	放射線部	Noninvasive machine-learning models for the detection of lesion-specific ischemia in patients with stable angina with intermediate stenosis severity on coronary CT angiography	Phys Eng Sci Med. 2025 Mar;48(1):167-180.	Original Article
324	Shirozu K, Umehara K, Takamori S, et al.	麻酔科蘇生科、手術部	Associations between ondansetron and the incidence of postoperative nausea and vomiting and food intake in Japanese female undergoing laparoscopic gynecological surgery: a retrospective study	J Anesth. 2024 Apr;38(2):185-190.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
325	Nakamura Y, Shibata M, Morisaki Y, et al.	麻酔科蘇生 科、手術部	Autonomic nervous system function assessed by heart rate variability and the presence of symptoms affecting activities of daily living in community-dwelling residents with chronic pain: The Hisayama Study	Eur J Pain. 2024 May;28(5):831-844.	Original Article
326	Setoguchi H, Tanigawa Y, Sakaguchi Y et al.	麻酔科蘇生 科、手術部	Investigation of factors contributing to heparin resistance during cardiopulmonary bypass	JJSCA, 2024 May;44(3):270-279	Original Article
327	Matsushita H, Saku K, Nishikawa T, et al	麻酔科蘇生 科、手術部	Impact of right ventricular and pulmonary vascular characteristics on Impella hemodynamic support in biventricular heart failure: A simulation study	J Cardiol. 2025 Feb;85(2):100-107.	Original Article
328	Kazuhiro Shirozu, Masako Asada, Ryotaro Shiraki, et al.	麻酔科蘇生 科、手術部	Factors associated with postoperative shivering in patients with maintained core temperature after surgery	JA Clin Rep. 2024 Nov 11;10(1):70.	Original Article
329	Sumie M, Cheng S, Niimi N et al.	麻酔科蘇生 科、手術部	Effect of ondansetron and metoclopramide on postoperative nausea and vomiting in children undergoing tonsillectomy with or without adenoidectomy: a systematic review with meta-analysis	J Anesth. 2025 Feb 24. (オンライン)	Original Article
330	Ogawa E	総合診療科	Editorial: Retreatment of direct-acting antiviral failures with the current first-line regimens for patients with chronic hepatitis C	Aliment Pharmacol Ther. 2024 Jul;60(2):276-277.	Letter
331	Ogawa E	総合診療科	Letter: Switching to tenofovir alafenamide for nucleos(t)ide analogue-experienced patients with chronic hepatitis B can increase body weight-Authors' reply	Aliment Pharmacol Ther. 2024 Apr;59(7):909- 910.	Letter
332	Yamasaki S, Murata M, Ohta A, et al	総合診療科	Analyses of the association between Helicobacter pylori antibody titre and pathogenicity before and after eradication: results of the Kyushu and Okinawa population study, a retrospective observational cohort study	BMJ Open. 2024 Aug 7;14(8):e083157.	Original Article
333	Ikezaki H, Nakashima R, Matsumoto Y, et al	総合診療科	Impact of NAFLD-related SNPs on the carotid atherosclerosis development; a five-year prospective observational study	Atheroscler Plus. 2024 Dec 14;59:10-17.	Original Article
334	Matsumoto Y, Murata M, Ohta A, et al	総合診療科	The humoral and cellular immune responses following booster vaccination with SARS-CoV-2 mRNA in people living with human immunodeficiency virus	J Infect Chemother. 2024 May;30(5):417- 422.	Original Article
335	Hideki Kadota, Chikafumi Oryoji, Seita Fukushima, et al	形成外科	Combined local flap placement and negative-pressure wound therapy for the management of critical peritracheostomal pharyngocutaneous fistula	Auris Nasus Larynx. 2024 Dec;51(6):964- 970.	Original Article
336	Kentaro Anan,Hideki Kadota,Chikafumi Oryoji	形成外科	Rapid Forehead Ossification due to a Subperiosteal Hematoma in a Patient With Neurofibromatosis Type 1	J Craniofac Surg. 2024 Oct 1;35(7):e649-e651.	Case report

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
337	Hideki Kadota,Yoshie Imai	形成外科	Safe and reliable use of supraclavicular flaps for head and neck reconstruction	J Craniofac Surg. 2024 Jul 18.(オンライン)	Original Article
338	Kenichi Kamizono,Hideki Kadota,Sei Yoshida	形成外科	Superthin Anterolateral Thigh Flap for Head and Neck Reconstruction	J Craniofac Surg. 2025 Jan-Feb;36(1):167-171.	Original Article
339	Yoshie Imai,Hideki Kadota,Ryunosuke Kogo	形成外科	Temporoparietal Fascial Flap Combined With Vascularized Outer Table Calvarial Bone Graft and Entire Temporalis Muscle: A Stable Pedicled Flap for Orbital Floor Reconstruction After Total Maxillectomy	J Craniofac Surg. 2024 Aug 26.	Original Article
340	Toshima T, Yagi M, Do Y, et al.	検査部	Mitochondrial translation failure represses cholesterol gene expression via Pyk2-Gsk3 β -Srebp2 axis	Life Sci Alliance. 2024 May 8;7(7):e202302423.	Original Article
341	Matsumoto S, Uchiumi T, Ueyanagi Y, et al.	検査部	Long-range and real-time PCR identification of a large SERPINC1 deletion in a patient with antithrombin deficiency	Int J Hematol. 2024 Aug;120(2):179-185.	Case report
342	Harada N, Sonoda M, Ishimura M, et al.	検査部	Adenovirus-associated Paroxysmal Cold Hemoglobinuria as Chilly Month Hemolytic Crisis	Pediatr Infect Dis J. 2024 Apr 1;43(4):e147-e148.	Letter
343	Morioka T, Inoha S, Mugita F, et al.	検査部	Addition of 1.5-Tesla arterial spin labeling magnetic resonance perfusion imaging to routine electroencephalography in pathophysiological diagnosis of first-onset generalized convulsive seizures in patients with dementia at neurological emergency.	Epilepsy & Seizure. 2024 Apr; 16(1):29-43.	Original Article
344	Morioka T, Mugita F, Inoha S, et al.	検査部	Usefulness and limitation of addition of 1.5-Tesla arterial spin labeling magnetic resonance perfusion imaging to routine electroencephalography in the pathophysiological diagnosis of post-intracerebral hemorrhage epilepsy at neurological emergency.	Epilepsy & Seizure. 2024 Sep; 16(1):78-94	Original Article
345	Matsuoka W, Mizuguchi S, Kaku N, et al.	救命救急センター、集中治療部	Skeletal Muscle Mass Assessment in Pediatric Patients: Development of a Normative Equation and Assessment of Factors Associated With a Low Skeletal Muscle Mass in PICU Patients	Pediatr Crit Care Med. 2024 Jul 1;25(7):621-628.	Original Article
346	Kaku N, Matsuoka W, Ide K, et al.	救命救急センター、集中治療部	Survival trends of extracorporeal membrane oxygenation support for pediatric emergency patients in regional and metropolitan areas in Japan	Pediatr Neonatol. 2025 Jan;66(1):55-59.	Original Article
347	Fukuoka S, Kaku N, Nagata H, et al.	救命救急センター、集中治療部	Extracorporeal membrane oxygenation support for balloon atrial septostomy in a BMPR2 variant-associated pulmonary arterial hypertension	Pediatr Pulmonol. 2024 Jun;59(6):1789-1791.	Case report
348	Nishihara M, Shinohara K, Ikeda S, et al.	救命救急センター、集中治療部	Impact of sympathetic hyperactivity induced by brain microglial activation on organ damage in sepsis with chronic kidney disease	J Intensive Care. 2024 Sep 2;12(1):31.	Original Article
					小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
349	Yoshimura S, Hashimoto K, Shono Y, et al.	救命救急セン ター、集中治 療部	Predictive Value of the PaO2/FIO2 Ratio for Mortality in Patients with Acute Respiratory Distress Syndrome: A Systematic Review and Meta-analysis	Intern Med. 2024 Dec 5.	Case report
350	Kawaguchi K, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Prognostic implications of the immunohistochemical expression of perilipin 1 and adipophilin in high-grade liposarcoma	J Clin Pathol. 2024 Sep;77(10):676-682	Original Article
351	Kiyozawa D, Iwasaki T, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Papillary renal neoplasm with reverse polarity has low frequency of alterations in chromosomes 7, 17, and Y	Virchows Arch. 2024 Aug;485(2):299-306	Original Article
352	Kuga R, Yamamoto H, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	The combination of p16 and Rb expression pattern is helpful to predict high-risk HPV infection and the primary site in lymph node metastases of squamous cell carcinoma	Pathol Res Pract. 2024 Nov;263:155642.	Original Article
353	Shibui Y, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Expression of Forkhead Box M1 and Anticancer Effects of FOXM1 Inhibition in Epithelioid Sarcoma	Lab Invest. 2024 Aug;104(8):102093.	Original Article
354	Umekita S, Kiyozawa D, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Clinicopathological significance of microsatellite instability and immune escape mechanism in patients with gastric solid-type poorly differentiated adenocarcinoma	Gastric Cancer. 2024 May;27(3):484-494.	Original Article
355	Katayama Y, Iwasaki T, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Loss of SMARCA4 induces sarcomatogenesis through epithelial-mesenchymal transition in ovarian carcinosarcoma	Cancer Sci. 2025 Mar;116(3):835-845.	Original Article
356	Kawaguchi K, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Nuclear morphological atypia in biopsy accurately reflects the prognosis of myxoid liposarcoma	Virchows Arch. 2025 Feb;486(2):373-380.	Original Article
357	Taniguchi Y, Kiyozawa D, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Volume of hepatoid component and intratumor M2 macrophages predict prognosis in patients with hepatoid adenocarcinoma of the stomach	Gastric Cancer. 2025 Jan;28(1):41-50.	Original Article
358	Kawaguchi K, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Low-grade central osteosarcoma with extraosseous dedifferentiation: a rare case	Skeletal Radiol. 2024 Dec;53(12):2689-2695.	Case report
359	Kawaguchi K, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・ 病理部	Rare presentation of a primary intraosseous glomus tumor in the humerus of a teenager	Skeletal Radiol. 2024 Nov;53(11):2529-2535.	Case report
360	Nakako Y, Hasegawa K, Fujii S et al	病理診断科・ 病理部	Wnt/ β -catenin-YAP axis in the pathogenesis of primary intraosseous carcinoma NOS, deriving from odontogenic keratocyst	Pathol Res Pract. 2024 Aug;260:155420.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
361	Masaki Naka	病理診断科・病理部	Reappraisal of bone and soft tissue cytopathology classification using the modified Milan system	Cancer Cytopathol. 2024 Nov;132(11):696–706.	Original Article
362	Sachiko Koyama	病理診断科・病理部	Novel method for classification of prion diseases by detecting PrPres signal patterns from formalin-fixed paraffin-embedded samples	Prion. 2024 Dec;18(1):40–53.	Original Article
363	Mori Y, Takizawa J, Katsuoka Y, et al.	遺伝子・細胞療法部	Autologous HSCT with novel agent-based induction and consolidation followed by lenalidomide maintenance for untreated multiple myeloma	Cancer Sci. 2024 Jun;115(6):2002–2011.	Original Article
364	Takeshi Tohyama, Takeshi Iwasaki, Masataka Ikeda 他	ARO次世代医療センター	Deep learning model to diagnose cardiac amyloidosis from haematoxylin/eosin-stained myocardial tissue	Eur Heart J Imaging Methods Pract. 2024 Dec 30;3(1):qyae141.	Original Article
365	Maya Suzuki, Yuhki Koga, Terumi Kawasaki 他	ARO次世代医療センター	Access Program for Unapproved and Off-Label Drug Use in Pediatric BRAF V600E-Mutated Brain Tumors in Japan	Pediatr Blood Cancer. 2025 Mar;72(3):e31510.	Original Article
366	Mitsuru Arima, Hirosuke Inoue, Akiko Misumi 他	ARO次世代医療センター	Safety and efficacy of ripasudil eye drops in preterm infants with retinopathy of prematurity: phase 1/2, open label, single-arm trial	Jpn J Ophthalmol. 2024 Sep;68(5):490–499.	Original Article
367	T.N., N.K., F.M., et al.	がんセンター	Myeloid Cells Induce Infiltration and Activation of B Cells and CD4+ T Follicular Helper Cells to Sensitize Brain Metastases to Combination Immunotherapy	Cancer Res. 2025 Mar 14;85(6):1082–1096.	Original Article
368	T.S., M.M., T.T., et al.	先端分子・細胞治療科	Procalcitonin elevation in febrile recipients during pre-transplant conditioning with anti-thymocyte globulin	Blood Cell Ther. 2024 Apr 26;7(2):49–55.	Original Article
369	T.S., H.I., T.H., et al.	先端分子・細胞治療科	Successful Management of Total Plasma Exchange for Hemolytic Cold Agglutinin Disease	Intern Med. 2025 Jan 1;64(1):119–122.	Case report
370	K.T., T.S., C.K., et al.	先端分子・細胞治療科	Fatal posterior reversible encephalopathy syndrome after blood transfusion in a patient with myelodysplastic syndromes	Transfusion. 2024 Sep;64(9):1791–1797.	Case report
371	Toshikazu Tsuji, Kenichiro Nagata, Masayuki Tanaka, et al.	薬剤部	Eye-tracking-based analysis of pharmacists’ thought processes in the dispensing work: research related to the efficiency in dispensing based on right-brain thinking	J Pharm Health Care Sci. 2024 May 10;10(1):21.	Original Article
372	Ryosuke Matsukane, Takahiro Oyama, Ryosuke Tatsuta, et al.	薬剤部	Real-World Prevalence and Tolerability of Immune-Related Adverse Events in Older Adults with Non-Small Cell Lung Cancer: A Multi-Institutional Retrospective Study	Cancers (Basel). 2024 Jun 6;16(11):2159.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
373	Kimitaka Suetsugu, Tomohiro Shigematsu, Takahiro Nakamura, et al.	薬剤部	Clinical Pharmacokinetics and Pharmacodynamics of Letemovir in Allogenic Hematopoietic Cell Transplantation	Clin Pharmacokinet. 2024 Jul;63(7):945-964.	Review
374	Mayako Uchida, Shigeru Ishida, Erika Mochizuki, et al.	薬剤部	Risk Factor for Rash in Patients Receiving Cytarabine and Idarubicin Induction Therapy for Acute Myeloid Leukemia	Cancer Diagn Progn. 2024 Sep 1;4(5):617-622.	Original Article
375	Ryosuke Matsukane, Shoji Nakamura, Haruna Minami, et al.	薬剤部	Krebs von den Lungen-6 surveillance in immune checkpoint inhibitor-induced pneumonitis	J Immunother Cancer. 2024 Dec 22;12(12):e010114.	Original Article
376	Song Qi, Zixuan Liu, Keitaro Suyama, et al.	薬剤部	Ligand Design with Accelerated Disulfide Formation with Serum Albumin to Extend Blood Retention	ACS Med Chem Lett. 2024 Dec 16;16(1):144-148.	Original Article
377	Yuji Omata, Mai Haraguchi, Sae Yoshinaga, et al.	薬剤部	RNA editing enzyme ADAR2 regulates P-glycoprotein expression in murine breast cancer cells through the circRNA-miRNA pathway	Biochem Biophys Res Commun. 2024 Sep 24;726:150289.	Original Article
378	Kudo K, Akita N, Matsuguma H, et al.	国際医療部	Framework for a problem-solving educational program integrating medicine and design disciplines at a Japanese university	Design Science 11, e3, 2025 Jan	Original Article
379	Ueda S, Nagayoshi K, Kudo K, et al.	国際医療部	Evaluation of the use of Metaverse for video conferences on minimally invasive surgery	日本遠隔医療学会雑誌, 20, 84-87, 2024.10	Original Article
380	Ikeda Y, Moriyama T, Kudo K, et al.	国際医療部	Development and validation of a serious game system for Endoscopic submucosal dissection training	International Journal of Asia Digital Art and Design 28, 33-42, 2024.9	Original Article
381	Albougha MA, Sugii H, Adachi O et al.	歯内治療科	Exosomes from Human Periodontal Ligament Stem Cells Promote Differentiation of Osteoblast-like Cells and Bone Healing in Rat Calvarial Bone	Biomolecules. 2024 Nov 17;14(11):1455	Original Article
382	Yamashita D, Hamano S, Hasegawa D et al.	歯内治療科	Establishment of Periodontal Ligament Stem Cell-like Cells Derived from Feeder-Free Cultured Induced Pluripotent Stem Cells	Stem Cells Dev. 2024 Dec;33(23-24):665-676.	Original Article
383	Sugii H, YoshidaS, Albougha MS et al.	歯内治療科	4-META/MMA-TBB resin containing nano hydroxyapatite induces the healing of periodontal tissue repair in perforations at the pulp chamber floor	Cell Biochem Funct. 2024 Jun;42(4):e4058.	Original Article
384	Hamano S, Yamashita D,Hasegawa D et al.	歯内治療科	Effect of Fibrillin-2 on Differentiation into Periodontal Ligament Stem Cell-Like Cells Derived from Human-Induced Pluripotent Stem Cells	Stem Cells Dev. 2024 May;33(9-10):228-238.	Original Article

小計：12件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
385	Aoki T, Gao J, Li A et al	歯周病科	Phosphorylation of Serine 536 of p65(RelA) Downregulates Inflammatory Responses	Inflammation. 2024 Sep 8.	Original Article
386	Yusuke Kondo, Kiyoshi Sakai, Hajime Minakuchi. 他	義歯補綴科	Implant-supported fixed prostheses with cantilever: a systematic review and meta-analysis	Int J Implant Dent. 2024 Nov 21;10(1):57.	Review
387	Yasushige Sakamoto, Akihiro Furuhashi, Takeharu Sugiyama. 他	義歯補綴科	Enhancing epithelial tissue sealing of titanium alloy implants through CaCl2-based hydrothermal treatment	Biointerphases. 2025 Mar 1;20(2):021002.	Research Article.
388	Kaori Nishimura , Yoichiro Ogino , Yasunori Ayukawa	咬合補綴科	A retrospective cross-sectional analysis of the association between the number of medications and oral functions in university hospital outpatients	J Oral Sci. 2025 Jan;67(1):41-45.	Original Article
389	Tomoki Sueyoshi, Junsei Sameshima, Naoki Kaneko, et al	顎口腔外科	Comparison of computed tomographic findings for radiolucent lesions of the mandibular ameloblastoma, odontogenic keratocyst, dentigerous cyst, and simple bone cyst	J Dent Sci. 2025 Jan;20(1):605-612.	Original Article
390	Lijing Yan, Yuka Miyahara, Mizuki Sakamoto, et al	顎口腔外科	Possible involvement of Toll-like receptor 8-positive monocytes/macrophages in the pathogenesis of Sjögren's disease	Front Immunol. 2024 Oct 31;15:1480675.	Original Article
391	Marina Koga, Takashi Maehara, Ling Zhang, et al	顎口腔外科	Granzyme K- and amphiregulin-expressing cytotoxic T cells and activated extrafollicular B cells are potential drivers of IgG4-related disease	J Allergy Clin Immunol. 2024 Apr;153(4):1095-1112.	Original Article
392	Iwai R, Shimazaki T, Hyry J, Kawakubo Y,et al	歯科麻酔科	Reliable Stenosis Detection Based on Thrill Waveform Analysis Using Non-Contact Arteriovenous Fistula Imaging	Sensors (Basel). 2024 Aug 5;24(15):5068.	Original Article
393	Otsuka, A; Kawakubo, Y; Tanaka, T,et al	歯科麻酔科	A backboard makes manual chest compressions more effective on bed mattresses	SIGNA VITAE 20 (9) 31 - 38 2024年9月	Original Article
394	Maho Goto, Masanori Tsukamoto, Kazuya Matsuo,et al	歯科麻酔科	Does intubation while observing the glottis with a fiberoptic scope reduce postoperative sore throat?	BMC Anesthesiol. 2024 Nov 18;24(1):419.	Original Article
395	Yasaka M, Okamura K, Shimizu M, et al.	口腔画像診断科	Image findings and pathological findings of lymphoepithelial cysts with hyper internal echo—a comparison with dermoid cysts	Oral Radiol. 2025 Mar 15. (オンライン).	Original Article
396	Kitamoto E, Chikui T, Okamura K, et al.	口腔画像診断科	The evaluation of the usefulness of dual-energy computed tomography in the preoperative diagnosis of cervical lymph node metastases in oral squamous cell carcinoma	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology 2025 Jan (オンライン).	Original Article
					小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
397	Kubo A, Fujita K, Tanaka S, Kimura Y, et al.	口腔総合診療科	The impact of perioperative oral care on postoperative infection in patients with esophageal cancer: a retrospective cohort study before and during COVID-19	Surg Today. 2025 Mar 14.	Original Article
398	Arimizu C, Akahoshi T, Jinno T,et al.	口腔総合診療科	Association of Number of Oral bacteria with Ventilator-Associated Pneumonia and Delirium in Patients in the Intensive Care Unit	J Intensive Care Med. 2025 Feb 27	Original Article
399	Kamiya H, Haraguchi A, Mitarai H, et al.	口腔総合診療科	In vitro evaluation of the antimicrobial properties of terpinen-4-ol on apical periodontitis-associated bacteria	J Infect Chemother. 2024 Apr;30(4):306-314.	Original Article
400	Asuka Tani, Shinsuke Mizutani, Mitsuru Watanabe, et al	高齢者歯科・全身管理歯科	Oral management for a patient with trismus accompanied by Isaacs’ syndrome: a case report	BMC Oral Health. 2024 Jun 22;24(1):716.	Case report
					小計：4件

合計:400件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	稗田 道成	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	心力学理論で紐解く左室心筋特性に対す る心臓リハビリテーションの効果	日本臨床生理学会雑 誌	Review
2	稗田 道成、深田 光敬、森山 祥 平、他	血液・腫瘍・心 血管内科、免 疫・膠原病・感 染症内科	リアルワールドデータから見たがん関連心 血管病	月刊 臨床と研究	Review
3	才木 琢登、原田 英、梅野 淳嗣、他	消化管内科、 腎・高血圧・脳 血管内科	3重複癌を異時性に発症し、多彩な臨床徴候 を呈した、Cowden症候群の男性の1例	日本消化器病学会雑 誌 121巻6号 489-496, 2024.	Case report
4	林田仁志、眞崎 勝久、緒方英紀、 他	脳神経内科	脳表にガドリニウム増強効果を伴う単一の 皮質下白質病変で発症した多発性硬膜動 静脈瘻の1 例.	臨床神経 2024 Aug 27;64: 572-578.	Case report
5	向野隆彦	脳神経内科	側頭葉てんかんにおける記憶障害	臨床神経学 2024 Jul 27;64:453-459.	Review
6	向野隆彦、松本 航、山口高弘、他	脳神経内科	ACNS Critical Care EEG terminology 2021 を用いた神経救急脳波評価の実際.	臨床神経生理学 2024 Jun; 52(3): 216-223.	Review
7	河村 英彦、河村 圭子、加藤 聖子	産科婦人科	子宮内膜の老化・癌化とサイトカイン	別冊BIO Clinica 慢 性疾患 産婦人科領 域. 32, 13(1): 45- 49, 2024.07.28	Original Article
8	山本 俊亮、實藤 雅文、落合 正行、 他	総合周産期母 子医療セン ター(母性胎 児)	母体の職業性医療用物質曝露が新生児か らの造血器腫瘍性疾患の発症に及ぼす可 能性	日本産婦人科・新生 児血液学会誌	Original Article
9	佐藤 由佳、日高 庸博、坂井 淳彦、 他	総合周産期母 子医療セン ター(母性胎 児)	流早産既往を有する早産ハイリスク妊娠に おけるプロゲステロン膣坐剤の早産予防効 果の検証	日本周産期・新生児 医学会雑誌	Original Article
10	溝口公久、森崎 隆史、落合百合 菜 他	第一外科	当院におけるBRCA 遺伝学的検査の現状と その特徴	遺伝性腫 瘍:2024Oct:24(2):142 -146	Original Article
11	池永直樹、林昌 孝、松吉隆仁 他	第一外科	【腸内細菌叢と癌治療】腸内細菌と膵がん 治療	癌と化学療 法:2024Jun:51(6):603 -607	Letter
12	井手野昇、谷口 隆之、仲田興平 他	第一外科	【膵癌の早期発見・早期診断を目指して】膵 癌の早期発見における内視鏡技術を用い たリキッドバイオプシーの現状	消化器内視 鏡:2024May:36(5):783 -787	Letter

小計:12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
13	新垣滉大、大内田研宙、堤親範 他	第一外科	HER2 陽性進行胃癌切除後2 年で単独脳転移を呈した1 例	日本消化器外科学会雑誌:2024Jul:57(7):326-333	Case report
14	新垣滉大、宮竹英志、萱島理 他	第一外科	二次治療のnal-IRI+5FU+LVが奏効し切除した切除可能境界腺癌の1 例	日本臨床外科学会雑誌:2024Sep:85(9):1296-1304	Case report
15	新垣滉大、寺坂壮史、木村隆一郎 その他	第一外科	複数科による連携・集学的治療により救命した会陰部刺創による尿道、直腸損傷の1 例	Japanese Journal of Acute Care Surgery:2024Jun:14(1):84-88	Case report
16	津田祐希、長谷川英一、中間崇仁 他	眼科	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の眼内浸潤に メトレキサート硝子体内投与が有効であった 1 例	日本眼科学会雑誌.2024 Jul, 128(7):552-558	Case report
17	平田三知花、筒井紗季、秋山雅人	眼科	小児の涙道閉塞診療におけるCTの検討	臨床眼科.2024 Oct, 78:1227-1232	Case report
18	久保真衣、田邊美香、高木健一	眼科	甲状腺眼症における斜視残存に関連する因子の検討	眼科.2024 Aug, 66巻8号:781-788	Case report
19	K.Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	吃音の診断	JOHNS(0910-6820)40巻11号 Page1345-1347(2024.11)	Review
20	K.Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	発達障害(吃音)のある医師	医学教育(0386-9644)55巻2号 Page115-120(2024.04)	Review
21	K.Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	小児期発症流暢症(吃音)の治療的アプローチ	臨床精神医学(0300-032X)53巻6号 Page713-719(2024.06)	Review
22	K.Y	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	不登校状態から回復できた吃音高校生の1 例	耳鼻と臨床(0447-7227)70巻4号 Page240-242(2024.07)	Case report
23	K.N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頭蓋底 頸静脈孔手術のための局所解剖	耳鼻咽喉科・頭頸部外科(0914-3491)96巻5号 Page313-319(2024.04)	Review
24	M.Y,M.H,A.K,etal	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	口腔咽頭領域 血管塞栓術とNBCAの腫瘍内注入を行い輸血なく経鼻内視鏡下に摘出し得た若年性血管線維腫症例	JOHNS(0910-6820)40巻9号 Page1076-1081(2024.09)	Review

小計:12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
25	K.N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	頸静脈孔まで進展した副咽頭間隙腫瘍に対する内視鏡下経口アプローチの経験	耳鼻と臨床(0447-7227)70巻3号 Page156-159(2024.05)	Case report
26	K.N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	外耳癌診断から治療・術後管理まで 耳科手術専門医が知っておきたい技術 側頭骨垂全摘術の実際	Otology Japan(0917-2025)34巻3号 Page143-150(2024.09)	Review
27	N. T	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	男性医師からみた働き方改革とワークライフバランス	小児耳鼻咽喉科 (0919-5858) 45巻2号 Page93-96 (2024. 12)	Review
28	山下泰生, 平川和弥, 吉留郷志, 他	放射線部	深層学習に基づく仮想TOF処理がFDG-PET画像の肺・肝小腫瘍に及ぼす変化	日本放射線技術学会雑誌:2025 Jan;81(1):1-12.	Original Article
29	Seita Fukushima,Hideki Kadota,Sei Yoshida et al	形成外科	腓骨皮弁を用いた下顎骨放射線骨髄炎の治療～腓骨皮弁再建症例の移植部感染に関する検討～	日本頭蓋顎顔面外科学会誌41巻1号(2025年3月)	Original Article
30	Kenichi Kamizono,Ryo Shimamoto,Seita Fukushima et al	形成外科	遊離皮弁血流モニタリングにおける臨床的観察法の再考	日本マイクロサージャリー学会誌 第37巻第4号(2024年12月)	Original Article
31	Ohmori N, Karashima T, Hotta T,他	検査部	腹水のエステラーゼ染色が診断に有効であった顆粒球肉腫の一例	日本臨床検査医学会誌. 2024年6月; 72(6):465-468.	Case report
32	Ichinari H, Ishigaki T, Kawanobe Y, 他	検査部	AIA-パック CL プロラクチン II 試薬の性能評価	医学検査.2024年7月; 73(3):493-499.	Original Article
33	Toritani M, Kinoshita M, Yamanaka M, 他	検査部	「エスプラインHTLV- I / II」の性能評価	医学検査.2024年7月; 73(3:, 509-514.	Original Article
34	Sakemoto M, Yamanaka M, Kawanobe Y, 他	検査部	抗菌薬スルバシリンによるビューレット法血清総蛋白測定への影響	医療検査と自動化. 2024年11月; 49(5):502-507.	Original Article
35	Kinoshita M, Aoki Y, Akimoto M, 他	検査部	IgGのサブクラスによるプロゾーンの症例と対応策の考案	医学検査. 2025年1月; 174(1):169-172	Others
36	Kiyosuke M, Yokoyama R, Shimono N, 他	検査部	大学病院感染制御チームによる、微生物検査を外部委託している施設へのコンサルテーションの実践と評価	医学検査. 2025年1月; 174(1):181-186	Others

小計:12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
37	Fujino K, Yamaguchi K, Kamahara K, 他	検査部	血小板製剤の使用量予測を血液センターへ情報提供する活動	日本輸血細胞治療学会誌.2025年2月;71(1):30-36	Others
38	山田裕、木下伊寿美、小田義直 他	病理診断科・病理部	胆嚢癌に併発し偶然的に発見されたacinar cystic transformationの1例	診断病理. 2024 Apr;41(2):189-194	Case report
39	小田義直、藤也寸志	病理診断科・病理部	病理学の今	臨床と研究. 2024 Oct;101(10):1280-1290	Letter
40	宮崎浩子	病理診断科・病理部	胆管擦過・胆汁細胞診で混合型神経内分泌非神経内分泌腫瘍(MiNEN)を推定した膵頭部腫瘍の1例(原著論文)	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌	Case report
41	田中 宏治, 辻 学, 中原 真希子, 他	臨床教育研修センター	【予想外の皮膚病(意外な結末となった皮膚病)】骨髄移植後に発症した晩発性皮膚ポルフィリン症	皮膚病診療46巻10号 Page888-891(2024.10)	Case report
42	杉 悠太, 山村 和彦, 竹井 樹, 中原真希子, 他	臨床教育研修センター	特発性多中心性Castleman病に合併した難治性下腿潰瘍の1例	西日本皮膚科86巻3号 Page233-237(2024.06)	Case report
43	吉武 義泰, 吉武博美, 成松 生枝, 他	義歯補綴科	下顎骨内に迷入したインプラント体を撤去した2症例	日本口腔インプラント学会誌	Case report
44	羽野 和宏, 河野桃子, 窪田 麗 他	歯科麻酔科	てんかんを有する妊婦に対する観血的整復固定術の全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌 52(4) 190-193 2024年10月	Case report
45	廣川 惇, 一杉 岳, 横山 武志	歯科麻酔科	日常診療で陥りやすい心電図モニタリングのビットフォール(解説)	日本歯科麻酔学会雑誌(0386-5835)53巻1号 Page34-39	Others
46	羽野 和宏, 一杉 岳, 横山 武志	歯科麻酔科	マスクフィットできない小児の歯ブラシ外傷に対し鎮静下経鼻ファイバー挿管を施行した1症例	麻酔(0021-4892)74巻2号 Page100-103	Case report
47	伊藤 奈々, 武田 朴, 日向 奈恵 他	歯科麻酔科	体外式膜型人工肺(ECMO)操作におけるハンズフリーマニュアルの有効性 (Effectiveness of using of a hands-free manual for operating extracorporeal membrane oxygenation(ECMO))	医療機器学(1882-4978)95巻1号 Page2-11	Original Article
48	一杉 岳, 横山 武志	歯科麻酔科	HC/6(ハーフカートリッジ/6kg)ルール小児歯科治療における局所麻酔薬の最大推奨用量への提案(解説)	日本歯科医師会雑誌 (0047-1763)77巻11号 Page832-833	Others

小計:12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
49	岡崎裕紀、伊吹禎一、和田尚久	口腔総合診療科	有床義歯の製作における補綴前処置について学んだ1 症例	日本総合歯科学会雑誌, 16(1):18-23, 2024.10	Case report
50	友岡 祥子、水谷 慎介、田淵 裕朗、他	高齢者歯科・全身管理歯科	新型コロナウイルス感染症流行下での臨床実習が歯学部学生の高齢者に対する意識の変化に与えた影響の検討	老年歯科医学会雑誌 第39巻 第3号 p. 162-170	Original Article

小計:2件

合計:50件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン策定、自己申告、審議・勧告等の手続き、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開 (要項及び委員会内規)	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 9 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	① 随時 (e-learning) ② 年2回
・ 研修の主な内容 ① 臨床研究に従事する者を対象とした認定講習会 被験者保護のための規制の正当性と歴史、インフォームド・コンセントと被験者の権利、臨床研究における研究不正と行動規範、オーサーシップ、ICMJEガイドライン、各種論文報告ガイドライン、利益相反、研究の透明性の確保について ② トライアルマネージャー会議 自己剽窃の疑義に係る対応について、ヘルシンキ宣言の改訂について	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	564	人
-------------	-----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
赤司 浩一	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科	診療科長	31年	
北園 孝成	消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	41年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	38年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	37年	
磯部 紀子	脳神経内科	診療科長	21年	
阿部 弘太郎	循環器内科	診療科長	25年	
岡本 勇	呼吸器科	診療科長	22年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	38年	
大賀 正一	小児科	診療科長	41年	
大内田 研宙	消化管外科(1)	副診療科長	27年	
仲田 興平	胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科	副診療科長	24年	
竹中 朋祐	呼吸器外科(1)／呼吸器外科(2)	診療科長	22年	
久保 真	乳腺外科(1)／乳腺外科(2)	診療科長	34年	
大藺 慶吾	内分泌外科	副診療科長	17年	
吉住 朋晴	第二外科	診療科長	32年	
中島 康晴	整形外科 リハビリテーション科	診療科長	35年	
吉本 幸司	脳神経外科	診療科長	29年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	30年	
田尻 達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	診療科長	36年	
中原 剛士	皮膚科	診療科長	25年	
江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	40年	
中尾 智博	精神科神経科	診療科長	30年	
園田 康平	眼科	診療科長	35年	
中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	診療科長	36年	
石神 康生	放射線科	診療科長	31年	

山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	33年	
下野 信行	総合診療科	診療科長	39年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	28年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	36年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	39年	
赤星 朋比古	救急科	診療科長	31年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	31年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	36年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	35年	
西村 英紀	歯周病科	診療科長	40年	
鮎川 保則	義歯補綴科	診療科長	31年	
熱田 生	咬合補綴科	診療科長	23年	
川野 真太郎	顎口腔外科	診療科長	25年	
森山 雅文	顔面口腔外科	診療科長	21年	
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	39年	
筑井 徹	口腔画像診断科	診療科長	27年	
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	28年	
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	35年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・別紙「令和6年度 看護部研修プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 : 新任副看護師長研修、新任看護師長研修 看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長） 中間管理者研修（リーダークラスの看護師）
・研修の期間・実施回数：期間は令和6年4月～令和7年3月、実施回数は16回
・研修の参加人数 : 看護師長41名、副看護師長96名、看護師15名（合計122名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修名： 造血細胞移植推進拠点病院事業 「造血細胞移植看護 基礎研修Ⅰ・Ⅱ」
・研修日程：令和6年10月5日（土）
・参加人数：受講生118名（ライブ配信42名、アーカイブ配信76名）
・研修名 : 第6回九州・沖縄ブロック小児がん看護研修会「小児がんの基礎知識」
・研修日程：令和6年10月12日（土）
・参加人数：受講生56名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

※日時、参加人数、会場などは変更になる可能性があります。

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
1	看護部長講演	6/20	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	看護部長	60分	集合 + Web	臨床大講堂 ※後日、 オンデマンド あり	全	全看護 職員 必須	事後 入力
2	臨床看護研究発表会	11/16	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育研究推進WG 教育WG	am 0.5日	集合	臨床大講堂	全	全看護 職員 対象	
3	業務改善報告会	R7 2/1	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	1日	集合	百年講堂	全		

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切	
4	新任副看護師長研修	4/18・19	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、 中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1.5日	集合	打合せ室1		新任 副看護師 長		
5	新任看護師長研修	3/18・19	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看護 師長として必要な知識を修得し、自身が果たすべき役 割を考える		1.5日	集合	打合せ室1		新任 看護師長		
6	管理者研修1(全3回)	6/21	〈第1回〉看護管理実践計画(立案)	看護部長 副看護部長 教育委員会看護師長	150分 × 2	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C		副看護師 長		
	(目的) 看護管理者に求められる責務を 理解し、部署目標の達成を目指し て看護管理過程が達成できる能 力を養う	9/13	〈第2回〉倫理的問題の考え方	副看護部長 教育委員会看護師長 看護部倫理委員会看 護師長	120分		臨床大講堂				
	2/14	〈第3回〉看護管理実践計画(まとめ)	看護部長 副看護部長 教育委員会看護師長	150分 × 2	中央会議棟 多目的会議 室A-C						
	認定看護管理者研修 修了報告会	5/27	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力の向上を 目指す	看護部	17:00- 90分	集合	臨床大講堂	Ⅲ Ⅳ	全看護職 員		
7	管理者研修2(全3回)	6/28	〈第1回〉日本の保険医療の課題と看護政策	外部講師	120分	集合	臨床小講堂 2		看護師長	事後 入力	
	(目的) 現在の医療現場を視野に、病院 管理や看護管理の側面から問題 点を分析し、解決策の方向性を形 成する	9/30	〈第2回〉管理者が行うメンタルヘルス対策 —病気休暇・休職時の対応—	外部講師			未定				
	2/19	〈第3回〉看護管理実践報告(まとめ)	看護部長 副看護部長	13:00- 150分	外来棟5階 会議室2						
	管理実践報告	適宜	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の 運営に活かす	看護部	20分	外来棟5階 会議室2					
8	中間管理者育成研修(全8回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看護 実践に活かす	8/7	〈第1回〉九州大学病院の理念と組織形態 医療安全と医療事故発生時の対策	教育委員会	17:00- 90分	集合	北棟2階 多目的室		条件を満た す希望者 ※別途募 集 (20名)		
		9/6	〈第2回〉看護管理の実際 感染管理と病棟管理								
		10/3	〈第3回〉職員の管理・勤務管理・看護方式・人事・ 労務管理 看護職員の能力開発・人材育成								
		10/24	〈第4回〉看護者の倫理								北棟2階 共用会議室
		11/6	〈第5回〉医療保険と介護保険、医療連携 災害への対応								
		12/18	〈第6回〉診療報酬と看護【公開講座】								臨床大講堂
		1/8	〈第7回〉医療及び看護の質、個人情報保護 経営管理と看護								北棟2階 共用会議室
		1/29	〈第8回〉看護管理者に求められる資質 研修まとめ								北棟2階 多目的室

<リーダー・指導者育成>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
9	プリセプターシップ(新任)	6/28	〈第2回〉支援研修 コミュニケーションスキル	教育担当	13:00- 90分×2	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C		条件を満た し推薦され た者 * 別途 募集	
		11/1	〈第3回〉支援研修 効果的な振り返り		13:00- 90分×2					
		2/4	〈第4回〉まとめ		13:00- 60分×2					
10	プリセプターシップ (令和7年度)	3/13	〈第1回〉準備研修		13:00- 60分		臨床大講堂		R7年3月 募集	
11	臨地実習指導者研修(新任) (全5回)	6/3	〈第1回〉ガイダンス 看護基礎教育課程、実習指導の原理	実習指導者育成WG 保健学科講師	10:30- 90分	集合	臨床大講堂	Ⅱ 以上	条件を満た し推薦され た者 * 別途 募集	事後 入力
		7/3	〈第2回〉看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	13:30- 90分	集合				
		9/6	〈第3回〉カンファレンスの指導法・事例検討	保健学科講師 実習指導者育成WG	13:00- 120分	集合				
		10/4	〈第4回〉実習指導の実際・事例検討	人事交流経験者 実習指導者育成WG	13:00- 120分	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C			
		1/29	〈第5回〉まとめ	実習指導者育成WG	13:00- 60分	集合				
12	臨地実習指導者研修 (新任アドバンスコース) (全2回) ※実習指導者研修と合同開催	6/3	〈第1回〉ガイダンス 看護基礎教育課程、実習指導の原理	実習指導者育成WG 保健学科講師	10:30- 90分	集合	臨床大講堂		条件を満た し推薦され た者 * 別途 募集	
		7/3	〈第2回〉看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	13:30- 90分	集合				
13	教育担当者研修(全4回)	5/14	〈第1回〉組織の理念と人材育成 教育担当者としての役割	看護部長 教育担当副看護部長	13:00- 60分	集合	臨床小講堂 2		各部署の 教育担当者	
		6/11	〈第2回〉集合研修とOJTの連動	教育委員会			外来棟5階 会議室2			
		10/8	〈第3回〉アサーティブコミュニケーション	教育委員会						
		2/18	〈第4回〉評価、まとめ	教育委員会						
14	人工呼吸管理研修 (指導者クラス編) (全2回)	①11/8 ②1/14、 1/15	基本的な管理からベッドサイドでのケアまで人工呼吸 管理に必要な知識を理解し、看護実践や自部署での 指導に適用できる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	①0.5日 ②0.5日	Web 集合	学習段階: Ⅲ以上 15名 会場: MEセンター、ICU 受講条件: 人工呼吸管理を行う 機会のある一般病棟で、指導者 を担う看護師 ※全2回とも受講可能な者			10/7
15	輸液・シリンジポンプ指導者 (第10期)育成研修	2/5	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する知識や技術を 確認し、指導者として必要な知識・技術・態度を修得する 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用方法を指導する能力 を養う	医療機器操作強化WG	pm 0.5日	集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ 以上	40	1/6
16	輸液・シリンジポンプ指導者(第4期) 更新研修	7月	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者として必要な知識・技 術・態度を再確認する	医療機器操作強化WG		Web		該当者	未定	6/6
17	リーダーシップ発揮のための コミュニケーション	7/31	看護師に必要なリーダーシップについて能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	150分 ×2	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅲ	40 ×2	6/6
18	メンバーのやる気を引き出す コミュニケーション	12/13	看護実践や後輩の指導に必要なコミュニケーションに ついて学ぶ	外部講師	120分	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅲ	50	10/7
19	レポートの書き方	12/16	論理的な文章の書き方や構成の組み立て方について 学び、他者へ伝わるレポートが書けるようになる	福岡看護大学 教授	pm 0.5日	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ Ⅳ	50	7/5

<看護記録>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
20	看護記録の実際	11/5	看護ケアのアセスメント力の向上のために、日頃の看 護記録を振り返り、質の向上を目指す	看護部記録委員会	9:00- 180分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	40	10/7

<看護研究>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
21	看護研究 ～リサーチクエスションから わかる統計法の選択～	7/17	看護研究に取り組むにあたり、研究のタネの見つけ方 や実際に研究へ結びつけるための道筋や手法につい て学ぶ	福岡看護大学 講師	13:30- 90分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ Ⅲ	30	6/6

＜看護倫理＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
22	看護倫理の基本	9月	看護倫理について理解を深め、倫理的視点を持つ	看護部倫理委員会	60分	Web	中央会議棟 多目的会議 室A-C	全 多数可 ※看護倫理1・2を 受講する者は必須		8/6
23	看護倫理1	10/18	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理の理解を深める		80分 × 3	集合		Ⅱ	40 × 3	9/5
24	看護倫理2 <全2回>	①1/10 ②1/31	倫理カンファレンスにおけるファシリテーターの役割を理解し、カンファレンスを進めることができるようになる		各回 150分	集合		Ⅲ	40	10/7

＜専門領域＞ ※領域別・学習段階ラダー順

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
25	感染管理(指導者編)	5/24	臨床現場における実践モデルと指導者に必要なスキルを身につける 正しい感染対策を理解し、部署での実践・指導を実践する 感染対策マニュアルが活用できる	感染管理認定看護師	1600- 45分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ・Ⅳ 60名 ※部署の感染リン クナースは必須		4/11
26	糖尿病患者の理解とケア	9/20	糖尿病患者の病態と治療を理解し、患者のライフステージ、発達課題に応じた看護援助を学ぶ	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護 認定看護師	60分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	40	8/6
27	糖尿病看護 ～糖尿病の薬物療法、困っているこ とを解決しよう～	7/19	糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリスクマネジメントの視点について学び、実践モデルとなる 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるように生活 調整支援の方法を学び、部署で指導的役割を担う	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師	60分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	30	6/6
28	呼吸・循環フィジカルアセスメント の基本	8/29	フィジカルアセスメント(呼吸音、呼吸数、検脈など)を習得し、効果的な体位ドレーナージなど患者の状況に応じた適切な看護ケアの選択と実践につなげることができる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	90分 × 3	Web 集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ	20 × 3	7/5
29	家族看護 ～急性期における重症患者家族の ニーズとコーピングについて理解し よう～	12/4	重症患者に寄り添う家族の心理やニーズについて理解し、 家族が表出する感情や行動など危機に対するコーピング について学ぶ アキュラの問題解決型危機モデルについて理解し、事例 について考え、実際に活用できる	クリティカルケア 認定看護師	120分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ Ⅳ	20	11/6
30	急変対応力を磨こう！	12/6	急変時対応におけるリーダー看護師の役割について学び、 実践だけでなく、部署で教育、指導ができる	急性・重症患者看護 専門看護師 救急看護 認定看護師	180分 × 2	集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅲ 以上 15×2 ※リーダーの役割 を担う者		11/6
31	もう怖くない！ 心臓カテーテル検査前後の看護	7/5	心臓カテーテル検査前後の看護が分かり、循環器疾患患 者の異常を早期発見し、報告や必要な対処ができるよう になる	慢性心不全看護 認定看護師	13:00- 90分 × 2	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ	30 × 2	6/6
32	褥瘡に強くなるⅠ ～マットとポジショニング～	8/7	褥瘡対策の基本である“褥瘡リスクアセスメント”を理解し、 褥瘡管理に必要なケア(体圧、組織耐久性、栄養)のうち “体圧”を中心に学び、褥瘡予防ケアを充実させるための知 識や技術を習得する	皮膚排泄ケア 認定看護師	180分	Web 集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ	24	7/5
33	こうすれば防げる！ スキン・ケアと失禁関連皮膚炎 (IAD)	9/11	スキン・ケアのハイリスク患者に応じた予防ケアや発生後 の管理について知識・技術を習得する IADの発生メカニズムを理解し、予防ケアと発生後の管理 方法について知識・技術を習得する	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 150分	Web 集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ	30	8/6
34	褥瘡に強くなるⅡ ～局所ケアとMDRPU～	10/9	褥瘡の早期発見や発見時の初期対応、さらにMDRPU予防 について、正しい知識と技術を習得し、褥瘡ケアの実践力 を向上させる	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 120分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ	30	9/5
35	即実践できる浮腫のケア	9/10	浮腫に対する正しいケアが実践できるようになる 日常生活指導、圧迫療法(弾性着衣、バンテージ)	リンパ浮腫療法士	17:00- 60分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ・Ⅲ	30	8/6
36	がん看護(実践編) ～明日からの看護に活かす症状マネ ジメント～	10/16	がん患者・家族が、がんとともに生きることを支援するた めに、がん治療期の症状マネジメント(悪心・嘔吐、がん疼痛 等)の基本的な知識を習得し、実勢に活かす。	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 90分 × 2	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅱ	25 × 2	9/5
37	エンゼルケア	12/2	看取り後のご遺体の変化からエンゼルメイクまで、エンゼル ケアに求められる看護士の役割について学び、知識や技 術を習得する	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00- 60分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	20	11/6
38	認知症・せん妄看護 ～パーソン・センタード・ケアの視 点を学ぶ～	9/24	認知症・せん妄患者の行動・心理に気づき、パーソン・セン タード・ケアについて理解できる。 パーソン・センタード・ケアの視点で認知症・せん妄看護を 実践でき、部署の看護スタッフに指導することができる。	認知症看護認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅲ Ⅳ	20 × 2	8/6
39	病棟で行う疼痛管理	5/20	周術期の術後疼痛管理について理解を深め、看護実践に 活かす 薬剤の知識、疼痛のアセスメント、術前から始める疼痛管 理について学ぶ	手術看護認定看護師	13:00- 90分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ Ⅲ	30	4/11
40	小児看護 ～小児看護実践力を高めよう～ <全2回>基礎編Ⅰ、実践編Ⅱ	①7/24 ②8/21	小児のフィジカルアセスメントの観察方法について学ぶ ラダーⅢ、Ⅳを目指す看護師が小児看護の専門性を理解し 、部署内でリーダーシップを発揮し、小児看護の課題につ いて取り組んだり、指導者として関わることで、チームとし ての小児看護の質の向上を目指す	小児看護領域の 専門看護師 認定看護師	①13:00- 120分 ②13:00- 60分	Web 集合	外来棟5階 カンファレン ス室	Ⅲ・Ⅳ 12名 ※全2回とも受講 可能な者		6/6

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切	
41	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・技術を 修得し看護実践や教育・指導に 活かす	① 5/27 ② 6/24 ③ 7/22 ④ 8/26 ⑤ 9/17 ⑥ 10/28 ⑦ 11/25 ⑧ 12/23 ⑨ R6年 1/27 ⑩ 2/17 ⑪ 3/3 試験 ⑫ 3/14 修了式	1. 心不全看護	慢性心不全看護 認定看護師 慢性疾患看護 専門看護師	90分	集合	スキルトレーニング センター・ ICU・手術部 ※修了式 外来棟5階 会議室2		別途募集 あり		
		2. 褥瘡ケア	皮膚・排泄ケア 認定看護師								
		3. クリティカルケア ベーシックコース	急性・重症患者看護専門看護師 集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師 クリティカルケア認定看護師								
		4. 感染管理 ベーシックコース	感染管理認定看護師								
		5. がん薬物療法看護	がん看護専門看護師 がん化学療法看護 認定看護師								
42	院内認定看護師育成研修 アドバンスコース(感染管理) (公開講座含む全4回)	①9/27 ②10/31 ③11/26 ④2/21	感染対策活動に必要な知識と技術を活用し、看護師や多職種へ指導する能力を習得する 院内認定看護師として、自部署だけでなく部署外においても感染対策活動を推進する	感染管理認定看護師	13:30- 90分	集合	北棟2階 多目的室		5名 感染管理領域 院内認定看護師のうち 要件を満たす者		
43	院内認定 看護師 フォロー アップ	糖尿病ケア(全2回) ※【公開研修】 ラダーⅣを目指す者	①6/17 ②1/20	院内認定看護師が、資格取得後も糖尿病に関する最新の知識と技術を習得できる 糖尿病内科の医師等多職種で意見交換し症例検討を行うことにより、支援に難渋する症例に対応できる支援方法を考えることができる	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師 糖尿病専門医など	17:00- 60分	集合	北棟2階 多目的室		20	
		褥瘡ケア	8/6	最近の情報など褥瘡ケアに関する知識をアップデートし、更なる褥瘡ケアの実践能力の維持・向上を図る	皮膚・排泄ケア 認定看護師	17:00- 90分	集合	スキルトレーニング センター		24	7/5
		感染管理	11/11	院内認定看護師として自部署の課題解決に向けた活動を推進し、感染管理の実践能力の維持・向上を図る	感染管理認定看護師	17:00- 45分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	院内 認定 看護師	50	10/7
		がん看護 ※緩和ケアリンク ナースも受講可	1/24	がん看護院内認定看護師に必要な、緩和ケアの実践能力の維持・向上を図る 部署で看護を提供するために必要な最新知識を習得し活用できる	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00- 60分	集合	臨床小講堂 2		50	12/5
		がん薬物療法看護 (全4回)	①5/21 ②7/16 ③11/19 ④2/18	がん薬物療法看護の自部署における課題を抽出し、計画的に解決へ向けた取り組みを実践する	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00- 60分	集合	北棟2階 多目的室		13	

＜静脈注射認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
44	静脈注射認定看護師育成研修	6/5	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 副看護部長 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG	講義 1日 演習 90分 試験 60分	集合	臨床大講堂 スキルトレーニング センター 臨床小講堂 2	2年目以上の 該当者 (新人看護職員は 別途開催)	5/8	
		6/6								
		6/19								

＜緩和ケアリンクナース育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
45	緩和ケアリンクナース育成研修	11/27	緩和ケアを必要としている患者ががんと診断された時から、質の高い緩和ケアの提供ができるよう「意思決定支援」「苦痛緩和」「専門家への橋渡し・連携」を中心に看護師の実践能力を向上させる	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 180分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	15	10/7

＜看護助手研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
46	看護助手研修	5/29	＜第1回＞診療報酬上求められる基礎知識	業務委員会 業務WG	120分×2	集合	外来棟5階 会議室2		看護助手	なし
		6/17	＜第2回＞移乗・移送		120分×2		臨床大講堂 スキルトレーニング センター			
		11/6	＜第3回＞コミュニケーションと感染対策		120分×2		外来棟5階 会議室2			
		2/6	＜第4回＞未定		120分×2		未定			
	夜勤看護助手研修	5/29	診療報酬上求められる基礎知識		16:00- 90分	Web			夜勤看護助手	
		11月	コミュニケーションと感染対策			Web				

令和6年度 看護部教育プログラム

＜全看護職員研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
1	看護部長講演	6/20	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	看護部長	60分	集合 +Web	臨床大講堂	全看護 職員 対象		1217
2	臨床看護研究発表会	11/16	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育研究推進WG 教育WG	am 0.5日	集合	臨床大講堂			654
3	業務改善報告会	R7 2/1	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	1日	集合	百年講堂			345

＜管理者研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
4	新任副看護師長研修	4/18・19	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1.5日	集合	打合せ室1	新任 副看護師長		13
5	新任看護師長研修	3/18・19	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看護師長として必要な知識を修得し、自身が果たすべき役割を考える		1.5日	集合	打合せ室1	新任 看護師長		4
6	管理者研修1(全3回)	6/19	＜第1回＞看護管理実践計画(立案)	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	150分 × 2	集合	第2薬局棟2 階 大会議室B	副看護師長		96
	(目的) 看護管理者に求められる責務を理解し、部署目標の達成を目指して看護管理過程が達成できる能力を養う	9/13	＜第2回＞講演(仮)	外部講師	120分		臨床大講堂			96
		2/14	＜第3回＞看護管理実践計画(まとめ)	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	150分 × 2		中央会議棟 多目的会議 室A-C			96
	認定看護管理者研修 修了報告会	5/27	研修で学んだ知識を共有し、看護管理能力の向上を目指す	看護部	17:00- 90分	集合 +Web	臨床大講堂	全看護職員		198
7	管理者研修2(全3回)	6/28	＜第1回＞講演(仮)	外部講師	120分	集合	臨床小講堂 2	看護師長		41
	(目的) 現在の医療現場を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題点を分析し、解決策の方向性を形成する	10/11	＜第2回＞講演(仮)	外部講師			外来棟5階 会議室2			41
		2/19	＜第3回＞看護管理実践報告(まとめ)	看護部長 副看護部長	13:00- 150分		外来棟5階 会議室2			40
	管理実践報告	適宜	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の運営に活かす	看護部	20分		外来棟5階 会議室2			41
8	中間管理者育成研修(全8回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看護実践に活かす	8/7	＜第1回＞九州大学病院の理念と組織形態 医療安全と医療事故発生時の対応	教育委員会	17:00- 90分	集合	北棟2階 多目的室	条件を満たす15名		15
		9/6	＜第2回＞人事・労務管理、看護管理の実際 職員の管理・勤務管理・看護方式							15
		10/3	＜第3回＞看護職員の能力開発・人材育成 感染管理と病棟管理							15
		10/24	＜第4回＞看護者の倫理							15
		11/6	＜第5回＞医療保険と介護保険、医療連携 災害への対応				北棟2階 共用会議室			15
		12/18	＜第6回＞診療報酬と看護【公開講座】				臨床大講堂			15
		1/8	＜第7回＞医療及び看護の質、個人情報保護 経営管理と看護				北棟2階 共用会議室			15
		1/29	＜第8回＞看護管理者に求められる資質 研修まとめ				北棟2階 多目的室			15

令和6年度 看護部教育プログラム

＜リーダー・指導者育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
9	プリセプターシップ(新任)	6/28	〈第2回〉支援研修	教育担当	13:00-90分×2	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	条件を満たし推薦された者		60
		11/1	〈第3回〉支援研修		13:00-90分×2					62
		2/4	〈第4回〉まとめ		13:00-60分×2					61
10	プリセプターシップ (令和7年度)	3/13	〈第1回〉準備研修		13:00-60分		臨床大講堂	条件を満たし推薦された者		72
11	臨地実習指導者研修(新任) (全5回)	6/3	〈第1回〉ガイダンス 看護基礎教育課程、実習指導の原理	実習指導者育成WG 保健学科講師	90分	集合	臨床大講堂	新任実習指導者		44
		7/3	〈第2回〉看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	90分	集合				40
		9/6	〈第3回〉カンファレンスの指導法・事例検討	保健学科講師 実習指導者育成WG	120分	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C			44
		10/4	〈第4回〉実習指導の実際・事例検討	人事交流経験者 実習指導者育成WG	120分	集合				42
		1/29	〈第5回〉まとめ	実習指導者育成WG	13:00-60分	集合				42
12	臨地実習指導者研修 (新任アドバンスコース) (全2回) ※実習指導者研修と合同開催	6/3	〈第1回〉ガイダンス 看護基礎教育課程、実習指導の原理	実習指導者育成WG 保健学科講師	90分	集合	臨床大講堂	育成対象看護師		19
		7/3	〈第2回〉看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	90分	集合				19
13	教育担当者研修(全4回)	5/14	〈第1回〉組織の理念と人材育成 教育担当者としての役割	看護部長 教育担当副看護部長	13:00-60分	集合	臨床小講堂2	教育WG		45
		6/11	〈第2回〉集合研修とOJTの連動	教育委員会			外来棟5階 会議室2			43
		10/8	〈第3回〉アサーティブコミュニケーション	教育委員会						46
		2/18	〈第4回〉評価、まとめ	教育委員会						中央会議棟 多目的会議 室A-C
14	人工呼吸管理研修 (指導者クラス編) (全2回)	①11/8 ②1月 中旬	基本的な管理からベッドサイドでのケアまで人工呼吸管理に必要な知識を理解し、看護実践や自部署での指導に適用できる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	①0.5日 ②0.5日	Web 集合	学習段階:Ⅲ以上 15名 会場:MEセンター、ICU 受講条件:人工呼吸管理を行う 機会のある一般病棟で、指導者 を担う看護師 ※全2回とも受講可能な者			9
15	輸液・シリンジポンプ指導者 (第10期)育成研修	2/5	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する知識や技術を 確認し、指導者として必要な知識・技術・態度を修得する 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用方法を指導する能力 を養う	医療機器操作強化WG	pm 0.5日	集合	スキルトレーニング センター	該当者	40	42
16	輸液・シリンジポンプ指導者(第4期) 更新研修	7月	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者として必要な知識・技 術・態度を再確認する	医療機器操作強化WG		Web		該当者	14	14
17	リーダーシップ発揮のための コミュニケーション	7/31	看護師に必要なリーダーシップについて能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	150分 ×2	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅲ	40 ×2	77
18	メンバーのやる気を引き出す コミュニケーション	12/13	看護実践や後輩の指導に必要なコミュニケーションに ついて学ぶ	コーチングルーム代表	120分	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅲ	50	68
19	レポートの書き方	12/16	論理的な文章の書き方や構成の組み立て方について 学び、他者へ伝わるレポートが書けるようになる	福岡看護大学 教授	pm 0.5日	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ Ⅳ	50	42

＜看護記録＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
20	看護記録の実際	11/5	看護ケアのアセスメント力の向上のために、日頃の看 護記録を振り返り、質の向上を目指す	看護部記録委員会	9:00- 180分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	40	41

＜看護研究＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
21	看護研究 ～リサーチクエスチョンから わかる統計法の選択～	7/17	看護研究に取り組むにあたり、研究のタネの見つけ方 や実際に研究へ結びつけるための道筋や手法につい て学ぶ	福岡看護大学 講師	13:30- 90分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ Ⅲ	30	30

令和6年度 看護部教育プログラム

＜看護倫理＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
22	看護倫理の基本	9月	看護倫理について理解を深め、倫理的視点を持つ	看護部倫理委員会	60分	Web	中央会議棟 多目的会議 室A・C	全 多数可 ※看護倫理1・2を 受講する者は必須		492
23	看護倫理1	10/18	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理の理 解を深める		80分 × 3	集合		Ⅱ	40 × 3	115
24	看護倫理2 <全2回>	①1/10 ②1/31	倫理カンファレンスにおけるファシリテーターの役割を 理解し、カンファレンスを進めることができるようになる		各回 150分	集合		Ⅲ	40	68

＜専門領域＞ ※日付順

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
25	病棟で行う疼痛管理	5/20	周術期の術後疼痛管理について理解を深め、看護実践に 活かす 薬剤の知識、疼痛のアセスメント、術前から始める疼痛管 理について学ぶ	手術看護認定看護師	13:00- 90分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ Ⅲ	30	44
26	感染管理(指導者編)	5/24	臨床現場における実践モデルと指導者に必要なスキルを 身につける 正しい感染対策を理解し、部署での実践・指導を実践する 感染対策マニュアルが活用できる	感染管理認定看護師	1600- 45分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ・Ⅳ 60名 ※部署の感染リン クナースは必須		54
27	もう怖くない！ 心臓カテーテル検査前後の看護	7/5	心臓カテーテル検査前後の看護が分かり、循環器疾患患 者の異常を早期発見し、報告や必要な対処ができるように なる	慢性心不全看護 認定看護師	13:00- 90分 × 2	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ	30 × 2	44
28	糖尿病看護 ～糖尿病の薬物療法、困っているこ とを解決しよう～	7/19	糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリスクマネジ メントの視点について学び、実践モデルとなる 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるように生活 調整支援の方法を学び、部署で指導的役割を担う	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師	60分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	30	23
29	小児看護 ～小児看護実践力を高めよう～ <全2回>基礎編Ⅰ、実践編Ⅱ	①7/24 ②8/21	小児のフィジカルアセスメントの観察方法について学ぶ ラダーⅢ、Ⅳを目指す看護師が小児看護の専門性を理解 し、部署内でリーダーシップを発揮し、小児看護の課題につ いて取り組んだり、指導者として関わること、チームとして の小児看護の質の向上を目指す	小児看護領域の 専門看護師 認定看護師	①13:00- 120分 ②13:00- 60分	Web 集合	外来棟5階 カンファレン ス室	Ⅲ・Ⅳ 12名 ※全2回とも受講 可能な者		11
30	褥瘡に強くなるⅠ ～マットとポジショニング～	8/7	褥瘡対策の基本である“褥瘡リスクアセスメント”を理解し、 褥瘡管理に必要なケア(体圧、組織耐久性、栄養)のうち “体圧”を中心に学び、褥瘡予防ケアを充実させるための知識 や技術を習得する	皮膚排泄ケア 認定看護師	180分	Web 集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ	24	45
31	呼吸・循環フィジカルアセスメント の基本	8/29	フィジカルアセスメント(呼吸音、呼吸数、検脈など)を習得し、 効果的な体位ドレーナージなど患者の状況に応じた適切 な看護ケアの選択と実践につなげることができる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	90分 × 3	Web 集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ	20 × 3	58
32	即実践できる浮腫のケア	9/10	浮腫に対する正しいケアが実践できるようになる 日常生活指導、圧迫療法(弾性着衣、バンテージ)	リンパ浮腫療法士	17:00- 60分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ・Ⅲ	30	37
33	こうすれば防げる！ スキン・ケアと失禁関連皮膚炎 (IAD)	9/11	スキン・ケアのハイリスク患者に応じた予防ケアや発生後 の管理について知識・技術を習得する IADの発生メカニズムを理解し、予防ケアと発生後の管理 方法について知識・技術を習得する	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 150分	Web 集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅱ	30	31
34	糖尿病患者の理解とケア	9/20	糖尿病患者の病態と治療を理解し、患者のライフステー ジ、発達課題に応じた看護援助を学ぶ	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護 認定看護師	60分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	40	36
35	認知症・せん妄看護 ～パーソン・センタード・ケアの視 点を学ぶ～	9/24	認知症・せん妄患者の行動・心理に気づき、パーソン・セン タード・ケアについて理解できる。 パーソン・センタード・ケアの視点で認知症・せん妄看護を 実践でき、部署の看護スタッフに指導することができる。	認知症看護認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅲ Ⅳ	20 × 2	37
36	褥瘡に強くなるⅡ ～局所ケアとMDRPU～	10/9	褥瘡の早期発見や発見時の初期対応、さらにMDRPU予防 について、正しい知識と技術を習得し、褥瘡ケアの実践力 を向上させる	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 120分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ	30	45
37	がん看護(実践編) ～明日からの看護に活かす症状マネ ジメント～	10/16	がん患者・家族が、がんとともに生きることを支援するため に、がん治療期の症状マネジメント(悪心・嘔吐、がん疼痛 等)の基本的な知識を習得し、実勢に活かす。	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 90分 × 2	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室A・C	Ⅱ	25 × 2	30
38	エンゼルケア	12/2	看取り後のご遺体の変化からエンゼルメイクまで、エンゼル ケアに求められる看護師の役割について学び、知識や技 術を習得する	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00- 60分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅱ	20	54
39	家族看護 ～急性期における重症患者家族の ニーズとコーピングについて理解し よう～	12/4	重症患者に寄り添う家族の心理やニーズについて理解し、 家族が表出する感情や行動など危機に対するコーピング について学ぶ アギユララの問題解決型危機モデルについて理解し、事例 について考え、実際に活用できる	クリティカルケア 認定看護師	120分	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ Ⅳ	20	38
40	急変対応力を磨こう！	12/6	急変時対応におけるリーダー看護師の役割について学び、 実践だけでなく、部署で教育、指導ができる	急性・重症患者看護 専門看護師 救急看護 認定看護師	180分 × 2	集合	スキルトレーニ ングセンター	Ⅲ以上 15×2 ※リーダーの役割 を担う者		15

令和6年度 看護部教育プログラム

＜院内認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
41	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・技術を 修得し看護実践や教育・指導に 活かす	① 5/27	1. 心不全看護	慢性心不全看護 認定看護師 慢性疾患看護 専門看護師	90分	集合	スキルトレーニング センター・ ICU・手術部 ※修了式 外来棟5階 会議室2	別途募集 あり		5
		② 6/24								
		③ 7/22								
		④ 8/26	2. 褥瘡ケア	皮膚・排泄ケア 認定看護師						6
		⑤ 9/17								
42	院内認定 看護師 フォロー アップ	⑥ 10/28	3. クリティカルケア ベーシックコース	急性・重症患者看護専門看護師 集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師 クリティカルケア認定看護師	17:00- 60分	集合	北棟2階 多目的室	院内 認定 看護師		4
		⑦ 11/25								
		⑧ 12/23								
		⑨ R6年 1/27	4. 感染管理 ベーシックコース	感染管理認定看護師						6
		⑩ 2/17								
43	院内認定 看護師 フォロー アップ	⑪ 3/3 試験 ⑫ 3/14 修了式	5. がん薬物療法看護	がん看護専門看護師 がん化学療法看護 認定看護師	17:00- 60分	集合	北棟2階 多目的室	院内 認定 看護師		7
44	院内認定 看護師 フォロー アップ	①6/17 ②1/20	院内認定看護師が、資格取得後も糖尿病に関する最新の 知識と技術を習得できる 糖尿病内科の医師等多職種で意見交換し症例検討を行う ことにより、支援に難渋する症例に対応できる支援方法を 考えることができる	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師 糖尿病専門医など	17:00- 90分	集合	スキルレーン グセンター	院内 認定 看護師		24
		8/6	最近の情報など褥瘡ケアに関する知識をアップデートし、 更なる褥瘡ケアの実践能力の維持・向上を図る	皮膚・排泄ケア 認定看護師						21
		11/11	院内認定看護師として自部署の課題解決に向けた活動を 推進し、感染管理の実践能力の維持・向上を図る	感染管理認定看護師			中央会議棟 多目的会議 室B・C			40
		1/24	がん看護院内認定看護師に必要な、緩和ケアの実践能力 の維持・向上を図る 部署で看護を提供するために必要な最新知識を習得し活 用できる	がん看護領域 専門・認定看護師			臨床小講堂 2			32
		①5/21 ②7/16 ③11/19 ④2/18	がん薬物療法看護の自部署における課題を抽出し、計画 的に解決へ向けた取り組みを実践する	がん看護領域 専門・認定看護師			北棟2階 多目的室			9

＜静脈注射認定看護師育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
43	静脈注射認定看護師育成研修	6/5	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術 を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 副看護部長 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG	講義 1日	集合	臨床大講堂	2年目以上の 該当者 (新人看護職員は 別途開催)		36
		6/6			演習 90分		スキルレーン グセンター			36
		6/19			試験 60分		臨床小講堂 2			47

＜緩和ケアリンクナース育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
44	緩和ケアリンクナース育成研修	11/27	緩和ケアを必要としている患者ががんと診断された時 から、質の高い緩和ケアの提供ができるよう「意思決定支援」 「苦痛緩和」「専門家への橋渡し・連携」を中心に看護師の 実践能力を向上させる	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 180分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	15	13

＜看護助手研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
45	看護助手研修	5/29	＜第1回＞診療報酬上求められる基礎知識	業務委員会 業務WG	120分×2	集合	外来棟5階 会議室2	看護助手		74
		6/17	＜第2回＞安全な患者移送方法について		120分×2		臨床大講堂 スキルレーン グセンター			73
		11/6	＜第3回＞認知症高齢者のかかわり方 環境整備における感染対策		120分×2		外来棟5階 会議室2			61
		2/6	＜第4回＞全身清拭・おむつ交換、寝衣交換		120分×2		スキルレーン グセンター			70
		6月	診療報酬上求められる基礎知識		16:00- 90分	WEB		夜勤看護助手		38
		11月	認知症高齢者のかかわり方 環境整備における感染管理		16:00- 90分					43

令和6年度 看護部教育プログラム

＜新人看護職員研修＞

※緑色はOJTにて実施

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)			
46	4/1	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	百年講堂	180			
			配置部署発表・看護師長紹介	看護部						
47	4/2	看護部新採用者入職時研修	看護部概要・新採用者に望むこと	看護部長	60分	臨床大講堂	179			
			職業人としての責務	総務担当副看護部長	30分					
			看護部の教育体制と新人看護職員教育計画PNSについて	教育担当副看護部長	45分					
			看護業務について 外部委託業務(リネン関係・清掃等)	業務担当副看護部長	40分					
			看護職員の福利厚生等について	質・経営担当副看護部長	15分					
			職員の服務等について	総務課職員係	30分					
			人事給与制度と手続きについて	総務課人事係						
			給与・共済(医療保険および年金等)の手続き	総務課給与係						
			保険診療と看護師の関わりについて	患者サービス課	20分					
			自部署のPNSについて	各部署の看護の質向上WGなど	20分	各部署				
			看護記録について	各部署の記録委員など	30分					
			クリティカルパスについて	各部署のCP委員など	30分					
			47	4/3	看護部新採用者入職時研修	【中央診療部門等の紹介】 手術部、医療器材サプライセンター、集中治療部、救命救急センター(救命ICU・ハイケア)、周術期支援センター、医療連携センター、放射線部・光学医療診療部、総合外来、歯科外来、褥瘡対策室、移植対策室	教育担当看護師長	60分	臨床大講堂	179
						リハビリテーション部の紹介	リハビリテーション部	20分		
栄養管理室の紹介	栄養管理室	20分								
検査部の紹介	検査部	40分								
薬剤部の紹介	薬剤部	20分								
医療情報システムと看護支援システムについて	情報担当看護師長	30分								
新人看護職員教育プログラム ナーシングスキルについて	教育担当看護師長	60分								
病院内見学	各部署の教育WGなど	90分				各部署				
47	4/4	看護部新採用者入職時研修	目標管理	総務担当副看護部長	20分	臨床大講堂	179			
			医療安全 (誤薬防止手順、患者誤認防止、転倒転落防止)	医療安全看護部委員会	60分					
			麻薬等の管理について	医薬品安全管理専門員会	15分					
			仕事とココロのケア	職員健康管理センター	30分					
			患者対応の基本	看護部	20分					
			現場に出る前に	看護部長	60分					
48		看護実践研修1・2 (講義)	接遇	質担当副看護部長	60分	臨床大講堂	178			
			感染対策の基本	感染管理認定看護師	60分					
			血糖測定とインスリン療法	糖尿病看護認定看護師	60分					
48	4/5・8	看護実践研修1・2 (演習)	感染管理1(手指衛生・PPE・ 針刺し防止・血糖測定・インスリン注射)	感染管理認定看護師 院内認定看護師	130分	スキルトレーニングセンター	178			
			電算研修	記録委員会	130分					
			輸液管理	教育WG	130分					

令和6年度 看護部教育プログラム

※緑色はOJTまたはWEBにて実施

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
49	4-5月	移乗・移送の技術	車椅子、ストレッチャーへの移乗や移送の方法について、安全に実施できるよう知識と技術を習得する	教育担当者 他	OJT	所属部署	144
50	4/22	1ヵ月フォローアップ研修	看護職として、心身ともに健康に過ごすためのセルフメンテナンスができるようになる 社会人基礎力を上手に使い、周囲と円滑なコミュニケーションがとれるようになる	職員健康管理センター 教育担当	120分	中央会議棟 多目的会議室A-C	144
51	5/10	医療安全 薬剤の基礎知識	医療現場で使用している薬剤の基礎知識や医薬品の管理について理解する 特に注意すべき薬剤について知り、注意すべき理由が分かる	医療安全管理部 薬剤部	13:00-60分	臨床大講堂	144
52	5/30・31	フィジカルアセスメント1 「呼吸の観察と酸素療法」 看護実践研修3 「口腔内・鼻腔内吸引、 気管吸引」	呼吸の観察ポイントを理解し、酸素療法や口腔内・鼻腔内吸引、気管吸引を安全に適切に実施するための知識・技術を習得する	急性・重症患者看護専門看護師 院内認定看護師(クリティカルケア、呼吸ケア)	100分	スキルトレーニングセンター	141
53	6月	重症度、医療・看護 必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施するための基礎的知識や方法を習得する	業務委員会 業務WG	WEB	所属部署	178
54	6/14	3ヵ月フォローアップ研修	入職後3ヵ月を振り返り、悩みや不安を話し合い 情報共有し、問題解決の方法を考える	職員健康管理センター 教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	140
55	6/26	フォローアップ研修 (既卒者)	入職後3ヵ月を振り返り、悩みや不安を話し合い 情報共有し、問題解決の方法を考える	職員健康管理センター 教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室B・C	35
56	6/25	看護実践研修4 「口腔ケア」	口腔ケア支援の方法を知り、適切で安全な口腔ケアの基本的知識・技術を習得する	摂食・嚥下障害看護認定看護師 摂食嚥下訓練及び口腔ケア 担当看護師	70分	スキルトレーニングセンター	141
57	7/10・11・12	看護実践研修5 「静脈血採血」	看護実践において必要な知識・看護技術を身につけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	120分	スキルトレーニングセンター	139
58	7月	フィジカルアセスメント2 「心電図の基本と危険な 不整脈」	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を習得し、看護実践に適用する	救急看護認定看護師	WEB	自己学習	143
59	8/8・9	クリティカルケア研修1 「心肺蘇生法： 一次救命処置」	シミュレーション学習を通して、一次救命処置(BLS)の知識・技術を習得する	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師(クリティカルケア)	100分	スキルトレーニングセンター	137
60	8月 後半	スキンケアの基礎	スキンケアの基本を学び、最新ですぐに実践できる 予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師(褥瘡ケア) 部署の褥瘡担当看護師	OJT	所属部署	137
61	9/3・4・5	看護実践研修6 「尿道留置カテーテル挿入・導尿」	尿道留置カテーテルの挿入・管理、導尿を安全に実施するための基本的知識・技術を習得する	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理) 感染管理担当	130分	スキルトレーニングセンター	135
62	10/2	6ヵ月フォローアップ研修	入職後6ヵ月を振り返り情報共有し、今後の目標を考える インシデントが起こりやすい状況を知り、具体的な 事故防止対策が実践できる	職員健康管理センター 教育担当 医療安全担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	137
63	10/21・22・23	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	120分	スキルトレーニングセンター	136
64	10/25	フォローアップ研修 (既卒者)	入職後6ヵ月を振り返り、悩みや不安を話し合い 情報共有し、問題解決の方法を考える	職員健康管理センター 教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室B・C	33
65	10-12月 OJT	医療安全・感染管理 (CVC管理)	CVCの安全な管理について知識を得る 血流感染予防の学習を通して、CVC留置中の管理における基礎知識やCVCドレッシング交換の正しい手技を習得する	院内認定看護師(感染管理) 部署の感染管理担当看護師 教育WG	OJT	所属部署	134
66	12/5	既卒看護職員研修 「糖尿病看護」	九州大学病院における糖尿病看護の基本的知識、糖尿病患者を理解することで実践力の向上を図る	慢性疾患看護専門看護師 糖尿病看護認定看護師	90分	スキルトレーニングセンター	20
67	12/5	既卒看護職員研修 「スキンケア」	九州大学病院における褥瘡ケア領域の基本的知識、ケアの方法を習得することで実践力の向上を図る	皮膚・排泄ケア認定看護師 院内認定看護師(褥瘡ケア領域)	90分	スキルトレーニングセンター	19
68	1/8・9	看護実践研修7 「静脈注射認定看護師 育成研修」	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	手術部医師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 静脈注射認定看護師育成WG	1日	臨床大講堂	136
	1/20・21			薬剤師 教育WG	90分 (演習)	スキルトレーニングセンター	134
	1/23				60分 (試験)	臨床小講堂 臨床大講堂	144
69	2/12	12ヵ月フォローアップ	入職後1年を振り返り、情報共有する 自己の課題を明確にし次年度の目標を考える、また後輩を受け入れる心構えを持つ	職員健康管理センター 教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	132

令和6年度 看護部教育プログラム

70	1年以内に OJT	輸液ポンプ・シリンジポンプ の使用法	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作方法が安全かつ正確に実施できるように知識と技術を習得する	輸液・シリンジポンプ指導者	OJT	所属部署	144
71		看護補助者との更なる 協働のために(全10回)	「看護補助体制充実加算」をふまえ、看護補助者との役割分担や看護師の指示責任まで、看護職と看護補助者がチームとして安全で質の高いケアができるよう学ぶ	eラーニング	Web	所属部署	141

令和6年度 看護部教育プログラム

＜新卒2年目看護職員研修＞

※緑色はWEBまたはOJTにて実施

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
72	5/15	医療安全	インシデント事例を振り返り、事故防止のための具体策を考えることができるようになる	医療安全担当副看護師長	90分 × 4	スキルトレーニングセンター	130
73	5月	がん看護(基礎編1) ～がん医療の基礎知識～	がん対策推進基本計画について学び、がん診療連携拠点病院における看護師の役割について考えることができる	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師		WEB	131
74	10/29 ・30	クリティカルケア研修2 「急変時の対応」	シミュレーションを通して、急変兆候への気づき、急変時の対応に必要な知識・技術を習得する	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域)	120分 × 6	スキルトレーニングセンター	131
75	2/7	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、実践から学ぶ方法を習得する	認定看護管理者 教育委員会	90分 × 2	中央会議棟 多目的会議室 A-C	130
76	9月以降	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1～2日	ICU 救命ICU 手術部 各部署	131

＜新卒3年目看護職員研修＞

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
77	6/7	感染管理(実践編) ～正しい知識で院内感染を防ごう！～	感染対策マニュアルを活用し、正しい感染対策が実践できる 新人看護職員に対し正しい知識を持って指導ができる 感染対策に関する院内ルールを知る	感染管理担当 感染管理認定看護師	90分 × 2	中央会議棟 多目的会議室 A-C	96
78	8/2	医療安全	医療安全の考え方について学ぶ 本質を理解し、医療安全の視点を持って日々の看護実践ができる	医療安全管理部	17:00- 90分	臨床大講堂	93
79	9/18	がん看護(基礎編2) ～知っておきたいがん治療と看護のいろは～	がん患者がたどる経過やがん治療の特徴、副作用、症状、療養の場の特性を理解し、看護実践に活かすための基礎知識を得る	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師	13:00- 90分 × 2	WEB + 集合 (中央会議棟 多目的会議)	93
80	10/10	キャリア開発	なりたい自分に向かってまなぶ 将来のビジョンを描く	外部講師	17:00- 90分	臨床大講堂	92
81	1/15・ 16	クリティカルケア研修3 「急変の兆候を見逃さない！フィジカルアセスメント」	シミュレーションを通して、意識的に観察する方法について学び、急変する前に患者の異常に気づき、的確に対応できるようになる	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師 (救急看護領域)	90分	スキルトレーニングセンター	92

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 中村 雅史
管理担当者氏名	各診療科長、放射線部長・診療録管理室長：石神康生、薬剤部長：内田まやこ、総務課長：井上美穂、医療連携センター長：中川尚志、医療管理課長：川勝美樹、患者サービス課長：吉松勝

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	年度ごとに電子媒体及びファイルにおいて管理している。
		各科診療日誌	病棟	各病棟で管理している
		処方せん	薬剤部	・診療に関する諸記録は、平成25年1月以降、全て電磁的記録として無期限保存である。 ・平成24年12月以前の診療に関する諸記録で紙であるものは本学で定められた保存期間10年未満は診療録管理室において中央管理し、保存期間満了時は原則廃棄とする。なお、病院外への持ち出しは禁止としている。 ※電磁的記録は電子媒体保存、紙媒体は診療録管理室管理
		手術記録	※	
		看護記録	※	
		検査所見記録	※	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	※	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	※	月初ごとの帳簿を電子媒体において管理している。
		従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	患者サービス課	年度ごとに電子媒体において管理している。
	規則第一條の十一に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課	年度ごとに電子媒体及びファイルにおいて管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課	年度ごとに電子媒体及びファイルにおいて管理している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課	
		監査委員会の設置状況	医療管理課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療管理課	
		職員研修の実施状況	総務課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課	
		管理者が有する権限に関する状況	医療管理課	電子媒体において管理している。
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 加藤 善一
閲覧担当者氏名	総務課長 井上 美穂
閲覧の求めに応じる場所	総務課
<p>閲覧の手続の概要 九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。</p> <p>【開示請求できる文書】 九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で役員又は職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。 ただし、書籍等の市販物や、内閣総理大臣の指定を受けている九州大学附属図書館が保有する歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料として特別の管理がされているものは開示請求の対象から除く。</p> <p>【不開示となる文書】 開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。</p> <p>【開示・不開示決定の通知】 法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。</p> <p>【開示請求手数料、開示実施手数料】 ○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円 ○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。</p> <p>【開示請求方法】 法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学法人文書監理室に提出する(郵送可)。</p>	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延	0	件
閲 覧 者 別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ 有 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること (2) 医療安全管理マニュアルに関すること (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録及び看護記録等に関すること (7) 医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること (9) 医療安全管理部の業務に関すること (10) 医療事故調査に関すること (11) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	7回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で質の高い医療の提供について ・ 当院の医療安全対策について ・ 2023年度に発生した事例から学ぶ医療安全 ・ 紛争リスクの高いインシデント事例への対応について ・ B型肝炎再活性化対策 ・ せん妄予防対策 ・ 暴言・暴力等の対応・対策について ・ インフォームド・コンセントに関する注意とお願い 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ 有 ）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

院内報告制度においては影響度分類レベルを0-5まで8段階（3、4は夫々a、bの別有り）に分類して報告を義務づけている（報告書類は電子システムによる）。特に3b以上のものについては医療安全管理部への口頭での報告を義務付けており、臨床試験の対象者であった場合には、ARO次世代医療センターへも報告している。収集した情報を基に、インシデント・事故を分析し、以下のような対策を実施した。

○インシデント情報の発信

報告されたインシデント事例から特に警鐘を促すべき内容について、毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している。

○安全パトロールによる病院共通ルール遵守状況の確認

○リスクマネージャーを対象とした研修会の開催

○医療安全管理マニュアルとホームページの改正

○「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果の院内ホームページへの掲載

○再活性化B型肝炎発生予防ワーキンググループ活動、B型肝炎ワクチン接種（定期接種）を考慮したスクリーニングの更新と周知

○生体情報モニターアラーム対策ワーキンググループ活動を通じたアラーム対策の推進、職員教育・指導

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>平成19年7月に制定した「九州大学病院における院内感染対策のための指針」の主な内容は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策のための措置に関すること。 2. 院内感染防止対策に係る職員の研修及び教育に関すること。 3. 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 4. グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 5. その他院内感染防止対策に関すること。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	6 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>感染対策と抗菌薬適正使用 ASTによる抗菌薬適正使用支援 症例で考えるアンチバイオグラムと薬剤感受性検査の活用 2023年度サーベイランス報告（エピネット、VAP、SSI、BSI） 感染対策を中心とした結核のまとめ</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導 感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導 アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入 ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認 経路別予防策の指導・教育 手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認 ベストプラクティスの作成、遵守状況確認 抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例、周術期における予防的抗菌薬のモニタリング、クリティカルパスの見直し） 感染症予防のためのワクチン接種の推進 血液培養複数セット採取率 新型コロナウイルス感染症対策の教育 針刺し・切創、血液体液曝露防止対策の教育</p>	

サーベイランス（BSI、VAP、UTI、SSI）

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年20回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 令和6年度は全体研修会を1回、採用者研修会を4回、職種別研修会を15回実施。 <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の適正使用について 医薬品の安全使用について（新採用者、中途採用者合同研修） 医薬品の管理・薬剤の基礎知識（看護部新採用者入職時研修） 薬剤のオーダ演習 等 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 （有） 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 （有） 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 未承認：事例なし 適応外：高用量のカリウム投与、Marshall 静脈に対する化学的アブレーション治療（無水エタノール（院内製剤使用）、硫酸マグネシウムを添付文書と異なる適応等 禁忌：特筆すべき事例なし その他の改善のための方策の主な内容： 薬剤師による疑義照会を月1回全体周知 ヒヤリハット情報の発出 適応外使用等の把握、情報の収集 業務手順チェック表に基づく麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬の管理状況の点検 定数配置薬チェックシートに基づく4半期に1回の管理状況点検 等

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年63回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医療機器の安全についてハイブリッド形式による開催と対面による開催にて研修を実施。 また、オンライン研修においては、試験問題とアンケートを実施。 主な研修の内容は、有効性・安全性について、使用方法に関する研修、保守点検に関する研修、不具合発生時の対応、法令遵守すべき事項について研修を実施。 対象の医療機器は、医療法で定められている生命維持管理装置5機種（人工呼吸器・透析装置・人工心肺装置補助循環装置・除細動器・閉鎖式保育器）を中心に研修を実施。 その他、新規導入機器に対しても研修を実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有 ）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>各装置の添付文書や取扱説明書などを参考</p> <p>(1) 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。</p> <p>(2) 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書の記載通りに実施している</p> <p>※2ヵ月に1回、医療機器安全管理専門委員会にて報告。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有 ）</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器の安全使用を目的とした情報については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ上に掲載されているPMDAの医療安全情報、公益財団法人日本医療機能評価機構のホームページ上に掲載されている医療安全情報などから情報収集を行い、管理者及び医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告されている。また、医療機器安全管理専門委員会において内容を審議し、各委員に周知、関連部署の職員に通知している。</p>	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・ 責任者の資格（ 医師 ）</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者として、「安全管理」を担当する副病院長を配置している。</p> <p>医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。</p> <p>なお、平成28年9月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 8 名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品安全管理手順書の情報提供管理規定ならびに院内情報提供マニュアルに従い、情報の整理、周知している。なお、周知状況については、該当診療科のリスクマネージャー宛に配信した情報について確認記録を残している。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未 承 認 薬：原則該当倫理委員会承認後の使用となっている。</p> <p>適応外使用：医師からの申請以外に、疑義照会・病棟薬剤師・レジメン審査委員会等から情報収集している。リスク分類が中リスク以上は、すべて倫理委員会での審査を必須とし、委員会とは随時情報共有を行っている。</p> <p>禁 忌：併用禁忌、病名禁忌ともに医師処方および薬剤師監査時等に警告表示される。薬剤師は必要に応じて疑義照会している。</p> <p>なお、疑義照会で得られた適応外使用、禁忌情報は毎月確認し、医療安全管理部会と医療安全委員会で結果を報告・共有し、必要時指導を行っている。</p> <p>・ 担当者の指名の有無（ 有 ）</p> <p>・ 担当者の所属・職種：（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ）</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 ）</p> <p>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：九州大学病院インフォームド・コンセントガイドライン</p> <p>インフォームド・コンセントの成立の要件</p> <p>説明すべき基本的な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文書による説明・同意の注意点 ・ インフォームド・コンセントの取得における一般的な留意点 ・ 特殊な状況でのインフォームド・コンセントにおける留意点 	

<ul style="list-style-type: none"> ・医師以外の職種によるインフォームド・コンセントにおける留意点 ・高難度新規医療技術、未承認新規医薬品・医療機器、適応外使用の医薬品・医療機器を用いた医療行為を行う場合のインフォームド・コンセントにおける留意点 ・遺伝情報に関連する検査等に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 ・DNA Rに関するインフォームド・コンセントにおける留意点 ・移植に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 ・倫理的な問題が生じた場合のインフォームド・コンセントにおける留意点 ・遠隔・オンラインで実施するインフォームド・コンセントにおける留意点 ・クラウド等を利用した診療データや個人情報の管理に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 ・臨床研究に関するインフォームド・コンセントにおける留意点 ・インフォームド・コンセントの実施状況に関するモニタリング 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>退院サマリー、手術記録、入院診療計画書、医学管理料およびIC記録等について定期的に監査を行い、監査結果をカルテ委員会で報告する。</p> <p>退院サマリーや診療録については、これを業務として閲覧する多部署（診療録管理室、診断書作成室、院内がん登録室、DPC担当）で監査し、不備があれば診療科へ修正を依頼する。</p> <p>また、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室が合同で多職種（医師、看護師、診療情報管理士等）によるカルテ記載の確認を行い、院内公開型カルテレビューを定期的に開催している。</p> <p>さらに、診療記録の多職種チーム監査として、医師、看護師、薬剤師、診療情報管理士で構成したチーム（症例により療法士（PT/OT/ST）、管理栄養士、社会福祉士等が加わる）が、診療記録監査票を用いて各科3～5症例程度の診療記録を評価している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従（ 5 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ 1 ）名</p> <p>うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 1 ）名</p> <p>うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（ 3 ）名、専任（ 1 ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>■事故防止に関すること インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる</p> <p>■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること 基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施</p> <p>■院内の事故に関すること 状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導 診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底 原因究明・改善策の確認や必要な指導</p> <p>■医療安全に資する診療内容のモニタリングの具体例 24時間以内の手術・再手術件数、再活性化B型肝炎発生予防、画像診断報告書未開封件数 転倒・転落件数、注射薬インシデント、患者誤認、死亡・死産事例報告書の入力状況</p>	

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 4 件）、及び許可件数（ 5 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - （１）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （２）（１）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
 - （３）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
 - （４）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - （１）診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （２）（１）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
 - （３）未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認す

<p>ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ） ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ）
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 264 件 ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 167 件 ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 月 1 回、発生した死亡・死産事例及び影響度分類 3b 以上報告書で報告された事例について確認・検討している。
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：島根大学医学部附属病院）） ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：高知大学医学部附属病院）） ・ 技術的助言の実施状況 特になし
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体制の確保状況 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼 ○ 「意見箱」：患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来診療棟 1 階総合案内、北棟 1 階エレベーターホール、北棟・南棟 5～11 階ラウンジ、ウエストウイング 1・2 階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記 ・ 医療安全に係る内容の意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の実施状況 医療に係る安全管理のための研修を、主にオンラインシステムを用いて実施し、年 2 回以上の受講を義務付けている他、新規採用者・中途採用者を対象とした研修を、以下の内容で実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理について ・ 感染対策の実際 ・ 医薬品の安全使用について ・ 医療機器の安全について
<p>(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）</p>
<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p>

・ 研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和5年7月31日～8月2日に、「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価一般病院3< 3rdG : Ver. 3.0 >」の更新審査を受審し、令和6年3月8日付で認定された。(認定期間～令和10年1月27日)

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況
改善事項なし。

・ 評価を踏まえ講じた措置
改善事項なし。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程（平成29年度九大規程第22号）

第2条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成27年度九大規則第29号）第3条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第2号及び第3号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について

（令和7年9月1日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第2条第2項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れていることはもとより、医療、教育、研究、さらに病院の管理運営（経営を含む）においても、コンプライアンス及び研究インテグリティを厳格に遵守し、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力

医療法に定める、医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。

2. 病院の管理運営上必要な資質・能力

医療法に定める、当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。

3. 九州大学及び九州大学病院の理念を実現するために必要な資質・能力

国立大学法人九州大学第4期中期目標・中期計画や、九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思と、これらを継続的かつ確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有）

・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 運営方針に関する事項 (2) 中期目標及び中期計画に関する事項 (3) 規程等の制定及び改廃に関する事項 (4) 予算及び決算に関する事項 (5) その他病院の運営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 <p>議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知</p> ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有） ・公表の方法 <p>本学Webサイトに掲載</p> ・外部有識者からの意見聴取の有無（有） <p>九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。</p> 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中村 雅史	○	医師	病院長
前田 英史		歯科医師	副病院長
石神 康生		医師	副病院長
中島 康晴		医師	副病院長
後 信		医師	副病院長
中島 直樹		医師	副病院長
塩瀬 明		医師	副病院長
江口 恭世		看護師	副病院長
三森 功士		医師	副病院長
赤司 浩一		医師	病院長補佐
鮎澤 純子		薬剤師	病院長補佐
中川 尚志		医師	病院長補佐
下野 信行		医師	病院長補佐
田尻 達郎		医師	病院長補佐

新納 宏昭		医師	病院長補佐
加藤 聖子		医師	病院長補佐
加藤 光次		医師	副診療科長
吾郷 哲朗		医師	診療科長
小川 佳宏		医師	診療科長
須藤 信行		医師	診療科長
磯部 紀子		医師	診療科長
阿部 弘太郎		医師	診療科長
岡本 勇		医師	診療科長
酒井 康成		医師	副診療科長
大内田 研宙		医師	副診療科長
仲田 興平		医師	副診療科長
竹中 朋祐		医師	診療科長
久保 真		医師	診療科長
岩本 直也		医師	副診療科長
吉住 朋晴		医師	診療科長
吉本 幸司		医師	診療科長
中原 剛士		医師	診療科長
江藤 正俊		医師	診療科長
中尾 智博		医師	診療科長
園田 康平		医師	診療科長
山浦 健		医師	診療科長
門田 英輝		医師	診療科長
水野 晋一		医師	診療科長
高橋 一郎		歯科医師	診療科長
西村 英紀		歯科医師	診療科長
川野 真太郎		歯科医師	診療科長
柏崎 晴彦		歯科医師	診療科長
三苫 弘喜		医師	診療科長
播広谷 勝三		医師	診療科長
園田 顕三		医師	診療科長

平川 雅和		医師	診療科長
瀬戸口 秀一		医師	診療科長
福本 敏		歯科医師	診療科長
鮎川 保則		歯科医師	診療科長
熱田 生		歯科医師	診療科長
森山 雅文		歯科医師	診療科長
横山 武志		歯科医師	診療科長
筑井 徹		歯科医師	診療科長
和田 尚久		歯科医師	診療科長
國崎 祐哉		教員	部長
小田 義直		医師	部長
赤星 朋比古		医師	センター長
中野 敏昭		医師	部長
沖 英次		医師	部長
馬場 英司		医師	センター長
戸高 浩司		医師	センター長
内田 まやこ		薬剤師	部長
河野 一郎		理学療法士	部長
加藤 善一		事務	部長
鴨打 正浩		医師	教授
諸隈 誠一		教員	学科長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
 本学 Web サイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
 九州大学学則第 25 条第 2 項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
 九州大学病院規則第 16 条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、病院長が別に定める。」
 国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第 9 条第 2 項
 「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理及び執行に関する事務を予算責任者（病院長）に分掌させるものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - (1) 副病院長を 8 名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
 副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、診療記録管理担当（診療録管理責任者）、
 ③経営担当、④安全管理担当（医療安全管理責任者）、
 ⑤医療情報担当、⑥診療担当・危機管理担当、
 ⑦看護部総括担当、⑧別府病院担当
 - (2) 病院長補佐を 7 名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び調査を行い、意見を具申
 病院長補佐 ①病院運営企画担当、
 ②監査・法規・IC 担当（インフォームド・コンセント管理者）、
 ③医療連携担当、④感染管理担当（感染管理責任者）、
 ⑤移行期医療担当、⑥教育担当、⑦別府病院再開発担当、
 - (3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 令和 6 年 2 月 15 日 国立大学病院長会議開催「病院経営次世代リーダー養成塾」
 受講者：看護部 平岩副部長、江口師長（R6～看護部長）、樋渡師長（R6～副部長）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有	
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>第1回監査 以下の現状について監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯学部門の医療安全管理について（ラウンド含む） <p>第2回監査 以下の現状について監査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養管理部の医療安全管理について（ラウンド含む） <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 公表の方法：本院ウェブサイトに掲載</p>						
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）						
氏名	所属	委員長 （○を 付す）	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況	
栗原 慎太郎	長崎大学	○	安全管理の識見者	無	1	
手島 康德	産業医科大学		安全管理の識見者	無	1	
樋口 恭子	久留米大学		安全管理の識見者	無	1	
浜内 和也	福岡大学		安全管理の識見者	無	1	
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1	
中原 美夏	NPO法人がんサポーター		医療を受ける者	無	2	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人九州大学の業務の適正を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。

本体制において、病院長は業務適正確保副責任者として、本院の業務適正確保システムを整備・運用し、その課題について必要な措置を講じるとともに、その結果等について業務適正確保責任者に報告・情報共有を行う。業務適正確保責任者は、業務適正確保システムの調査・評価結果及び課題等を年度ごとに報告し、毎年役員会において取りまとめた結果が報告される。

・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

・ 公表の方法

本学W e bサイトに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 本学では、予算の作成及び執行並びに決算に関する事項について、役員会の議を経ることとされており、予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年 29 回 ※令和6年度 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 無 ）（オブザーバー参加） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 本学Webサイトに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	議長 (○を付す)	利害関係

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ）・ 通報件数（年 0 件 ※令和 6 年度）・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ）・ 周知の方法 院内W e b サイトに掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>○ 病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供</p> <p>○ 広報誌</p> <p>1) 病院概要 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供</p> <p>2) 九大病院ニュース 病院の最新の取組等の情報を提供</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>入退院・周術期支援センターは、患者が安心安全に検査や治療、手術を受けられるよう、麻酔科医・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士および周術期口腔ケアセンターの歯科医・歯科衛生士が各診療科医師と連携し横断的に支援している。</p> <p>周術期支援では、麻酔科医による術前全身評価を中心に、薬剤師による薬剤確認、管理栄養士による栄養評価、口腔ケアのスクリーニングなどを行っている。手術に影響がある疾患を有する患者の場合は、循環器内科・糖尿病内科・呼吸器科など他の診療科の評価と治療を受けた後に、入退院・周術期支援センターにて総合的な周術期管理を行っている。入院前支援でも、薬剤師や管理栄養士、看護師など多職種が面談を行い、患者の情報収集およびリスクマネジメントを行っている。以上のように医療安全を確保し、予期しない手術中止症例の減少、術前合併症の予防、早期退院推進のために入院前から退院後の療養支援を行うなど複数の診療科と多職種が連携しPatient Flow Management (PFM) に努めている。</p>	